

HITACHI

Inspire the Next

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

型式

ディーブイエル ビーアールティ-20

DVL-BRT20



安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。
(4～7ページ)

接続と設定を行う

(13～28ページ)

メディア情報・画面説明 ▶

視聴 ▶

録画 ▶

再生・編集 ▶

ダビング ▶

ビデオカメラ ▶

写真・音楽 ▶

便利機能 ▶

必要なとき ▶

接続ガイド (184ページ)

接続ガイド

このたびは、日立ブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

TSBRT801
TQBS0147

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください (→4～7 ページ)

本書のご案内	8
付属品 / リモコンの準備	9
各部の働き	10

🔧 接続と設定を行う

接続の前に	13
B-CAS (ビーカス) カードを 挿入する	14
テレビやアンテナと接続する	15
アンプ (スピーカー) と接続する	21
ネットワーク接続をする	22
ビデオと接続する	25
電源コードを接続する	25
かんたん設置設定をする	26

📁 メディア情報・画面説明

記録できるディスクについて	29
再生のみできるディスク / 使えないディスクについて	31
SD カード / USB 機器について	32
市販の USB ハードディスク (USB-HDD) について	33
本機の電源を入 / 切する	36
機能一覧画面について	37

📺 視聴

受信できるデジタル放送と 記録の制限について	39
テレビ放送を見る	40

🕒 録画

放送中の番組を録画する	43
番組表の見方	44
番組表 (G ガイド) を使って 予約録画する	46
番組を検索する	52
新番組 / 特番 / 初放送の 確認や予約をする	54
日時を指定して予約録画する (時間指定予約)	55
予約内容の確認、取り消し、修正など	56
自動予約する	57
●おまかせ録画	57
●カテゴリまとめて予約	59
●新番組おまかせ録画	61
●ニュース録画	62
予約録画の便利な機能	63
録画 / 予約録画に関するお知らせ	64
スカパー! プレミアムサービス対応 チューナーから録画する	66
CATV (ケーブルテレビ) から録画する	67
録画モードについて	70
番組の同時録画について	71

📺 再生・編集

録画一覧について	72
録画した番組を再生する	74
再生メニューについて	76
BD ビデオや DVD ビデオを再生する	77
撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を再生する	78
再生中のいろいろな操作	80
再生設定をする	82
番組を消去する / 編集する	85
チャプターの作成・再生・編集	89

👉 ダビング

番組のダビングについて.....	91
番組をダビングする.....	92
テレビ (Wooo) など 他機器からダビングする.....	99

📷 ビデオカメラ

ビデオカメラから取り込む.....	102
-------------------	-----

🎧 写真・音楽

写真を再生する.....	107
写真を取り込む / 書き出す.....	109
音楽 CD を再生する.....	111
音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す.....	112

💡 便利機能

録画した番組をモバイル機器に持ち出す....	115
Wooo リンクを使う.....	119
インターネットサービスを利用する.....	120
AV ネットワーク機能を使う.....	121
ファイル共有機能を使う.....	123

? 必要なとき

本機で記録できるようにする (フォーマット).....	128
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去.....	129
ファイナライズ.....	130
文字入力.....	131
いろいろな情報を見る (メール / 情報).....	132
放送設定を変える (放送設定).....	133
本機の設定を変える (初期設定).....	138
ソフトウェアの更新について.....	150
取り扱いについて.....	151
同時操作について.....	154
こんな表示が出たら.....	156
表示マーカー一覧.....	158
故障かな! ?.....	162
仕様.....	170
地上デジタル放送チャンネル一覧表.....	176
著作権など.....	178
さくいん.....	180
お客様ご相談窓口.....	186
保証とアフターサービス (必ずご覧ください).....	裏表紙

接続ガイド (184ページ)

本機の操作ができなくなったときは…





[電源ON/OFF]を
3秒以上押す

本機の電源が切れます。
故障かな! ? と思った場合 →162




安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

 **電源プラグを抜く**


異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある


そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

 **電源プラグのほこり等は定期的にとる**


プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

 **接触禁止**


雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。

 **電源プラグは根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。


- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

 **電源コード・プラグを破損するようなことはしない**

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)


傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

 **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

 **メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

警告



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりめらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に保管しない
- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。



可燃性ガスのスプレー等を使用しない

清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因になることがあります。

次の安全上のご注意は、無線 LAN ご使用時に適用されます。



心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から 15 cm 以上離す

無線 LAN からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

無線 LAN からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

無線 LAN からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

注意



異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。



不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。



コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。



屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。



長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。



ディストレイに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。
指はさみ注意 ●特にお子様にはご注意ください。

注意



機器の前に物を置かない

リモコンの開 / 閉ボタンを押すと、離れた場所からディスプレイを開くことができますが、開いたときに、物に当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開 / 閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスプレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開 / 閉ボタンを押さないようご注意ください。



スピーカー等の磁気を発生する機器を本機の上に載せない

磁力や振動の影響により、誤動作や故障の原因になることがあります。



光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は 3D 映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D 映画などを視聴する場合は 1 作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



3D 映像の視聴年齢については、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合があります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。



3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D 映像の見えかたには個人差がありますので、「3D 設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

本書のご案内

ディスクなどのマーク表示について

本書では、ディスクなどは以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE *	BD-RE
BD-R *	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW
DVD ビデオ	DVD-V
+R、+R DL、+RW	
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB
USB-HDD	USB-HDD

※ DL、BDXL も含みます。

●同じディスクでも記録方式の違いなどで動作が異なる場合、表示マークに記録方式を付与しています。

・AVCREC 方式の場合 :

例) **RAM AVCREC** **-R AVCREC**

・VR 方式の場合 :

例) **RAM VR** **-R VR** **-RW VR**

・ビデオ方式の場合 :

例) **-R V** **-RW V**

(ただしファイナライズ後は **DVD-V**)

●ハイビジョン動画(AVCHD)が記録されたディスクやSDカードの場合は、**AVCHD** と表示

●MP4の動画が記録されたSDカードの場合は、**MP4** と表示

参照ページとイラストについて

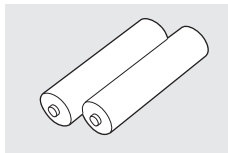
●本書内で参照していただくページを(→○○)で示しています。

付属品 / リモコンの準備

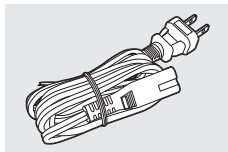
付属品



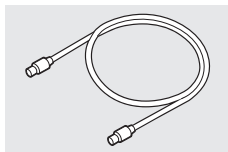
リモコン (1 個)
DVL-RMBRT20



リモコン用乾電池 (2 個)
単 3 形乾電池
(動作確認用)



電源コード (1 本)



アンテナケーブル (1 本)
(75Ω 同軸ケーブル)

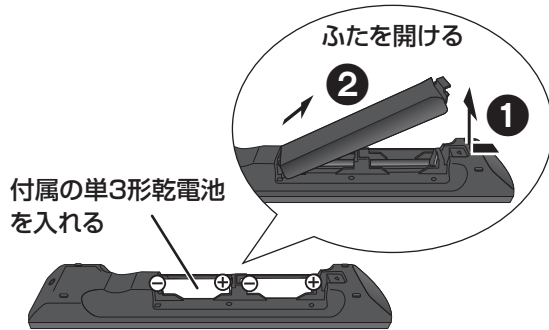


B-CAS カード (1 枚)
●台紙に貼り付けてあります。
●本カードの紛失時は
(→14)

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 電源コードキャップ*および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2017 年 8 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル(市販)が必要です。

リモコンに電池を入れる



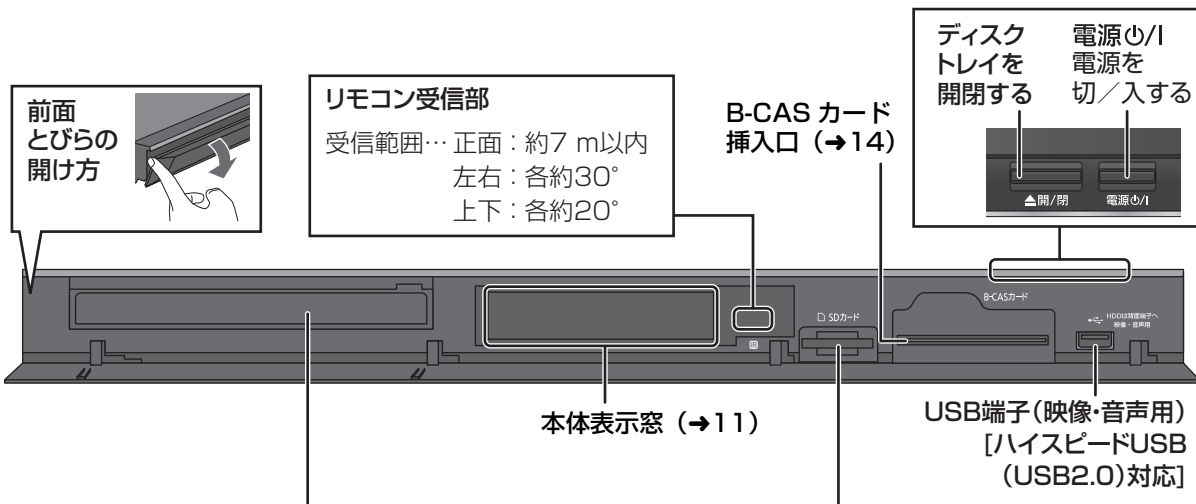
付属の単3形乾電池
を入れる

リモコンのふたを閉じるときは、開けるときの逆の手順②①で閉じてください。

- ⊕⊖を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、2 個とも同時に同一型式の新しい乾電池へ交換してください。

各部の働き

本体前面

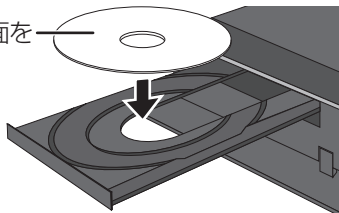


ディスクトレイ

リモコンの を押してディスクトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、ディスクトレイが閉まります。
- 本体の [▲ 開/閉] でも操作できます。
- ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

ラベル面を上

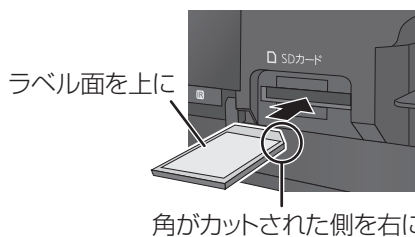


お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい面を下にして入れてください。

SDカード挿入口

① カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む



② 本体前面のとびらを閉じる

🔓 カードを取り出すには

上記手順 ① で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

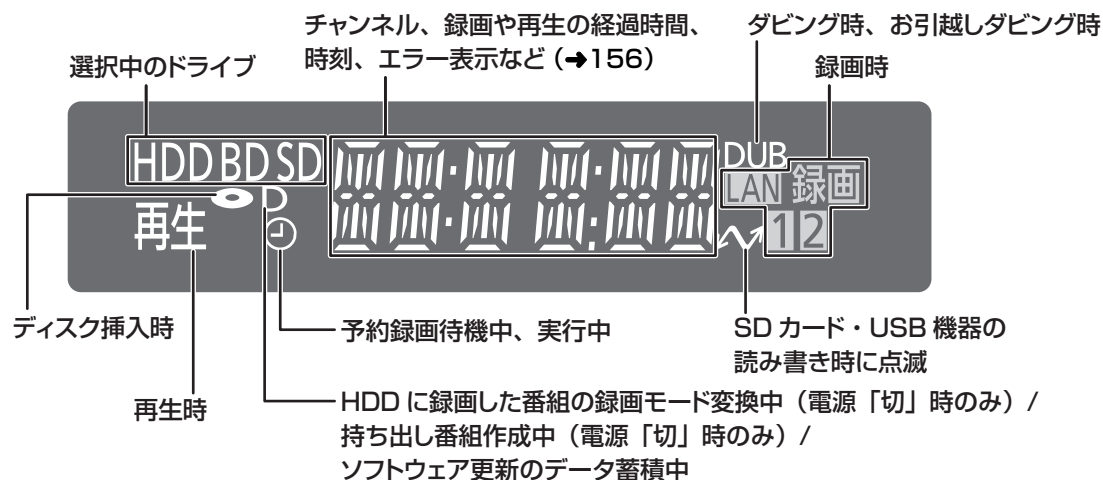
- 本体表示窓の “” (→11) 点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。
- miniタイプやmicroタイプのSDカードは、必ず専用のアダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例)



本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。



お知らせ

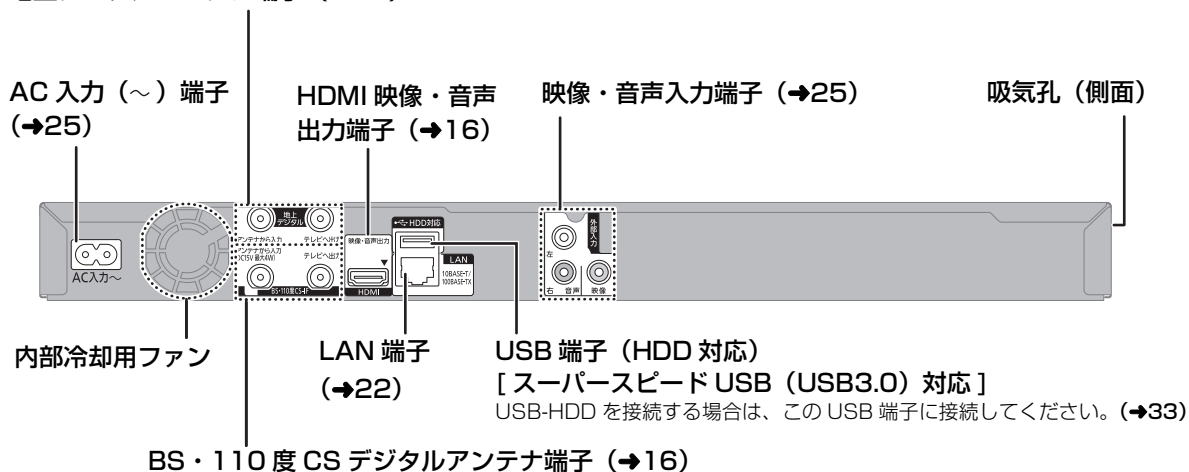
●電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下①～②の設定にしてください。

- ①「クイックスタート」(→138)を「入」に設定
- ②「クイックスタートモード」(→138)を「標準」に設定

ただし、「節電待機」(→36)で電源を切ると、時刻は表示されません。

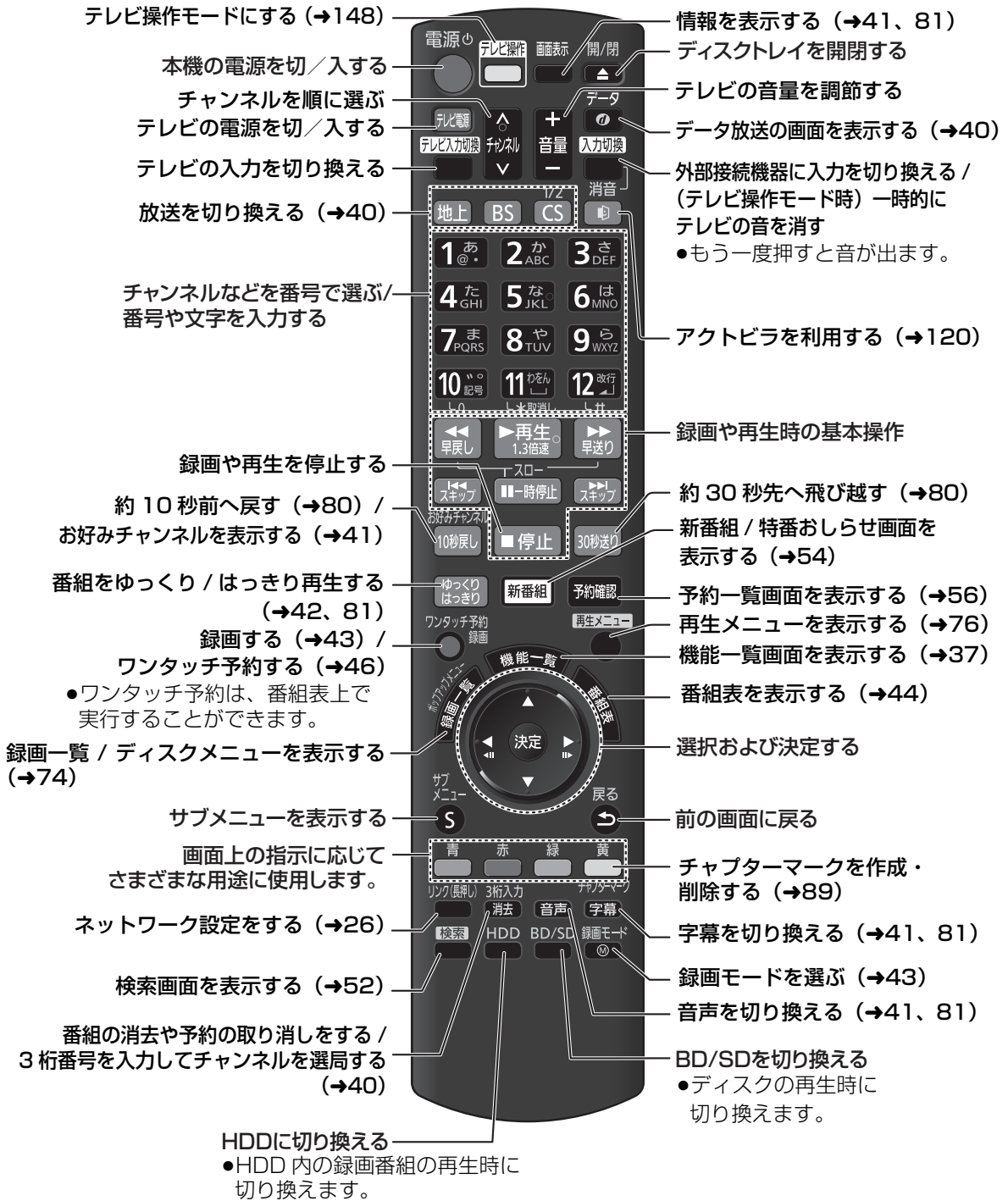
本体背面

地上デジタルアンテナ端子 (→16)



各部の働き (続き)

リモコン



お知らせ

- リモコンを使うと他のレコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。(→146)
- 本機のリモコン受信部 (→10) にまっすぐ向けて、操作してください。

接続の前に

接続の流れ

接続1 B-CASカードを挿入する (→14)

接続2 テレビやアンテナと接続する (→15)

接続3 アンプ(スピーカー)と接続する (→21)
必要に応じて

接続4 ネットワーク接続をする (→22)
必要に応じて

接続5 ビデオと接続する (→25)
必要に応じて

接続6 電源コードを接続する (→25)

設定の流れ

設定1 かんたんチャンネル設定 (→26)

設定2 かんたんネットワーク設定 (→26)

設定3 リモコンの設定 (→28)

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。(本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください)
- 各機器の説明書もご覧ください。

本機の設置について

- アンプなどの熱源となる物の上に置かない。
 - 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
 - 「つゆつき」が起りにくい場所に設置する。
 - 不安定な場所に設置しない。
 - 重い物を上に載せない。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。



つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき(暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど)
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで(約2～3時間)、電源を切ったまま放置してください。



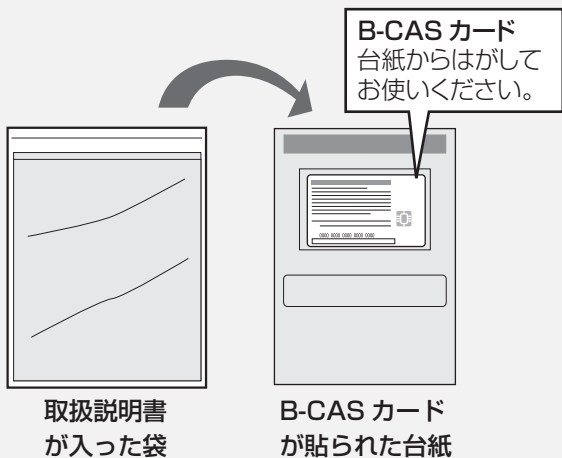
接続と設定を行う

接続1 B-CAS (ビーキャスト) カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へのB-CASカード(付属)の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

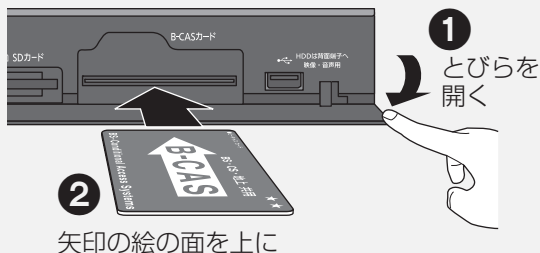
- B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。



挿入/取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、B-CASカードを奥まで差し込む

(B-CASカードは、奥まで差し込んで少し出ている状態になります)



お知らせ

- B-CASカード以外は絶対に挿入しないでください。

- B-CASカードの裏面に記載されている番号は、NHKへのお知らせや有料放送の契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ(→裏表紙)などに控えておいてください。
- 本機でも番号を確認できます。(→132)

お問い合わせは(紛失時など)


(株) ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL: 0570-000-250


接続2 テレビやアンテナと接続する


接続するご家庭のアンテナ端子や接続機器に合わせて接続を行ってください。


A アンテナ端子が別々の場合  (→16)

B アンテナ端子がひとつの場合  (→17)

C セットトップボックス (CATV・光回線など) を利用する場合  (→18)

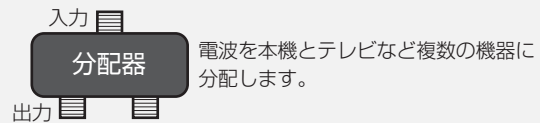
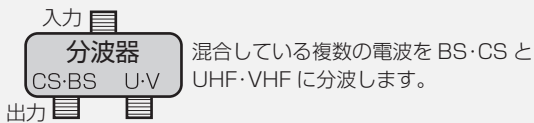
 ケーブルテレビの端子

D すでに別のレコーダーが接続されている場合  (→19)

 別のレコーダー

お知らせ

- アンテナケーブルをアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないようにF型接栓をご使用になることをお勧めします。F型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付け過ぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビにBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- 接続状態により、分波器や専用のブースターなど市販の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



- HDMIケーブルは、「ハイスピードHDMIケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

本機とテレビとの接続には、HDMIケーブル（市販）が必要です。

本機はアナログ出力端子がありません。HDMI端子のないテレビでは、ご利用になれません。



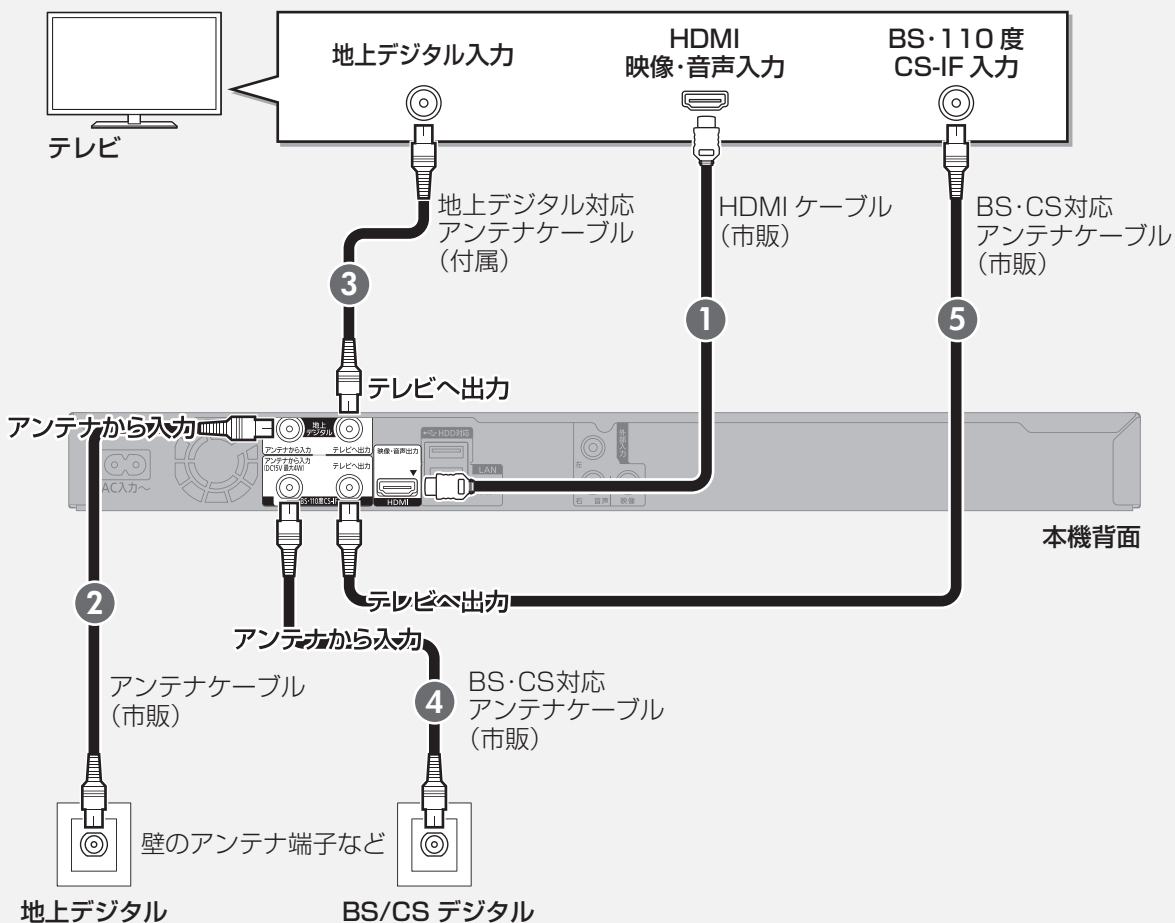
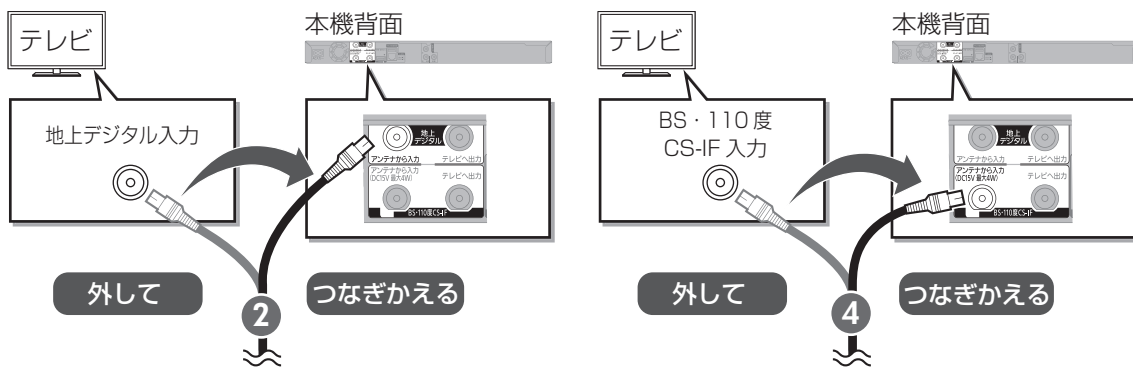
接続と設定を行う

A

アンテナ端子が別々の場合

①～⑤のケーブルを接続してください。
 (BS/CSを視聴しない場合、④⑤の接続は不要です)

すでにテレビを設置している場合、②④のケーブルをテレビから外して本機につなぎかえてください。



C

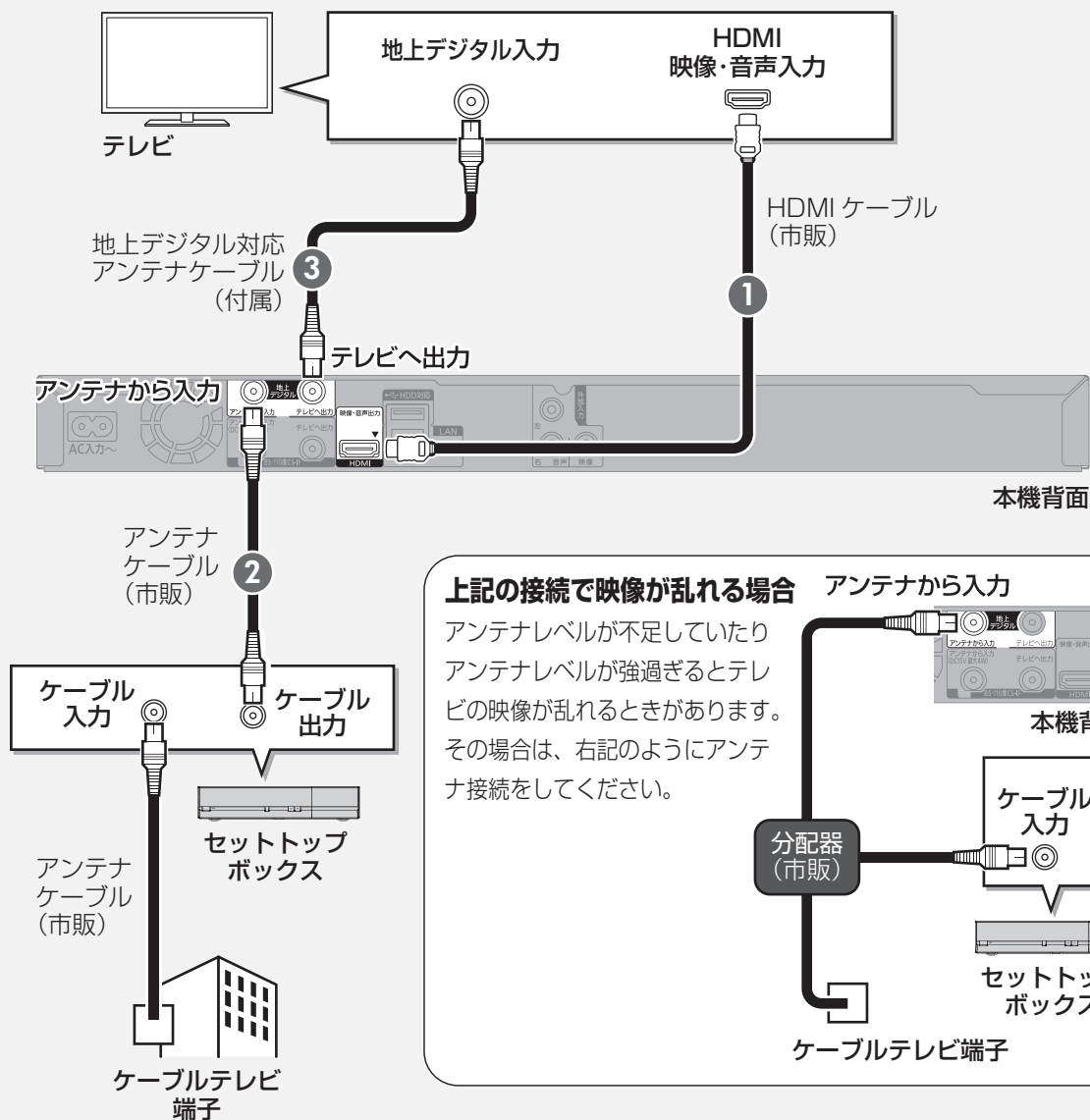
セットトップボックス (CATV・光回線など) を利用する場合

①～③のケーブルを接続してください。

CATVの接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約のCATV会社にご相談ください。

このページでは、CATVの地上デジタル放送の信号方式がパススルー方式*の場合の接続を紹介しています。受信する放送がパススルー方式でない場合や、パススルー方式でも本機で受信できない放送を視聴や録画するためには、「CATV (ケーブルテレビ) から録画する」(→67) をご覧ください。

* CATV会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。



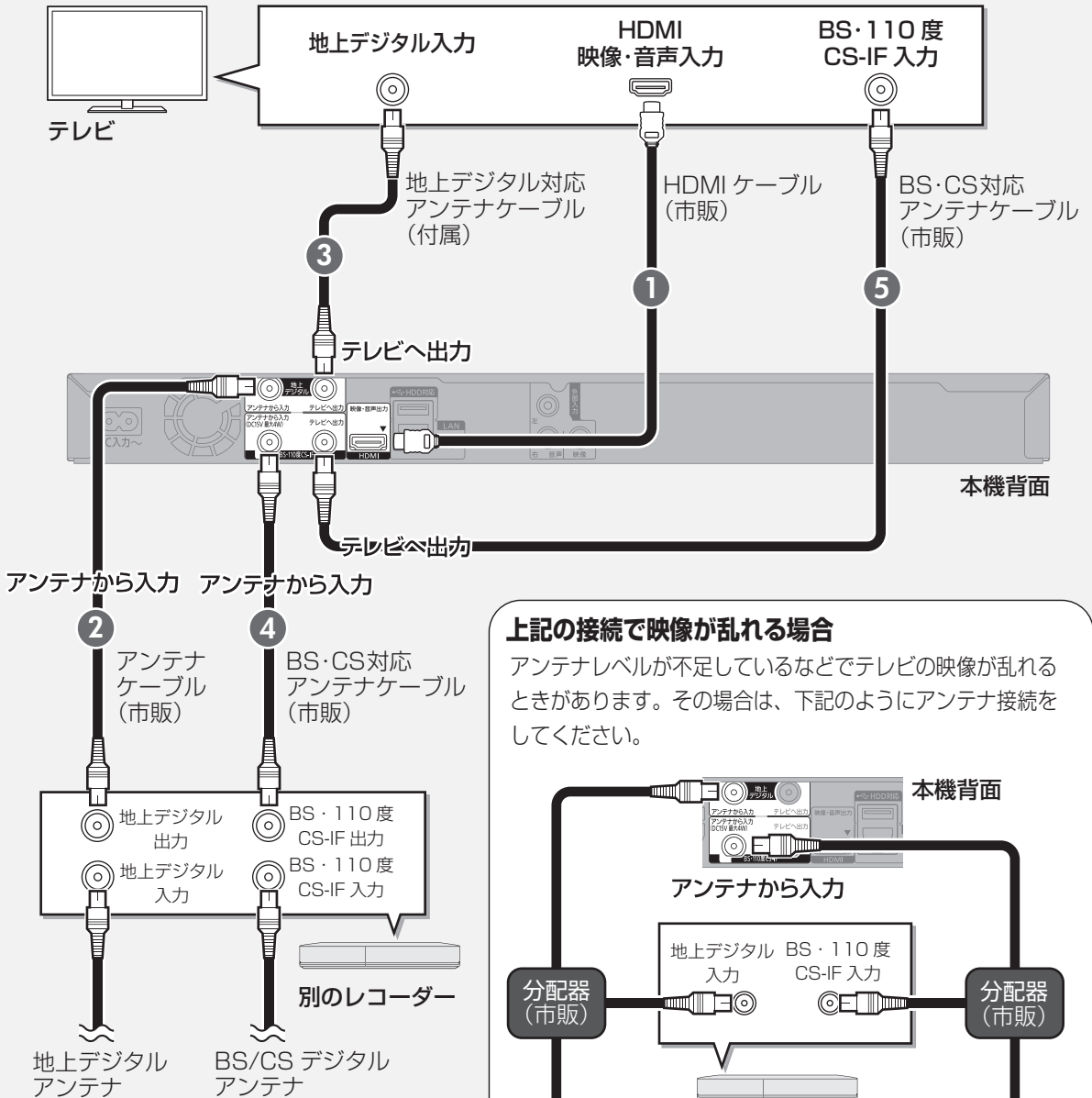
D

すでに別のレコーダーが接続されている場合

①～⑤のケーブルを接続してください。

(別のレコーダーからテレビに接続している HDMI ケーブルは接続したままにしてください)

別のレコーダーからテレビに接続している ② ④ のケーブルをテレビから外して本機につなぎかえてください。

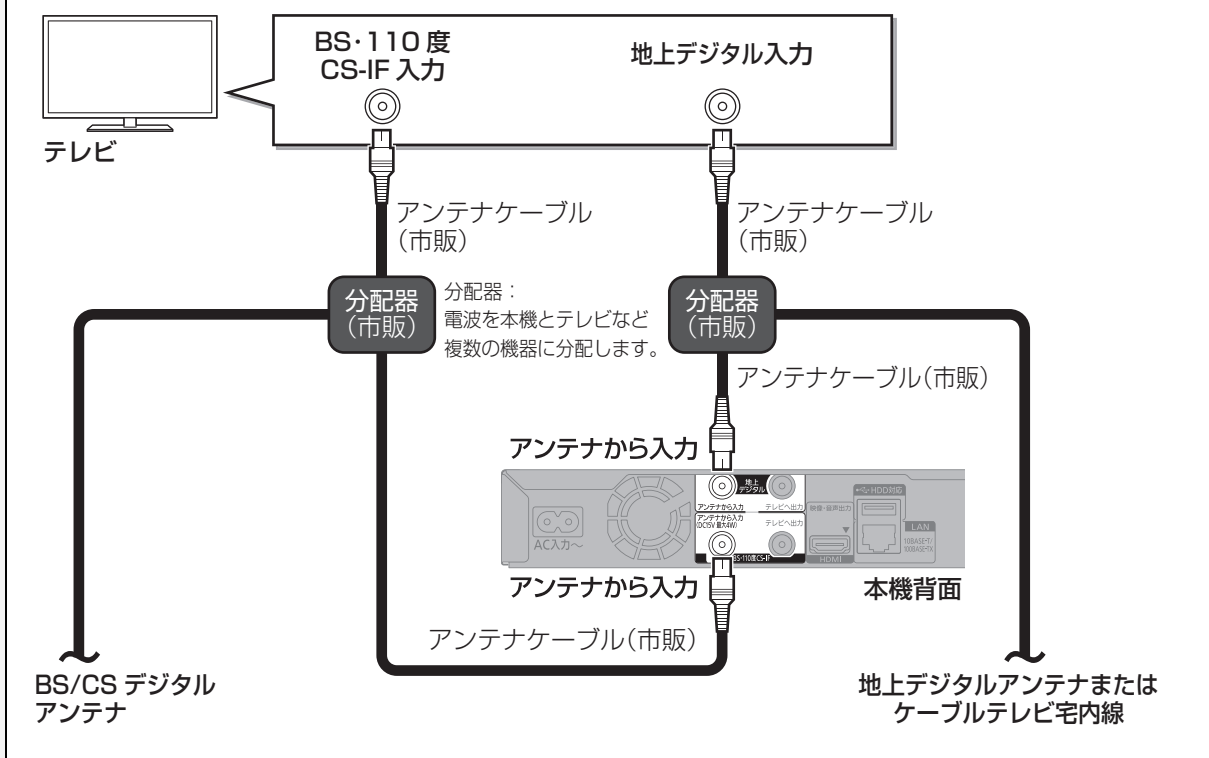


接続と設定を行う

接続2 テレビやアンテナと接続する (続き)

本機が「節電待機」時にテレビを視聴する場合

「節電待機」(→36)で電源を切ると、本機の待機時消費電力を少なくすることができます。
ただし、**A B C D**の方法でアンテナ接続した場合、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなる場合があります。[「節電待機モード」(→139)が「モード2」のとき]
「節電待機」を使用してテレビの映像を映るようにするには、以下のようにアンテナ接続をしてください。



接続3 アンプ（スピーカー）と接続する

アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

🔊 デジタル出力される音声と接続・設定の関係 (→175)

HDMI 端子で接続する

お知らせ

- HDMI ケーブルは、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。
- Wooo リンク機能に対応したテレビ (Wooo)、Wooo リンク機能に対応したアンプと接続すると連動操作が可能になります。

3D または 4K 非対応のアンプと接続して、3D または 4K 映像を視聴するには

お知らせ

- 音声は最大で 5.1ch になります。

- お知らせ**
- HDMI 端子に「ARC 対応」の表示がない ARC 非対応のテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。



接続と設定を行う

接続4 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

ご家庭のネットワーク環境に合わせて、接続(→右記~23)と、かんたんネットワーク設定(→26)を行ってください。

宅内ネットワーク機能

- AV ネットワーク機能(→121)
- スカパー！プレミアムサービスの番組を録画(→66)
- ネットワークを使って予約録画(→67)
- ネットワークを使ってダビング(→101)
- ファイル共有機能(→123)

インターネット機能

- アクトビラなどのインターネットサービス(→120)
- 1ヵ月の番組表や注目番組を受信(→45、50)
- デジタル放送の情報サービスを利用
- BD-Live を楽しむ(→77)

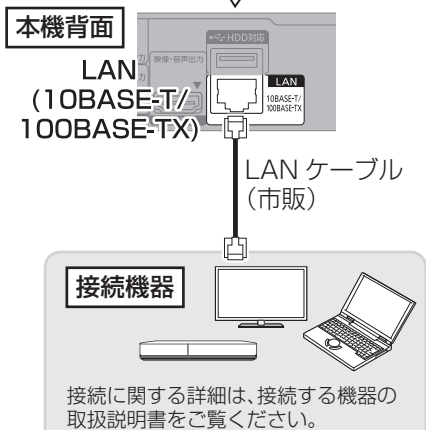
お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
それでも良くならない場合は、シールドタイプのLANケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリ5(CAT5)以上のLANケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター(アクセスポイント)に接続してください。
- 有線LANで公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備(有線LANルーター、回線端末装置)に接続してください。

各機器と直接接続する

有線

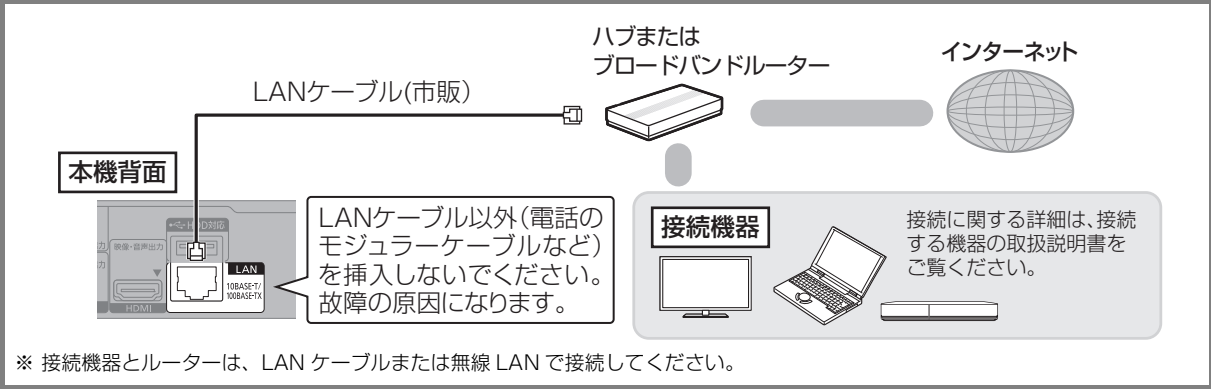
LANケーブル以外(電話のモジュラーケーブルなど)を挿入しないでください。故障の原因になります。



- LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。



ハブまたはブロードバンドルーターを使って接続する



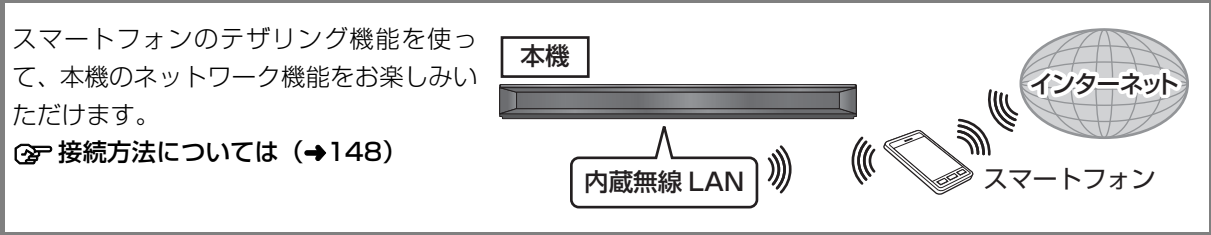
無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) を使って接続する



お知らせ

- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル(有線)での使用はできません。
- 802.11ac または 802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) については、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://av.hitachi-ls.co.jp/>
- スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスは、安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください。(→22、上記)

スマートフォンのテザリング機能で接続する



接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。

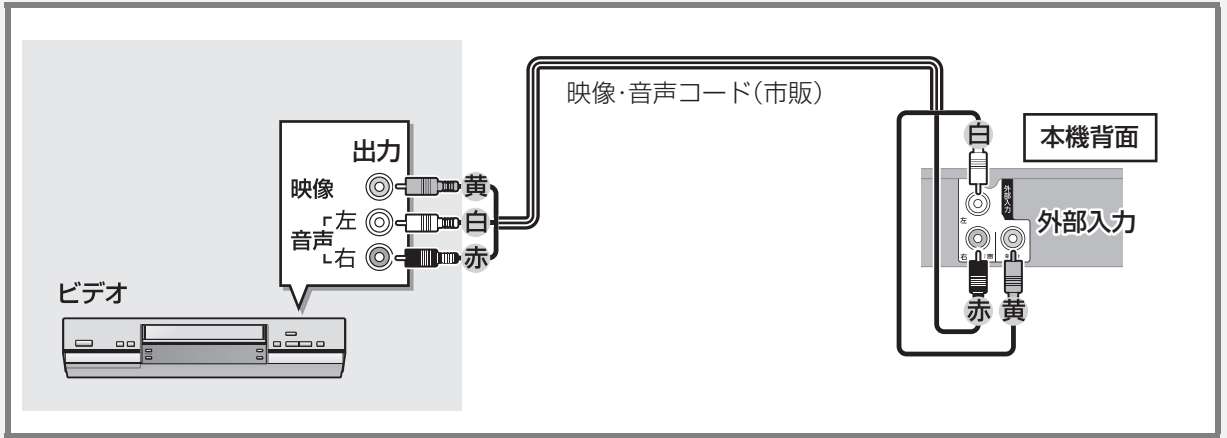
ハブまたはブロードバンドルーター

- 100BASE-TX 対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティ設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。
- 必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターに接続してください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

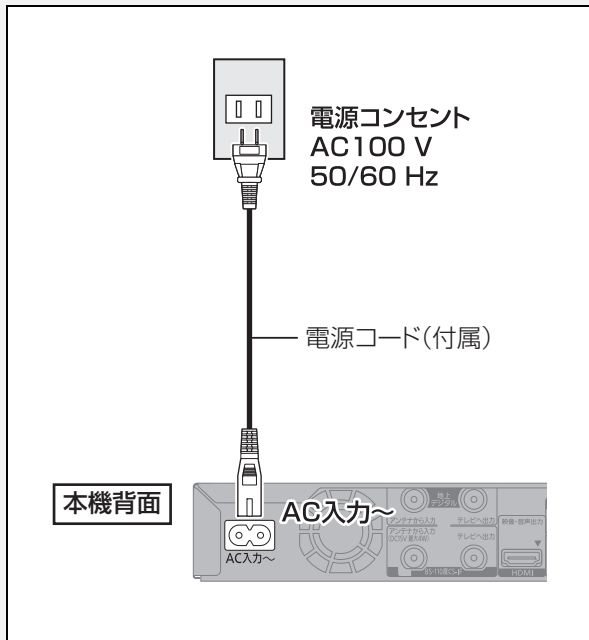
接続5 ビデオと接続する



接続と設定を行う

接続6 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。



🔌 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。(電源「切」時の消費電力→170)

●電源コードを抜いている場合：

- ・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
- ・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

かんたん設置設定をする

初めて電源を入れたときに、かんたん設置設定を行います。

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。



3 本機のリモコンの電源のボタンを押す



4 画面の指示に従って設定をする

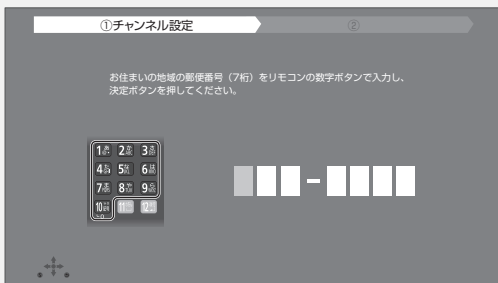
お知らせ

テレビに映像が映らない場合は

- テレビの入力を確認してください。
- HDMIケーブルの接続を確認してください。
 - しっかりと差し込まれていない場合もありますので、つなぎ直してみてください。
- 電源を入れ直してください。

設定1 かんたんチャンネル設定

画面の指示に従ってチャンネル設定を行ってください。



設定終了後にチャンネル設定をやり直すには (→137)

設定2 かんたんネットワーク設定

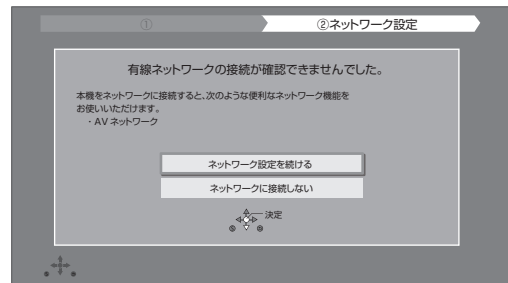
LANケーブルを接続している場合は、自動的に有線の設定で開始します。

例)



LANケーブルを接続していない場合や無線LANで接続する場合、画面の指示に従って設定を行ってください。

例)



設定終了後にネットワーク設定をやり直すには リング(長押し) を3秒以上押す

お知らせ

- インターネットに接続できる状態で、かんたんネットワーク設定を行うと、以下のようになります。
 - ・ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「AV ネットワーク / スカパー! Link (録画) 設定」(→149)でアクセス許可を取り消してください。
 - ・「クイックスタート」(→138)が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 接続機器側での設定が必要になる場合があります。詳しくは接続機器側の説明書をご覧ください。

お知らせ

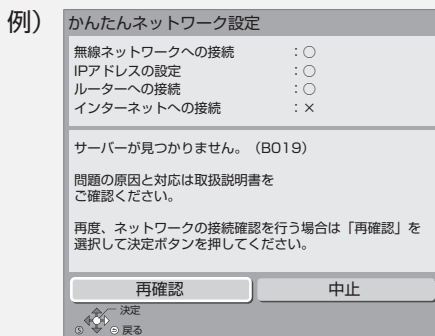
●ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

●無線接続時のお知らせ

- ・本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- ・無線設定 (→144) の画面で「電波状態」のインジケータが4つ以上（受信レベル30以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定 (→26) を再度行ってください。
- ・AVネットワーク機能(→149)をご利用になるには、802.11ac または 802.11n (5 GHz) をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
- ・暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。



「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
LANケーブルの接続：×	LANケーブルの接続 (→23)
IPアドレスの設定：×	
ルーターへの接続：×	
インターネットへの接続：×	
LANケーブルの接続：○ 無線ネットワークへの接続：○	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IPアドレス」の確認 (→144)
IPアドレスの設定：×	
ルーターへの接続：×	
インターネットへの接続：×	
LANケーブルの接続：○ 無線ネットワークへの接続：○	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IPアドレス」の確認 (→144)
IPアドレスの設定：○	
ルーターへの接続：×	
インターネットへの接続：×	
LANケーブルの接続：○ 無線ネットワークへの接続：○	「サーバーへの接続に失敗しました。(B020)」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」(→145)やルーターなどの設定
IPアドレスの設定：○	
ルーターへの接続：○	
インターネットへの接続：×	
「サーバーが見つかりません。(B019)」表示時	●「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」の設定(→144) ●ルーターなどの設定
「サーバーが見つかりません。(B019)」表示時	

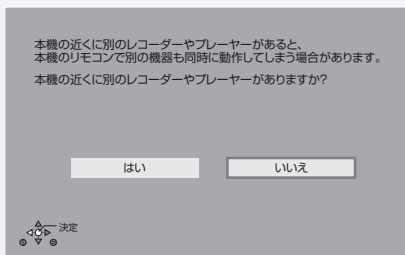


接続と設定を行う

設定3 リモコンの設定

リモコンモードの設定

本機の近くに別のブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。



「はい」を選ぶと、リモコンモードの設定をすることができます。

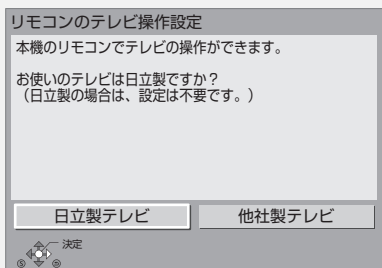
画面の指示に従って設定してください。

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの【テレビ電源】、【テレビ入力切換】、【音量 +,-】でテレビを操作できます。

また、【テレビ操作】を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。

(→148)



画面の指示に従って設定してください。

🔧 設定終了後にリモコン設定をやり直すには (→146)

記録できるディスクについて

ディスクの種類	BD-RE  繰り返し記録	BD-R  1回のみ記録
記録可能なディスク	Ver.2.1 (1層/2層)、 Ver.3.0 (3層) に対応した2倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2/1.3 (1層/2層) に対応した6倍速メディア、Ver.2.0 (3層/4層) に対応した4倍速メディアまで
記録方式	—	—
記録できるコンテンツ	番組 / 写真	
他の機器で再生するには	<p>BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 以下の場合、再生できないときがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.5 ~ 15 倍録モードの番組 ・ 本機に取り込んだ動画 (AVCHD、MP4) ・ LAN 経由で録画した番組 ● LTH type の BD-R、DL や BDXL は再生機器がそれぞれの再生に対応していないと再生できません。 ● 2006 年春以前に発売された BD 機器では再生できません。 ● BD-RE、BD-R に書き出した動画 (MP4) と音楽ファイルは再生保証していません。 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● DL、BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きの BD-RE (Ver. 1.0) の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません) ● 2017 年 8 月現在、BD-R (片面 4 層) は発売されていません。 	







記録できるディスクについて (続き)

ディスクの種類	DVD-RAM  繰り返し記録	DVD-R DVD-R DL (片面2層)   1回のみ記録	DVD-RW  繰り返し記録
記録可能なディスク	Ver.2.0/2.1/2.2に対応した5倍速メディアまで	DVD-R : Ver.2.0/2.1 に対応した16倍速メディアまで DVD-R DL : Ver.3.0 に対応した8倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで
記録方式	<ul style="list-style-type: none"> ●AVCREC方式 ●VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) 	<ul style="list-style-type: none"> ●AVCREC方式 ●VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) ●ビデオ方式 (DVDビデオ規格) 	<ul style="list-style-type: none"> ●VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) ●ビデオ方式 (DVDビデオ規格)
記録できるコンテンツ	番組 / 写真	番組	番組
他の機器で再生するには	<p>以下の条件に当てはまる機器で再生できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●記録したディスクの再生に対応 ●記録したディスクの記録方式の再生に対応 <p>・AVCREC方式の場合： 対応機器には右記のロゴが付いています。  対応機器以外で使用しないでください。 ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 [R] はファイナライズ (→130) が必要です。</p> <p>・VR方式の場合： VR方式の再生に対応している必要があります。</p> <p>・ビデオ方式の場合： 記録後にファイナライズ (→130) が必要です。</p> ●デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRMに対応している必要があります。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。 ●カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません) ●ビデオ方式ではコピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。 ●ビデオ方式ではデジタル放送は記録できません。 		

- 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
- DVD の記録方式は、本機でフォーマット(→128)することで設定されます。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

<p>BD ビデオ</p> 	<p>映画や音楽などの市販ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機では右記のマーク(リージョンコード)が表示されたディスクを再生できます。 	<p>「A」または「A」を含むもの 例) </p> <ul style="list-style-type: none"> ●リージョンコードは国により異なります。
<p>DVD ビデオ</p> 	<p>映画や音楽などの市販ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 ただし、PAL方式のディスクは再生できません。 	<p>「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) </p> <ul style="list-style-type: none"> ●番号は国により異なります。
<p>CD</p> 	<p>音楽や音声記録された市販ソフト (CD-DA形式で記録したCD-RやCD-RWを含む)</p> <p>写真が記録されたCD-RやCD-RW (JPEGフォーマット記録ディスク)</p>	
<p>+R +R DL (片面2層) +RW</p>	<p>他機器で番組やハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生やHDDへの取り込みのみ可能です。 	
<p>DVD-RAM DVD-R DVD-RW</p>	<p>他機器でハイビジョン動画 (AVCHD) を記録したディスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ●編集や追記はできません。再生やHDDへの取り込みのみ可能です。 <p> 写真 (JPEG) を記録したディスク</p>	

- 記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。
- 8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生やHDDへのダビングのみ可能です。
- 本機では、「RAM 2」マークの付いたDVD-RAMディスク(6X以上の高速記録対応)の記録や編集はできません。再生やHDDへのダビングのみ可能です。
- PAL方式(50pなど)のコンテンツは再生できません。

本機で使えないディスク

- カートリッジから取り出せないDVD-RAM(TYPE1)
- BD-RE(Ver.1.0)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- Ultra HDブルーレイ
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、DVD-RW(ビデオ方式)
- HD DVD
- ビデオCD
- SACD
- SVCD
- DVDオーディオ
- Photo-CD
- パソコンやゲームのソフト など

SD カード / USB 機器について

本機で使える SD カードについて

SD メモリーカード (8 MB ~ 2 GB)

(miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む)

SDHC メモリーカード (4 GB ~ 32 GB)

(microSDHC メモリーカードを含む)

SDXC メモリーカード (48 GB、64 GB、128 GB)

(microSDXC メモリーカードを含む)



- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプのSDカードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。(→128)
- SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。(SDHC メモリーカードはSDXC メモリーカード対応機器でも使用できます)
非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、カードの内容を誤って消去することを防げます。

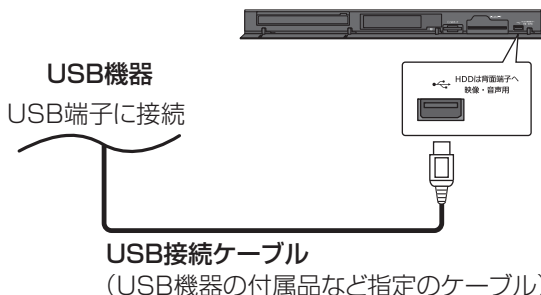


接続できる USB 機器について

AVCHD 対応ビデオカメラやデジタルカメラ、携帯電話などと接続することができます。

- USBリーダー&ライター、USB電源を利用する機器などは故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使うUSBケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

USB 機器を接続する




背面端子も同様に接続することができます。

接続した機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。(機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります)

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

USB 機器の取り外しについて

本体表示窓の“” (→11) 点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

市販の USB ハードディスク (USB-HDD) について

本機は、USB-HDD に番組を録画することができます。

- USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、USB-HDDに複数の番組を同時に録画することができます。(USB3.0 非対応の場合は、複数番組の同時録画はできません)
- USB-HDD の説明書もよくお読みください。

推奨 USB-HDD について

録画や再生に適した、推奨 USB-HDD をご使用ください。(2017年8月現在)

推奨 USB-HDD の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。

<http://av.hitachi-ls.co.jp/check/>

- USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

USB-HDD に記録できるコンテンツについて

コンテンツ	録画用フォーマット
番組	○
撮影ビデオ (AVCHD / MP4)	×
写真	×
音楽	×

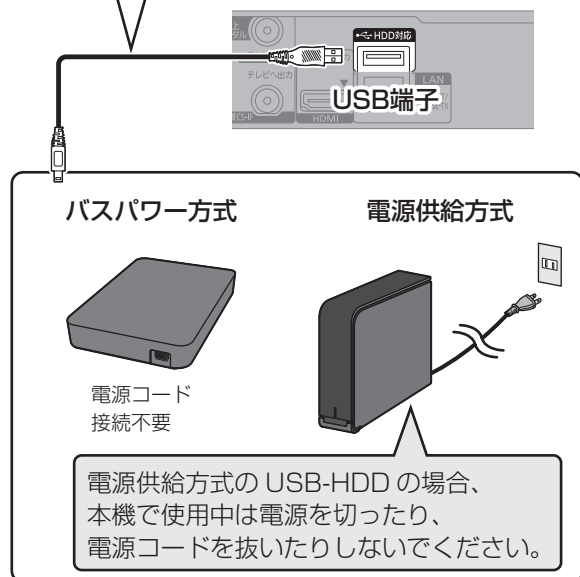
接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。

- USB-HDD は、本機背面のUSB端子に接続してください。(前面の端子に接続すると、録画できません)

USB 接続ケーブル

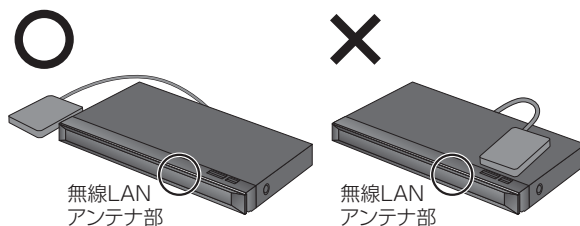
USB-HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。



- USB ハブを使用して接続しないでください。

お知らせ

- 無線 LAN をご使用の場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。そのため、AV ネットワークやインターネット接続が不安定になる場合があります。以下のように設置してください。
 - ・802.11ac または 802.11n(2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーターと接続し、5 GHz で使用する
 - ・ご使用の無線ブロードバンドルーターが 2.4 GHz のみの場合
 - USB-HDD は本機の上には置かない
 - USB-HDD は本機右前にある無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して設置する



市販の USB ハードディスク (USB-HDD) について (続き)

録画用フォーマットで使用する

USB-HDD を使用する場合は、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。

登録できるのは 8 台ですが、複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、画面に従って登録してください。

[機能一覧] ボタン → 「初期設定 / リモコン設定」 → 「HDD / ディスク / USB-HDD 設定」 → 「USB-HDD 設定」 → 「USB-HDD の登録」 で登録を行う






お知らせ

- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。

9 台目の USB-HDD を接続し、本機の電源を入れると、USB-HDD の登録画面が表示されます。

- ① 「はい」 を選び、 を押す
- ② 取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、 を押す
- ③ 「実行」 を選び、 を押す
- ④ 「登録」 を選び、 を押す
- ⑤  を押す

USB-HDD 登録を取り消す

登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。USB-HDD や本体を廃棄・譲渡する場合などに行ってください。

USB-HDD 登録を 1 台ずつ取り消す場合：
登録を取り消したい USB-HDD を接続してから実行してください。

[機能一覧] ボタン → 「初期設定／リモコン設定」 → 「HDD / ディスク / USB-HDD 設定」 → 「USB-HDD 設定」 → 「USB-HDD 登録の取り消し」で登録を取り消す

すべての USB-HDD 登録を取り消す場合：
「USB-HDD の取り外し」(→ 右記) を行ったあと、実行してください。

[機能一覧] ボタン → 「初期設定／リモコン設定」 → 「HDD / ディスク / USB-HDD 設定」 → 「USB-HDD 設定」 → 「すべての USB-HDD 登録の取り消し」で登録を取り消す

登録を取り消した USB-HDD が本機に接続されている場合、該当の USB-HDD を取り外してください。

取り外しについて

USB-HDD の記録内容を保持したまま、一時的に USB-HDD を取り外したい場合に、以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

[機能一覧] ボタン → 「初期設定／リモコン設定」 → 「HDD / ディスク / USB-HDD 設定」 → 「USB-HDD 設定」 → 「USB-HDD の取り外し」で取り外す



本機の電源を入 / 切する

本機の映像をテレビに映す

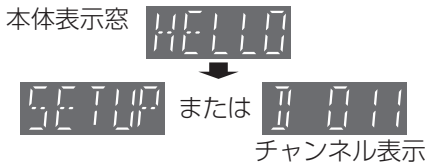
1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。



3 本機のリモコンの を押す



- テレビに映像が映っているか確認してください。

テレビに映像が表示されない場合

- テレビの入力を確認してください。
- 接続を確認してください。(→14 ~ 25)

節電待機で電源を切る

「節電待機」で電源を切ると、電源「切」時の消費電力を少なくすることができます。(消費電力→170)

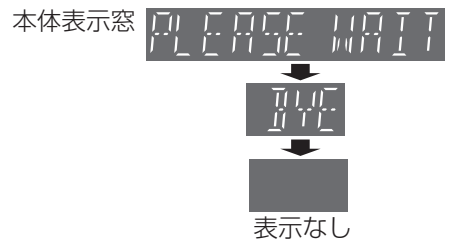
1 テレビ視聴中に

 を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

2 「節電待機」を選び、 を押す

3 「はい」を選び、 を押す



お知らせ

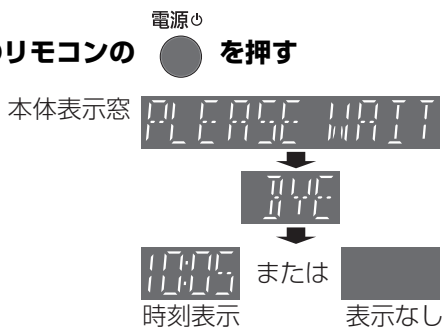
●「節電待機」中の制限について

- ・起動が遅くなります。
- ・以下の機能は働きません。
 - AV ネットワーク機能
 - スーパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV からの予約登録、または番組の時間変更に追従
- ・アンテナケーブルを本機経由でテレビに接続している場合、「節電待機モード」(→139) で電源「切」にすると、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなる場合があります。
 - 「節電待機モード」が「モード1」の場合、テレビ側の設定でも衛星アンテナ電源を供給するようにしてください。
 - 「節電待機モード」が「モード2」の場合、本機を経由せずにアンテナケーブルをテレビに接続すると、改善させることができます。(→20)

- 「節電待機」中に無効なボタンを押すと、本体表示窓に時刻が表示されます。

本機の電源を切る

本機のリモコンの を押す



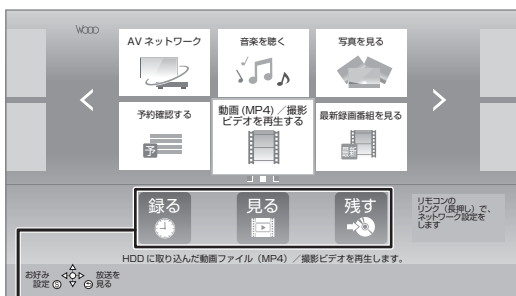
機能一覧画面について

機能一覧画面から本機の主な機能进行操作することができます。

1 機能一覧を押す

2 項目を選び、決定を押す

機能一覧画面は3つのページに分かれています。



- 録る：番組表 (→46)
- 見る：録画一覧 (→74)
- 残す：ダビング (→92、94)

左右のページを表示するには



(または [◀][▶] を数回押す)

機能一覧画面に表示されていない機能を選びたいときは

- ① [◀◀] を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す

機能一覧画面に表示する機能を変更するには

- ① 変更したい機能を選び、[サブメニュー] を押す
- ② 「機能を登録する」を選び、[決定] を押す
- ③ メニューを選び、[決定] を押す
- ④ 表示したい機能(→38)を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「はい」を選び、[決定] を押す



お知らせ

- 本書では、機能一覧画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。

機能一覧画面について (続き)


機能一覧画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。

機能名	参照ページ
見る・聴く	
録画番組を見る	74
再生メニュー	76
最新ニュース	62
最新録画番組を見る*	73
新番組おまかせ録画番組を見る* 「新番組おまかせ録画」(→61)で録画した番組を視聴します。	
写真を見る	107
動画(MP4)／撮影ビデオを再生する	79
音楽を聴く	112
番組を探す・予約する	
予約する	46
新番組／特番お知らせ	54
おまかせ録画	57
予約確認する	56
ニュース録画設定	62
検索する	52
放送局からのおすすめ(注目番組)	50
カテゴリーまとめて検索	60
新番組おまかせ録画	61
お好み番組表 お好みチャンネル(→41)で登録した放送局のみを番組表に表示します。	
残す	
ダビングする	92、94
持ち出し番組を転送する	117

ネットワーク機能を使う

AV ネットワーク	122
アクトビラ	120
お引越しダビング	99
設定する・その他の機能	
放送設定	133
初期設定／リモコン設定	138
ネットワーク設定	26、143
メール／情報・診断コード*	132、162
スマートフォンでテザリング	148
お好み設定リセット 機能一覧画面の表示をお買い上げ時の設定に戻します。	
メディアを使う	
ディスク、SD カード、USB 機器、USB-HDD 内のデータを表示します。	

※ 新着情報がある場合、 (新着お知らせアイコン) が表示されます。(新着情報の更新は、電源「切」時に行います)

受信できるデジタル放送と記録の制限について

受信できるデジタル放送について

地上デジタル放送 (地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

BS デジタル放送 (BS デジタル)

放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

●WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送 (CS デジタル)

通信衛星 (Communications Satellite) を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

●110 度 CS デジタル放送の放送事業者「スカパー!」*への加入申し込みと契約が必要です。

「スカパー!」*には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

* 2012 年 9 月 29 日より「スカパー! e2」から「スカパー!」に名称変更しました。

お問い合わせ先

スカパー! カスタマーセンター (総合窓口)

0120-211-855

受付時間 10:00 ~ 20:00 (年中無休)

スカパー! 公式ホームページ

<http://www.skyperfectv.co.jp/>

お知らせ

- B-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。
- WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位のご契約となります。テレビの B-CAS カードでご契約いただいている場合でも、本機付属の B-CAS カードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限があります。



ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。



DVD

著作権保護技術を持った CPRM に対応している必要があります。

パッケージに **CPRM 対応** の記載のある DVD を準備してください。

(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

■コピー制限について

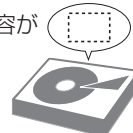
コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD や USB-HDD の場合は または を、ブルーレイディスクの場合は を表示します。

~ はダビングの残り可能回数を表します。DVD の場合は を表示し、ダビングや移動はできません。

の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

●通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。(番組が消去されてもディスク残量は増えません)

録画内容が
消える



ダビング元

移動



ダビング先

●プロテクト設定 (→85) されている の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

一般社団法人放送サービス高度化推進協会

<http://www.apab.or.jp>



テレビ放送を見る

本機のチューナーを使用してテレビ放送を視聴します。

1 **[地上]** **[BS]** **[CS]** を押す

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

本体表示窓

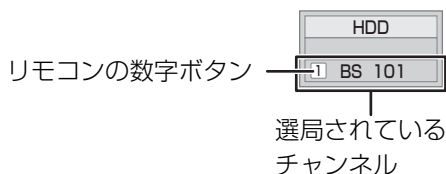
例) BS101



チャンネル表示

2 **[1 あ]** ~ **[12 数字]** または **[チャンネル]** を押して、

チャンネルを選ぶ



データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。
録画が始まるとデータ画面が消えます。
- 情報サービスを利用するには、ネットワークの接続と設定が必要な場合があります。(→22、26)

1 データ放送のある番組を選局し、**[データ]** を押す

2 見たい項目を選び、**[決定]** を押す

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や数字ボタンで操作してください。

☞ データ画面を消すには

[データ **①**] を押す

その他の選局方法

番組表から選局

- 1 **[番組表]** を押す
- 2 放送中の番組を選び、**[決定]** を押す
☞ 番組表の見方について (→44)
☞ 別の放送の番組表を見るには
[地上][BS][CS] を押す
- 3 「今すぐ見る」を選び、**[決定]** を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

- 1 テレビ視聴中に、**[3桁入力 消去]** を押す
●押すごとに放送が切り換わります。
- 2 **[1 あ]** ~ **[10 数字]** を押して、チャンネルを入力する
例) 101 の場合…[1] → [10] → [1]
●画面が表示されている間に入力してください。
☞ 枝番号の異なる放送を選局するには
[地上デジタル] (→42「枝番選局」)

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。

① テレビ視聴中に、**お好みチャンネル** **10秒戻し** を押す

② 放送局を選び、**決定** を押す

■チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、
[お好みチャンネル/10秒戻し] を押す

② [サブメニュー] を押す

③ [登録] を選び、[決定] を押す

④ [はい] を選び、[決定] を押す
●リストの一番下に登録されます。
(最大 48 チャンネル)

■チャンネルの取り消し

① [お好みチャンネル/10秒戻し] を押す

② 取り消す放送局を選び、[サブメニュー] を押す

③ [取消] を選び、[決定] を押す

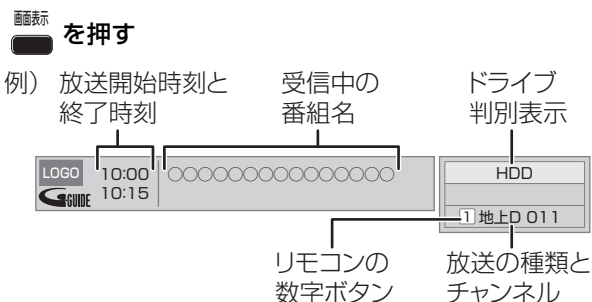
④ [はい] を選び、[決定] を押す

🔔お知らせ

- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

番組視聴中の便利な機能

見ている番組の情報を表示



🔕 表示を消すには
[画面表示] を数回押す

音声を切り換える

🔊 を押す

- 押すごとに、放送の内容によって音声が変わります。

🔔 **お知らせ**

- 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

字幕を表示する

視聴している番組が字幕付きの番組の場合、字幕を表示できます。

🔤 を押す


- 押すごとに、字幕の表示の入/切を切り換えます。


視聴


テレビ放送を見る (続き)

はっきり再生する ゆっくり / はっきり再生する (0.8 倍速)

聞こえにくい高音域を明瞭にし、音声をはっきりと聞き取りやすくします。また、「ゆっくり / はっきり再生」にすると、番組を HDD に一時的に記録することによって、通常よりも遅い速度で再生します。

① テレビ視聴中に、 を押す

② 項目を選び、 を押す

 ゆっくり / はっきり再生を終了するには

① **[■ 停止]** を押す


② 「はい」を選び、**[決定]** を押す

(一時的に記録した番組は削除されます)


お知らせ

- 電源を切ると、ゆっくり / はっきり再生は終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- 以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできません。
 - ・ゆっくり / はっきり再生と録画の同時実行中に、別の番組の予約録画開始時刻になったとき
 - ・ゆっくり / はっきり再生が8時間を超えたとき
 - ・HDD の容量がなくなったとき
- 本機が番組を録画できない状態のときは、ゆっくり / はっきり再生を実行することはできません。
- ゆっくり / はっきり再生中は、放送中の番組より遅い速度で再生するため、放送中の番組との間に時間差が生じます。
- ゆっくり / はっきり再生中は、音声は PCM になります。
- はっきり効果の強さを設定したり、はっきり再生を常時有効に設定することもできます。(→142)

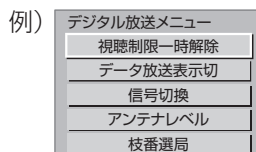
放送内容などの設定

① テレビ視聴中に、 を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 **[サブメニュー]** を押してください。



② 「デジタル放送メニュー」を選び、 を押す

③ 設定項目を選び、 を押す (→ 右記へ)



お知らせ

- 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号 (→134) を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 設定する項目を選び、設定する  お知らせ ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 (詳しくは→70)
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 (例: 「011-0」、「011-1」) 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 放送局を選び、[決定] を押す  主選局を変更するには 主選局にしたい放送局を選び、 [緑] を押す

放送中の番組を録画する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

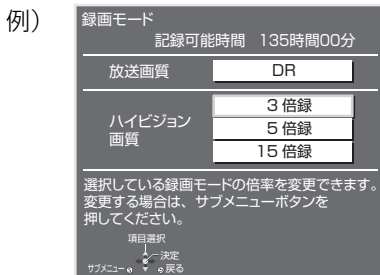
1 地上 BS ^{1/2}CS を押す

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

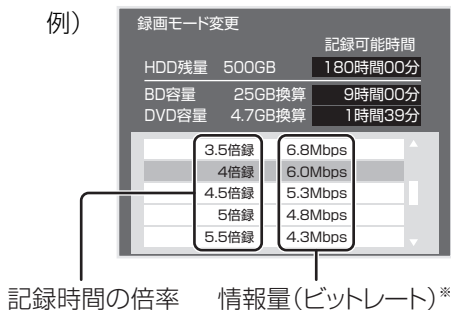
2 1 あ ~ 12 改行 または 1/2 を押して、チャンネルを選ぶ

3 録画モード を押して、録画モードを選ぶ

- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。



- ハイビジョン画質を選択時に[サブメニュー]を押すと、録画モードの倍率を変更できます。



※ 数値が大きいほど画質は良くなります。
ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像(24 Mbps)をDRモードで録画した場合との比較を表します。

4 ワンタッチ予約録画 を押す



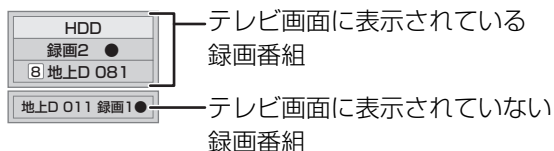
「録画 1」または「録画 2」が点灯

5 録画の終了方法を選び、決定 を押す

録画中の番組の確認

画面表示 を押す

例) 複数の番組を録画中



録画を止める

停止 を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組を放送切換やチャンネル切換を行ってテレビ画面に表示させてください。

一時停止 を押す

- もう一度押す、または[ワンタッチ予約録画 ●]を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (→ 172)
- 録画モードと記録時間の倍率について (→ 65)
- CATV から録画する (→ 67)
- ディスクやUSB-HDDへは録画できません。
・予約録画はできます。(ビデオ方式は除く)
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画 (→ 71) できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分割されます。
- 従来のアナログ放送と同様のDVD画質の番組は、ハイビジョン画質の録画モードで録画しても、画質はDVD画質相当です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 複数の番組を録画するには
手順 1 ~ 5 で別の番組を録画してください。
・複数の番組を録画中のチャンネル / 放送 / 入力切換は、録画中の番組間でのみ行えます。
・番組の同時録画について (→ 71)

視聴

録画

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。

例) 全チャンネル表示

放送の種類 放送局からのお知らせ パネル広告: **データ** を押すと詳細表示

選択中の番組紹介
選択中の番組

放送局から送られてくる情報によって番組のジャンルをマークで表示

放送局の3桁チャンネル番号

リモコンのチャンネルボタン番号

短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。

リモコンのボタンの働き

現在の録画モード(→70)

予新: 録画予約中の番組(→158)

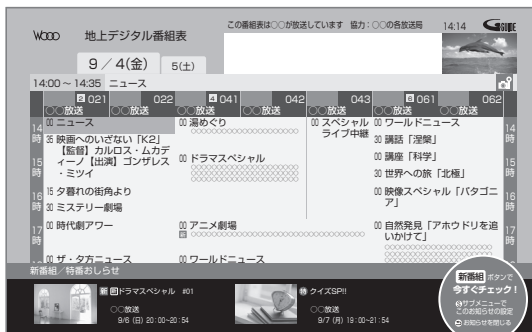
番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ/特撮)を色分け表示しています。

新番組 / 特番通知画面の表示について

番組表を表示したとき、新番組や特番、テレビ初放送の映画の情報を通知する画面を数秒間表示させることができます。

[新番組] を押すと、新番組 / 特番おしらせを表示できます。(→54)



●新番組 / 特番通知画面を表示するかどうかを設定することができます。(→45「新番組 / 特番通知設定」)

お知らせ

●番組表のデータ受信について

本機の番組表は、放送局から送られてくる番組表のデータとGガイドから送られてくる番組表のデータを基に表示しています。それぞれの番組表のデータを受信するタイミングは異なります。

- ・放送局から送られてくる番組表のデータは、その放送局を視聴するとすぐに受信することができます。
- ・Gガイドから送られてくる番組表のデータは、電源「切」時に受信します。(時間帯によっては受信できるまでに1日程度かかる場合があります)

●番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。

番組表の表示設定

放送の切り換え

地上 1/2 BS CS を押す

表示の切り換え

番組表の表示を変更することができます。

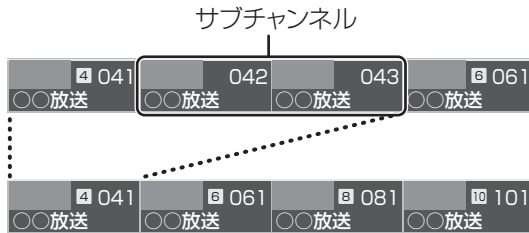
■ 停止 を押す

🔍 表示チャンネル数を変更するには
[◀◀][▶▶] を押す

🔍 文字のサイズを変更するには
[青][赤] を押す

🔍 番組詳細の表示を切り換えるには
[緑] を押す

🔍 サブチャンネル表示を切り換えるには
[黄] を押す



🔍 お知らせ

● サブチャンネルの表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り換え

● 全チャンネル表示時のみ

青 (前日) 赤 (翌日) を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

① 一時停止 を押す

② 日付を選び、決定 を押す

🔍 お知らせ

● 本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
さらに、本機をインターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→133)を「入」にすると、1カ月の番組情報を取得することができます。(2017年8月現在、1カ月の番組情報を取得できる放送局はWOWOW、スター・チャンネルのみです)

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

① 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

② 黄 を押す

時間帯の切り換え

スキップ または スキップ を押す

その他の表示設定

1 番組表表示中に

サブメニュー S を押す

2 項目を選び、設定する

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(→51)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ● お好み番組表は、「お好みチャンネル」(→41)で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数	1画面に表示するチャンネル数を変更します。 ● 全チャンネル表示時のみ
表示日数切換	1画面に表示する日数を変更します。 ● チャンネル別表示時のみ
表示対象	番組表で表示させる内容を変更します。 ● 全チャンネル表示時のみ ● 「設定チャンネル」は、チャンネル設定されているPo1~36までのチャンネルを表示します。 ● 番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
新番組 / 特番通知設定	新番組 / 特番通知画面(→44)を表示するかどうかを設定します。
ジャンル別表示	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ● 全チャンネル表示時のみ
視聴制限一時解除	暗証番号(→134)を入力して視聴制限を一時解除します。
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。



録画

番組表 (G ガイド) を使って予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

USB-HDD

- DVDにデジタル放送を録画する場合、CPRM対応のディスクをお使いください。
- ビデオ方式のDVDには予約録画できません。

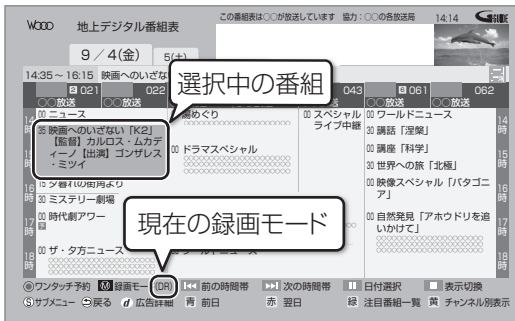
ディスクに予約録画する場合、ディスクを入れると下記のような画面が表示されますので、**[戻る]** を押して画面を消してください。



ディスクへは、1 番組のみ予約できます。

1 を押す

2 で番組を選ぶ



別の放送の番組表を見るには
[地上][BS][CS] を押す

現在の録画モードを変更するには
[録画モード] を押す

番組を検索するには
(→51、52)

3 **決定** を押す

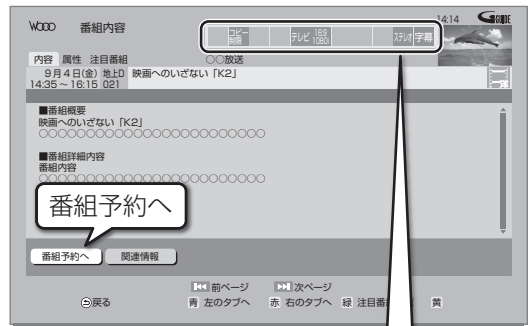
決定 の代わりに を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(予が表示されます)

- HDDに予約します。
- 手順 4、5 の操作は不要です。



4 「番組予約へ」を選び、**決定** を押す



表示マークについては (→158)

多重音声の番組には以下のマークが表示されます。

信号 : マルチ音声 主+副 : 二重音声

- 「関連情報」を選ぶと、選択している番組に関連した情報から番組を検索します。(→51)
- 「番組詳細内容」の取得には時間がかかる場合があります。

5 項目を選び、決定を押す

予約内容を確認してください。

番組予約
録画先 : HDD
録画モード : DR
持ち出し番組の作成 : しない

この設定内容で番組予約しますか？
この番組だけを予約する
毎週予約する
カテゴリでまとめて予約する
録画モードを変更する
持ち出し番組を設定する
詳細設定へ

- ディスクやUSB-HDDに予約録画する場合は、「詳細設定へ」を選び「録画先」を「BD」または「USB-HDD」に変更してください。

この番組だけを予約する：

この番組のみ予約を登録

毎週予約する：

毎週同じ曜日に予約を登録

カテゴリでまとめて予約する：

お好みの番組を自動で登録 (→59)

録画モードを変更する：

録画モードを変更（変更後、「この番組だけを予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）

持ち出し番組を設定する：

モバイル機器へ持ち出すための番組を作成 (→115)

詳細設定へ：

録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更 (→48)

詳細設定
予約を登録する

録画先	BD
録画モード	DR
毎週予約設定	しない

持ち出し番組の設定
イベントリレー する しない

信号設定
マイラベル設定 する しない

時間指定予約へ

●番組の時間変更に従って録画されます。
追従したくない場合は「時間指定予約へ」を選んでください。

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを毎日・毎週予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。



- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(→56)

■まとめ表示について まとめ HDD USB-HDD

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(→75)

(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■前回の番組を消去して録画するには

(自動更新) HDD

「自動更新」(→48)を設定しておく、前回の放送分は消去されますので、HDDの容量を効率よく使えます。

- 未視聴の場合でも自動更新されます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

●お知らせ

- 複数の番組を予約する場合は、手順1～5の操作を繰り返してください。予約済みの番組を重複して予約することはできません。
- 本機では128番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は、1番組として数えます)
- USB-HDDに複数の番組を同時に録画したい場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用してください。(→33)
- 本機で録画したUSB-HDDの番組は、他の機器(本機と同じ型式も含みます)に接続しても再生することはできません。

番組表 (G ガイド) を使って予約録画する (続き)

詳細設定をする

47 ページ手順 5 などで「詳細設定へ」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する (→ 下記へ)

詳細設定	
予約を登録する	
録画先	HDD
録画モード	DR
毎週予約設定	しない
持ち出し番組の設定	
イベントリレー	する
信号設定	
マイラベル設定	しない
時間指定予約へ	
<small>●番組の時間変更に従って録画されます。追従したくない場合は「時間指定予約へ」を選んでください。</small>	
<small>項目選択 決定 戻る</small>	

2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、**決定** を押す

録画先	録画先を選びます。 ●DVD に予約録画する場合は、「BD」を選んでください。
録画モード	録画モード (→70) を設定します。
毎週予約設定	「毎週予約」 (→47) を設定する ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。

持ち出し番組の設定	録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。(→115)
HDD	
イベントリレー	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます)
例)	<p>時間 →</p> <p>9:00 12:00</p> <p>(A局) 野球中継 (放送終了時間まで)</p> <p>(B局) 野球中継 (延長部分)</p> <p>12:00 13:00</p> <p>引き続き録画</p>
お知らせ	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。 ●録画先が“BD”の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。 ●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

お知らせ

- ディスクに複数の番組を同時に録画予約することはできません。

信号設定

複数の音声や映像の信号があるときに設定します。DVDに録画する場合などに設定してください。

- ① 項目を選び、設定する
- ② [戻る] を押す

お知らせ

- 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。(詳しくは →70)
- 選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。

マイラベル設定

HDD

録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。

設定すると、録画一覧(→72)で番組を探すのに便利です。

設定は録画後に変更することもできます。(→87)



ラベルを選び、[決定] を押す

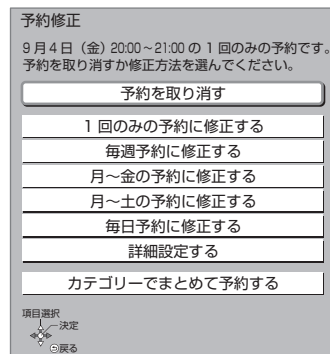
- 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
- マイラベル名は変更することができません。(→75「分類ラベル設定」)
- 一度に録画一覧に設定できるマイラベルは3つまでです。

時間指定予約へ

録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。(→55「時間指定予約」)

番組表での予約の取り消し / 修正

- ① 予が表示されている番組を選び、 を押す
- ② 項目を選び、 を押す



☞「詳細設定する」を選んだ場合

「番組予約」のときは(→48「詳細設定」)
「時間指定予約」のときは(→55「時間指定予約」)

☞「カテゴリでまとめて予約する」を選んだ場合(→59)

録画中の予約録画を止める

1  を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2 「はい」を選び、 を押す

- 確認画面が表示されない場合は、本機の映像をテレビに映してください。(→36)

録画

番組表 (G ガイド) を使って予約録画する (続き)

注目番組一覧から予約録画する

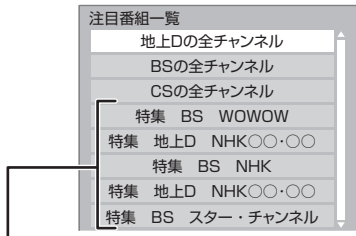
放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に

[緑] を押す

2 放送を選び、**[決定]** を押す

- 地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順4へ進んでください。

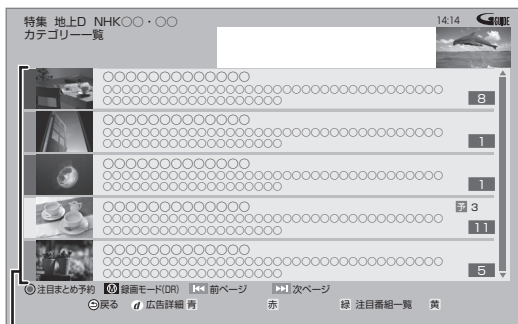


インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→133)を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。

(2017年8月現在、注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです)

3 (注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)

カテゴリーを選び、[決定]** を押す**



カテゴリー

[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

- **[予]** が表示され、予約は完了します。
- 録画された番組は、**[まとめ]** 番組になります。

[放送を変更するには]

[緑] を押す (→手順2へ)

4 番組を選び、**[決定]** を押す



カテゴリー

[前後のページを見るには]

[◀][▶] を押す

[他のカテゴリーを表示するには]

[青][赤] を押す

(**[|| 一時停止]** を押してカテゴリーを選択することもできます)

[放送を変更するには]

[緑] を押す (→手順2へ)

[録画モードを変更するには]

- ① **[録画モード]** を押す
- ② 録画モードを選び、**[決定]** を押す

5 「番組予約へ」を選び、**[決定]** を押す

(「番組予約」のときは→47手順5)

(「時間指定予約」のときは→55手順3)

ジャンルや人名、ワードで検索する

1 番組表表示中に

サブメニュー **S** を押す

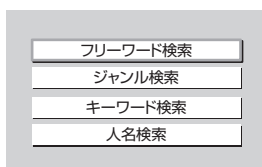
サブメニュー **S** の代わりに **[検索]** を押すと、

複数の検索条件を組み合わせ、番組を検索することができます。
(→52)



2 「番組表の検索」を選び、**[決定]** を押す

3 検索方法を選び、**[決定]** を押す



ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

4 検索条件を選び、**[決定]** を押す

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

[放送ごとに表示するには]

[地上][BS][CS] を押す

[別の日の検索結果を表示するには]

[青] (前日) [赤] (翌日) を押す

(検索結果画面表示中に、**[一時停止]** を押して日付を選択することもできます)

5 番組を選び、**[決定]** を押す

6 「番組予約へ」を選び、**[決定]** を押す

(→47 手順 5)

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の検索条件 (5件まで) を登録し、1つでも条件を満たす番組を検索することができます。

- 番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容(→46 手順 4)の文字情報から検索します。

■ 検索条件を登録する

4 **[緑]** を押す

5 検索方法を選び、**[決定]** を押す

- 「フリーワード」は、文字を入力し (→131)、登録してください。

上記手順 4、5 を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

[登録したフリーワードを変更するには]

- ① 検索条件を選び、**[決定]** を押す
- ② 「フリーワード編集」を選び、**[決定]** を押す
- ③ 文字を入力する (→131)

[登録した検索条件を削除するには]

- ① 検索条件を選び、**[黄]** を押す
- ② 「はい」を選び、**[決定]** を押す

■ 検索する

4 検索する放送種別を変更する場合：

- ① **[赤]** を押す
- ② 検索したい放送を「入」に設定し、**[決定]** を押す

5 **[青]** を押す

[別の日の検索結果を表示するには]

[青] (前日) [赤] (翌日) を押す

(検索結果画面表示中に、**[一時停止]** を押して日付を選択することもできます)

6 番組を選び、**[決定]** を押す

7 「番組予約へ」を選び、**[決定]** を押す

(→47 手順 5)

📌 お知らせ


- フリーワード検索結果は、40 件まで表示します。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどの検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

番組を検索する

複数の検索条件を組み合わせて、番組表や録画番組の中から番組を検索し、予約録画や再生・編集をすることができます。

1 を押す


2 予約録画したい番組を検索する場合： 「番組表」を選び、 を押す

再生・編集したい番組を検索する場合：
「録画一覧」を選び、 を押す




3 検索条件を設定する (→53)

●検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。
([赤] を押して「指定しない」にすることもできます)

 設定した検索条件をリセットするには
[青] を押す

4 すべての設定が終了したら、 を押す



 再検索するには
[検索] を押す

お知らせ

- 録画中の番組は、検索の対象になりません。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

予約する


⑤ 番組を選び、 を押す


⑥ 「番組予約へ」を選び、 を押す (→47 手順 5)

再生する

⑤ 番組を選び、 を押す

編集する

⑤ 番組を選び、 を押す (→85 「番組を編集する」
手順 3)

 チャプターを編集するには

[サブメニュー] を押して「チャプター一覧へ」
を選び、[決定] を押す (→90 手順 4)

消去する

⑤ 番組を選び、 を押す

⑥ 「消去」を選び、 を押す

検索条件について

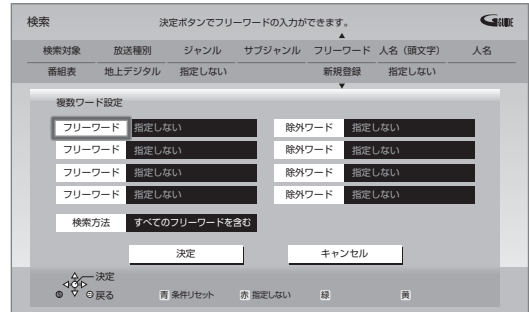
録画先	録画番組のある録画先 ●「家じゅう」は、AV ネットワークで接続された機器の中から番組を検索することができます。
検索単位	「番組」単位で検索
放送種別	放送の種類 ●「お好み」は、「お好みチャンネル」(→41)で登録されている放送局です。
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
フリーワード	登録したワード 🔍 フリーワードの登録について (→右記) ●番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容 (→46手順4)の文字情報から検索します。
人名(頭文字)	人名の頭文字
人名	「人名(頭文字)」で指定した頭文字の人名
期間	番組を録画した日時

検索条件によって表示される項目は異なります。

フリーワードを登録する

フリーワードは 20 件まで登録することができます。

- ① 「新規登録」を選び、**決定** を押す
- ② 項目を選び、設定する
🔍 文字入力 (→131)



フリーワード：

入力文字の関連番組を検索します。

除外ワード：

入力文字の関連番組を検索対象から除外します。

検索方法：

検索時の組み合わせ方を設定します。

- 「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。
- 「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれか 1 つでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。

- ③ 設定が完了したら、「決定」を選び、**決定** を押す

🔍 登録したフリーワードを変更するには

- ① 変更したいフリーワードを選び、[緑] を押す
- ② 項目を選び、設定する
🔍 文字入力 (→131)

🔍 登録したフリーワードを削除するには

削除したいフリーワードを選び、[黄] を押す

新番組 / 特番 / 初放送の確認や予約をする

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

USB-HDD

本機は新番組や特番、テレビ初放送の映画を一覧で表示できます。

表示マーク	表示条件
新番組： 新	「新」、<新>、<新番組>、<新シリーズ>の表示がある番組
特番 (地上 D)： 特	放送時間が 1 時間 45 分以上で、番組開始時刻が 18 時から 23 時 59 分までの地上デジタルの番組
初放送 (映画)： 初	「初放送」、「地上波初」など「初」の表示がある映画の番組

1 **新番組** を押す

2 番組を選び、**決定** を押す

決定 の代わりに **ワンタッチ予約録画** を押すと、現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。
●HDD に予約します。



前後のページを見るには

[◀◀][▶▶] を押す

他のジャンルを表示するには

[赤] を押す

放送を変更するには

[青] を押す

「新番組」、「特番 (地上 D)」、「初放送 (映画)」

それぞれで表示するには

[緑] を押す

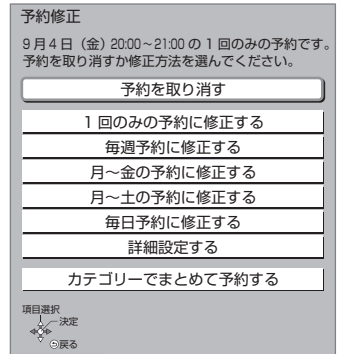
録画モードを変更するには

- ① [録画モード] を押す
- ② 録画モードを選び、[決定] を押す

3 「番組予約へ」を選び、**決定** を押す (→47 手順 5)

予約済みの項目を修正する

- ① **予** が表示されている番組を選び、**ワンタッチ予約録画** を押す
- ② 項目を選び、**決定** を押す



「詳細設定する」を選んだ場合
(→48 「詳細設定」)

お知らせ

- 新番組を [ワンタッチ予約録画 ●] で予約をした場合、第 1 話しか予約されません。毎週予約に変更する場合は、もう一度 [ワンタッチ予約録画 ●] を押して毎週予約に修正をしてください。
- 表示条件が 2 つ以上重なる番組の表示マークは、「新番組」、「初放送 (映画)」、「特番 (地上 D)」の優先順位で表示します。

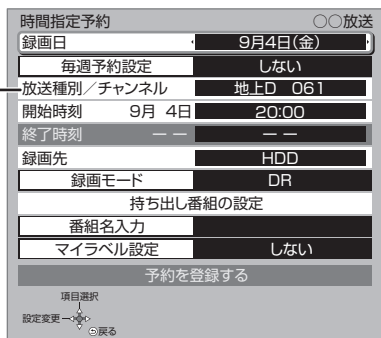
日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR
USB-HDD

1 **予約確認** を押す

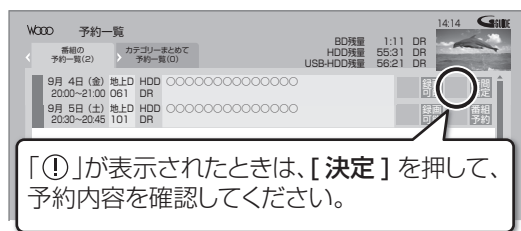
2 **ワンタッチ予約録画** を押す

3 **予約内容を設定する**
(→ 右記「時間指定予約」へ)



CATVセットトップボックスなどの外部入力から録画するときには「外部入力L1」を選んでください。

4 「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、**決定** を押す



お知らせ

- 暗証番号に関する表示が出たとき
デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号(→134)の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、**[戻る]**を押すと予約できます。
- 本機の日時が間違っている場合は、日時設定を行ってください。(→138「日時設定」)
- 番組追従機能(→63)は動きません。

予約内容の設定

時間指定予約

- ① 項目を選び、設定する(→下記へ)
- ② 設定が終了したら、
左記手順4へ

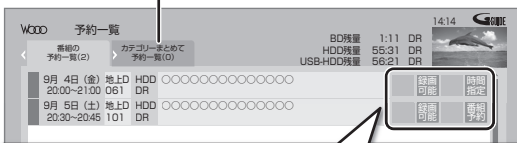
録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 (→48「毎週予約設定」)
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀]または[▶]を押したままにすると15分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード(→70)を設定します。
持ち出し番組の設定	持ち出し番組作成の設定をします。 (→48)
HDD	
番組名入力	●文字入力について(→131) ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。(→49)
HDD	

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 を押す

2 番組を選び、以下の操作を行う

- [◀] [▶] を押して、「カテゴリーまとめて予約一覧」を選ぶと、カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消しができます。
(→60「カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し」手順5)



予約状況がマークで表示されます。

- 「!」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- 毎日・毎週予約で HDD の残量が少ないため数週間後の予約ができない場合、「!」が表示されます。「毎週一覧」で確認してください。
- 表示マークについては(→159)

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。
(消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます → 右記)

予約の取り消し

黄 を押す

予約内容の修正

- 1 決定 を押す
- 2 「修正」を選び、決定 を押す
(「番組予約」のときは →48「詳細設定」)
(「時間指定予約」のときは →55「時間指定予約」)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

- 1 決定 を押す
 - 2 「毎週一覧」を選び、決定 を押す
- 予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(→64)
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める (一時解除)

- 1 サブメニュー を押す
 - 2 「予約実行切」を選び、決定 を押す
- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
 - [サブメニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。[LAN 経由(スカパー! プレミアム サービスや CATV)で録画中の番組を除く]

視聴制限の一時解除

暗証番号 (→134) を入力して視聴制限を一時解除します。

- 1 サブメニュー を押す
- 2 「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す
- 3 1 あ ~ 10 記号 で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

「一部未実行」など、録画ができなかった予約の履歴を一覧表示します。

- 1 サブメニュー を押す
 - 2 「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す
- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

- 1 サブメニュー を押す
 - 2 「履歴削除」を選び、決定 を押す
 - 3 「はい」を選び、決定 を押す
- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

自動予約する

おまかせ録画する

設定した録画条件から番組を毎日検索し、自動で予約録画します。

- **HDD** に 5 倍録モードで予約録画されます。
録画モードを変更したい場合は、「録画モードを設定する」(→58)で設定してください。
- おまかせ録画は最大 12 個まで登録できます。
🔗 自動予約機能で予約可能な番組数について (→65)

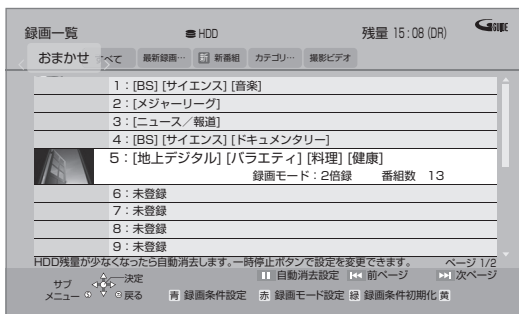
1 機能一覧を押す

2 「おまかせ録画」を選び、決定を押す

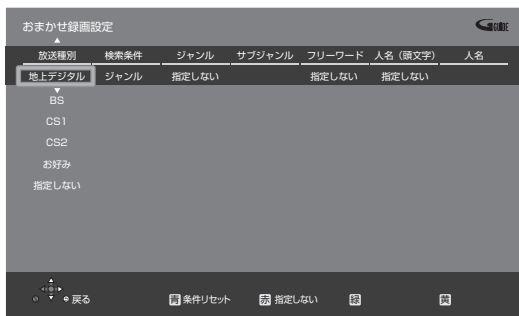
- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 「未登録」を選び、青を押す

- 登録済みのおまかせ録画を変更するには、項目を選び、[青] を押してください。



4 録画条件を設定する (→ 右記)



5 すべての設定が終了したら、決定を押す

録画条件について

放送種別	放送の種類 ●「お好み」は、「お好みチャンネル」(→41)で登録されている放送局です。
検索条件*1	「ジャンル」、「カテゴリー」の切り換え
ジャンル	ドラマ、スポーツ、音楽などのキーワード
カテゴリー*2	放送番組に関連したキーワード
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
サブカテゴリー	「カテゴリー」の詳細
フリーワード	登録したワード 🔗 フリーワードの登録について (→53)
人名 (頭文字)	人名の頭文字
人名	「人名 (頭文字)」で指定した頭文字の人名

※ 1 放送データが未取得の場合は、「カテゴリー」への切り換えはできません。

※ 2 選択項目は放送データの取得状況によって変わります。

お知らせ

- おまかせ録画の自動予約を取り消す場合は、登録済みのおまかせ録画を取り消してください。(録画条件の初期化) (→58)
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。(→65「自動予約する番組の優先順位について」)

自動予約する (続き)

自動消去設定

おまかせ録画で予約録画された番組は、自動的に消去することができます。

自動消去は本機の電源「切」時に実行します。

57 ページ手順 2 のあと

③ を押す

④ 項目を選び、 を押す

●自動消去の対象から外したい番組は、「プロテクト設定」(→右記)または「おまかせ録画から除外」(→59)を設定してください。

●「HDD の残量が少なくなったら自動消去する」の場合、録画日時が古い順に最大 20 番組を自動消去します。

お知らせ

●本機の電源「入」時や予約録画中などは、自動消去は実行されません。

録画モードを設定する

おまかせ録画ごとに録画モードを設定できます。

57 ページ手順 2 のあと

③ 登録したおまかせ録画を選び、 を押す

④ 録画モード (→70) を設定する

おまかせ録画予約の確認、修正、登録の取り消し

57 ページ手順 2 のあと

■ 予約済み番組を確認する

③ 確認したい項目を選び、 を押す

④ を押す

⑤ 「登録済み予約」を選び、 を押す

- 予約番組を修正したい場合：
「登録済み予約」では確認のみできます。
予約された番組を修正したい場合は、
予約一覧 (→56) で修正してください。

■ 登録済みのおまかせ録画を取り消す

選択したおまかせ録画のみを取り消し、自動予約されなくします。(録画条件の初期化)

③ 登録した項目を選び、 を押す

④ 「はい」を選び、 を押す

- すでに予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧(→56)で取り消してください。

おまかせ録画した番組を再生する

1 を押す

2 「おまかせ録画」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 項目を選び、 を押す

4 番組を選び、 を押す

おまかせ録画の一覧から番組を消去する

上記手順 3 のあと

④ 消去したい番組を選び、 を押す

⑤ 「消去」を選び、 を押す

- 他のおまかせ録画一覧に同じ番組がある場合は、本機から消去されません。
再生中に [消去] を押して番組消去を行うと、その番組は本機から消去されます。

プロテクト設定 / 解除

自動消去などで記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに保護する設定ができます。

上記手順 3 のあと

④ 番組を選び、 を押す

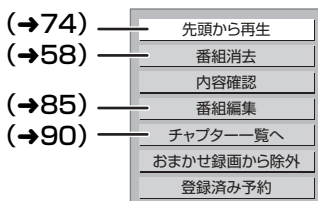
⑤ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、 を押す


- プロテクト設定すると が表示されます。
- 他のおまかせ録画一覧に同じ番組がある場合は、その番組もプロテクト設定 / 解除されます。

おまかせ録画一覧の便利な機能





58 ページ「おまかせ録画した番組を再生する」の手順3のあと

- ④ 番組を選び、を押す
- ⑤ 項目を選び、を押す (→下記へ)




内容確認	番組の内容が確認できます。  画面を消すには [決定]を押す
おまかせ録画から除外	おまかせ録画一覧で表示させなくします。 「すべて」ラベル (→73) からは番組を見ることができます。
登録済み予約	おまかせ録画で録画予約した番組を表示します。

お知らせ

- おまかせ録画により、自動で録画された番組には「」が表示されます。
- 「おまかせ」ラベルでは、新しく録画された番組がある場合には、「」が表示されます。
- 録画一覧 (→72) の「すべて」ラベルでは  番組として、まとめ表示されます。
 -  の番組を消去した場合、おまかせ録画一覧でも番組は表示されなくなります。


関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリーまとめて予約)

お好みの番組に関連するカテゴリーの番組を毎日検索して自動で予約録画します。

- **HDD** に予約します。
- 登録できる項目数は32個までです。
-  **自動予約機能**で予約可能な番組数について (→65)

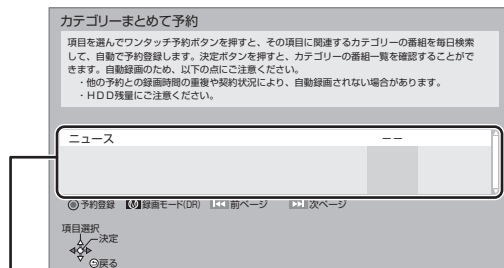
選択した番組から探す

選択している番組に関連した項目から番組を自動で予約録画します。

- 1 番組予約画面 (→47 手順5) 表示中に「**カテゴリーでまとめて予約する**」を選び、 **決定** を押す

- 選択している番組に関連するカテゴリーの番組の情報がない場合、選択できません。

- 2 表示されている項目を選び、 **決定** を押す



選択している番組に関連した項目が表示されます。

- 録画モードを変更する場合は、[録画モード] を押して、録画モードを選んでください。

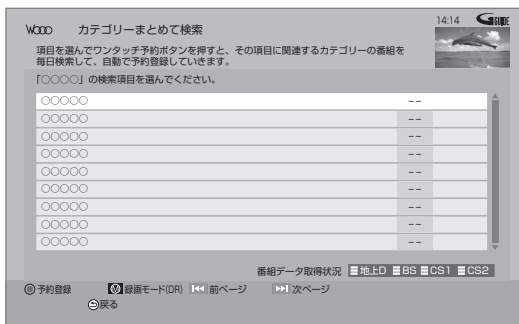
- 3 「予約する」を選び、 **決定** を押す

自動予約する (続き)

カテゴリから探す

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連したカテゴリの番組を自動で予約録画します。

- 1 **機能一覧** を押す
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す
●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「番組を探す・予約する」を選び、**決定** を押す
- 4 「カテゴリまとめて検索」を選び、**決定** を押す
- 5 「検索する」を選び、**決定** を押す
- 6 検索対象から項目を選び、**決定** を押す
- 7 項目を選び、**ワンタッチ予約録画** を押す



●録画モードを変更する場合は、[録画モード]を押して、録画モードを選んでください。

- ☞ カテゴリの番組一覧を表示する場合
手順7で[決定]を押す

カテゴリまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し

- 1 **機能一覧** を押す
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す
●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「番組を探す・予約する」を選び、**決定** を押す
- 4 「カテゴリまとめて検索」を選び、**決定** を押す
- 5 「登録した予約を確認する」を選び、**決定** を押す

■ 予約済み番組を確認する

- 6 確認したい項目を選び、**決定** を押す
●予約番組を修正したい場合：
① 修正したい番組を選び、
[ワンタッチ予約録画 ●]を押す
② 項目を選び、[決定]を押す
詳細設定について (→48)
(予約番組を修正すると、カテゴリまとめて予約の番組ではなくなります)

■ 登録済みの項目を取り消す

- 6 登録した項目を選び、**ワンタッチ予約録画** を押す
 - 7 「はい」を選び、**決定** を押す
- すでに予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧(→56)で取り消してください。

📌お知らせ

- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。(→65「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。

新番組を自動で予約録画する

地上デジタル BSデジタル

番組名に「新」、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大16番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は18時～23時59分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- 「HDD」にDRモードで予約します。

1 **機能一覧** を押す

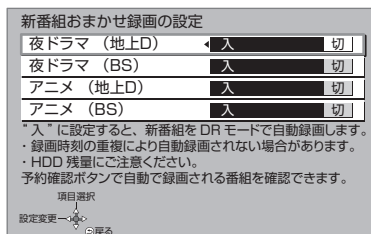
2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「番組を探す・予約する」を選び、**決定** を押す

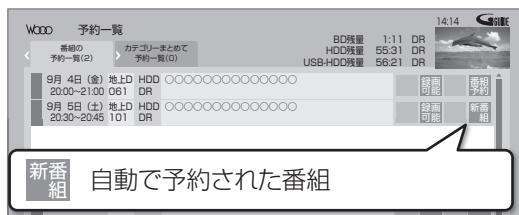
4 「新番組おまかせ録画」を選び、**決定** を押す

5 設定したい項目を選び、「入」にする



予約された新番組の確認

予約確認 を押す



🔍 予約内容を修正するには (→56)

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

📢 **お知らせ**

- 「新番組おまかせ録画」で録画された番組を再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。(→65「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの新番組は、契約していない場合、自動登録されません。

自動予約する (続き)

ニュース番組を自動で予約録画する

地上デジタル

指定したチャンネルのニュース番組を自動で予約録画することができます。

録画されたニュースは、「最新ニュース」として見ることができます。



- **[HDD]** に 7 倍録モードで予約録画されます。
🔗 自動予約機能で予約可能な番組数について (→65)

最新ニュースを再生する

録画されたニュース番組の中から最新の番組を再生することができます。

1  を押す



2 「最新ニュース」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [][] でページを切り換えてください。

ニュース録画設定

1  を押す

2 「ニュース録画設定」を選び、 を押す


- 表示がない場合は [][] でページを切り換えてください。

3 項目を選び、設定する



ニュース録画機能：
「入」に設定すると、ニュース番組の自動録画を有効にします。

チャンネル：
チャンネルを選びます。

4 設定が終了したら、
「設定完了」を選び、 を押す

予約録画の便利な機能

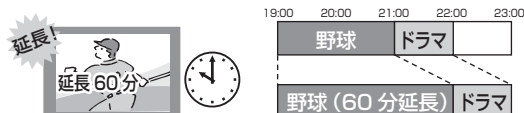
ディスクや USB-HDD の残量不足などに対応 (代替録画)

残量不足や未挿入、未接続などの理由でディスクや USB-HDD に予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の開始から HDD に録画します。

番組追従機能

■ 野球中継などの番組延長に対応

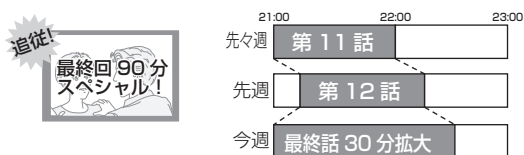
予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)



- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■ 毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)



- 番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

🔒 番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(→55)

📌 お知らせ

- HDD の残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- DVD 画質の予約を代替録画すると、HDD には 3 倍録モードで録画します。

📌 お知らせ

- 時間指定予約では番組追従機能は動きません。
- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は、Gガイド固有の機能ではありません。

録画 / 予約録画に関するお知らせ

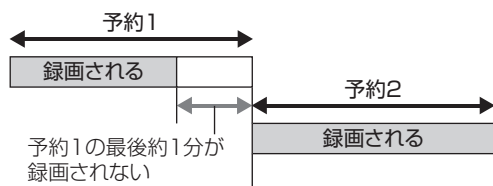
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。予約録画中に電源を切ることはできません。(録画に影響はありません)

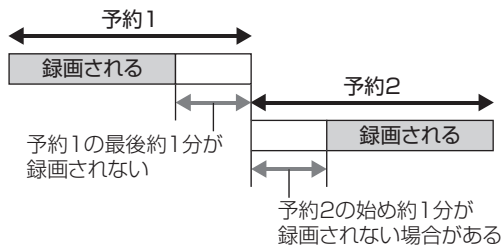
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

以下の場合、前の予約の終わり約 1 分が録画されません。

- 複数の番組を録画できない状態のとき
- USB3.0 非対応の USB-HDD に予約しているとき



次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されない場合があります。

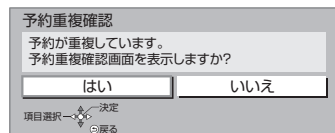


- 前の予約の録画終了時刻に近づく、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

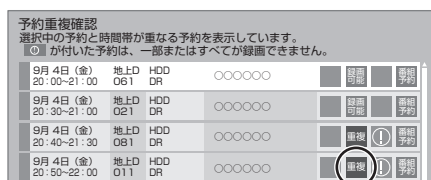
予約番組が重なっているとき (47 ページ手順 5 などのあと)

予約が重なって、録画が正しく行われなかった場合、確認画面が表示されます。

画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。



例)

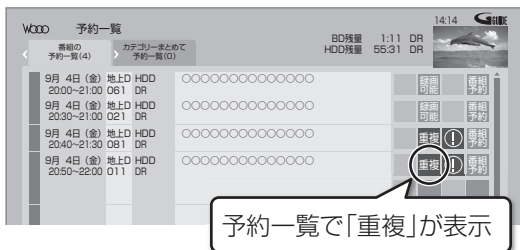


「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定] を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

例)



開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。

開始時刻が同じ場合、あとから予約した番組を優先して録画します。

- LAN 経由(スカパー! プレミアムサービスや CATV)の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

自動予約機能で予約可能な番組数について

- 新番組おまかせ録画は 16 番組まで可能です。
- 以下の録画予約は合計 128 番組まで可能です。
 - ・おまかせ録画 (→57)
 - ・カテゴリーまとめて予約 (→59)
 - ・ニュース録画 (→62)

自動予約する番組の優先順位について

本機は、以下の優先順位で予約します。
予約の重複が起こった場合は、優先順位の低い自動予約は登録されません。

- ① 検索条件が「ジャンル」または「カテゴリー」のおまかせ録画 (→57)
- ② カテゴリーまとめて予約 (→59)
- ③ 新番組おまかせ録画 (→61)
- ④ ニュース録画 (→62)

同じ種類の予約録画が重なった場合、複数の番組を録画 (→71) できないときは、以下の優先順位で予約します。

- ① 開始時刻の早い番組を優先
- ② 開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタル放送の番組を優先
- ③ 放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

再放送の録画について

「おまかせ録画」や「カテゴリーまとめて予約」では、同じ番組を二度録画するのを防ぐために、番組名に「第 2 話」や「#2」などの話数を含む番組（連続ドラマやアニメなど）を録画したことがある場合、その再放送は約 180 日間録画予約しません。

（ただし、途中で録画を中断した番組の再放送は録画予約します）

- 一度録画した番組の再放送も録画予約するには、「再放送の録画」(→140)を「録画する」に変更してください。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（4 倍録～ 15 倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

DR モード切り換えについて

1.5 ～ 15 倍録モードでの録画中に、再生やダビング、AV ネットワーク機能などを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例) **BD-V** 再生時

再生を開始します。
ハイビジョン画質で録画中の番組を DR モードに切り換え、録画を継続します。

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。（電源「切」時に予約録画など本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います）

- 変換前に編集を行うことはできません。

☞ 変換が終了しているか確認するには (→88)

また、1.5 ～ 15 倍録モードで複数の番組を録画中は、以下の操作ができない場合があります。

- HDD 残量不足時の再生やダビング
- 持ち出し番組やダビングリスト作成画面のプレビュー

録画モードと記録時間の倍率について

例)

録画モード変更		記録可能時間
HDD残量	500GB	180時間00分
BD容量	25GB換算	9時間00分
DVD容量	4.7GB換算	1時間39分
	3.5倍録	6.8Mbps
	4倍録	6.0Mbps
	4.5倍録	5.3Mbps
	5倍録	4.8Mbps
	5.5倍録	4.3Mbps

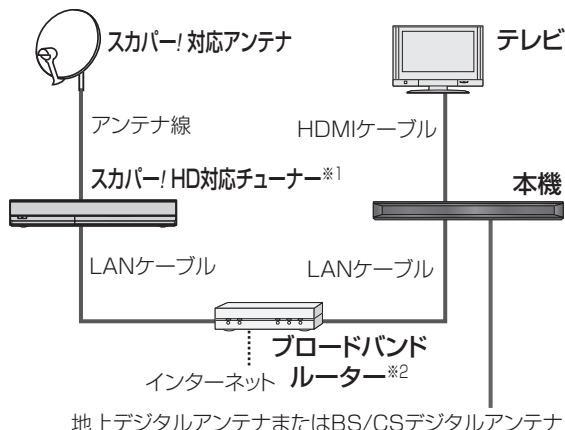
記録時間の倍率 情報量(ビットレート)*

* 数値が大きいくほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像（24 Mbps）を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

☞ 録画モードと記録時間の目安 (→172)

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーから録画する



録画を止めるには

【■ 停止】を押す

- スカパー！プレミアムサービス以外の番組も録画中のときは、“LAN” の表示のあるチャンネルを選んでください。

ネットワークで接続すると、スカパー！プレミアムサービス対応チューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

※ 1 外部入力から録画する場合は、「見ている番組を録画する」(→68) の手順で録画してください。

※ 2 インターネットに接続しない場合は、ブロードバンドルーターの接続は必要ありません。

接続と設定

- ネットワーク接続と設定をする(安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください)(→22、23、26)
- 設定を変更する場合(→149)

HDD

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーでネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体前面の“LAN” ランプが点灯します。



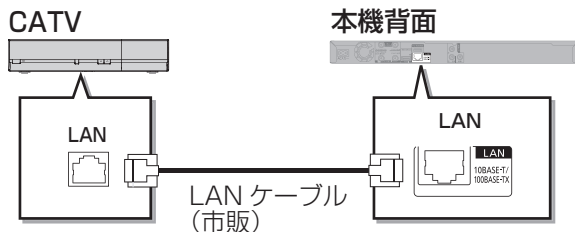
お知らせ

- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- スカパー！プレミアムサービスの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
 - ・本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。(→138 「日時設定」)
 - ・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録します。(本機側で予約内容を修正していた場合、修正内容は無効になります)
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

CATV (ケーブルテレビ) から録画する

CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング 10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。

ネットワークを使って予約する



ネットワークで接続すると、CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

●ネットワーク接続と設定をする(安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください)(→22、23、26)

AV ネットワーク / スーパー! Link (録画) 設定 (→149)

HDD

CATV側でネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体前面の“LAN”ランプが点灯します。



●本機が録画先になるように設定してください。詳しくはCATV セットトップボックスの説明書をご覧ください。

●本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されますので、予約内容を確認してください。(→56)

・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。

・視聴制限のある番組や接続しているCATV セットトップボックスによっては、番組名が表示されないことがあります。

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

●ネットワーク経由以外の番組も録画中のときは、“LAN” の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

●本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。

●CATVの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。

・本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。

(→138「日時設定」)

・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。





●CATV側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録します。(本機側で予約内容を修正していた場合、修正内容は無効になります)


●予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

CATV (ケーブルテレビ) から録画する (続き)

見ている番組を録画する

HDD

- 1  を押して、CATV を接続した端子 (「L1」など) を選び、CATV でチャンネルを選ぶ
- 2  を押して、録画モード (→70) を選ぶ
- 3  を押す
- 4 録画の終了方法を選び、 を押す

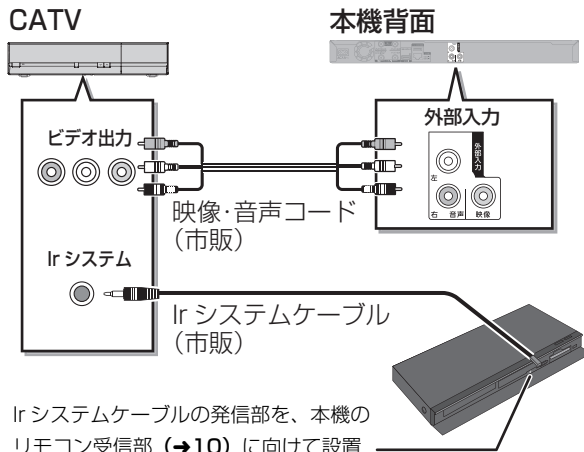
 録画を止めるには
[■ 停止] を押す

お知らせ

- 外部入力 (L1) から録画中、XP、SP、LP、FR モードの予約録画が始まると、録画が中断します。

Ir システムを使ってタイマー予約する

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR



Ir システムケーブルの発信部を、本機のリモコン受信部 (→10) に向けて設置

- 初期設定で以下の設定をする
・「リモコンモード」 (→146) :
CATV 側の Ir システムのリモコン種別の番号と合わせる

1 CATV 側の Ir システムを設定する

2 CATV 側で予約をする

- 「録画機器」の設定は、「Ir(タイマー)」にしてください。
- 録画モードの設定やディスクに予約する場合は、予約後に本機の予約一覧(→56)で、予約内容の修正を行ってください。

例) CATV 側の予約画面

詳細設定	
予約を登録する	
予約方式	<input type="checkbox"/> 見るだけ <input checked="" type="checkbox"/> 録画
録画機器	Ir(タイマー)
録画モード	---
信号設定	
その他の設定	

予約方法は機器により異なります。詳しくは CATV 側の取扱説明書をご覧ください。

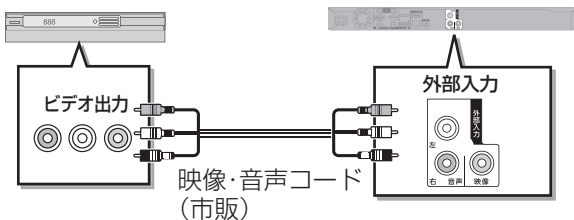
- 本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。
- 本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(→56)

外部入力から時間指定予約する

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

CATV

本機背面



お知らせ

- Ir システムを使ったタイマー予約について
 - ・本機動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
 - ・お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。
- HDD Ir システムを使った連動予約について
 - Ir システム連動予約対応機器の場合、Ir システムを使うと、本機の予約操作は不要になりますが、録画の開始時刻に本機側が以下の状態になっている必要があります。
 - ・入力切替が「外部入力 (L1)」
 - ・電源「切」上記状態になっておらず予約が失敗することを防ぐため、CATV で Ir システムを使って予約をする場合は、タイマー予約 (→68) での予約をお勧めします。
- 外部入力からの録画について
 - ・ハイビジョン画質で録画されますが、画質は向上しません。

1  を押して、「L1」を選ぶ

2 CATV 側で予約をする

- 「録画機器」の設定は、「—」にしてください。

例) CATV 側の予約画面

詳細設定	
予約を登録する	
予約方式	見るだけ <input type="checkbox"/> 録画 <input checked="" type="checkbox"/>
録画機器	—
録画モード	—
信号設定	
その他の設定	

予約方法は機器により異なります。
詳しくはCATV側の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の「時間指定予約」で予約する (→55)

- 「放送種別/チャンネル」は「外部入力L1」に設定してください。
- ディスクに予約する場合は、「録画先」を「BD」に設定してください。



録画

録画モードについて

録画モード	DR	1.5 ~ 15 倍録	XP・SP・LP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 ^{※1} して、ハイビジョン画質で長時間記録ディスクにもハイビジョン画質で記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせてXP～LPの中で画質を自動調整して記録 ^{※2}
	—	← 高画質 長時間 →	← 高画質 長時間 →	—
記録できる入力	LAN ^{※3}	外部入力	外部入力	
記録できるメディア	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC USB-HDD	RAM VR -R VR -R V ^{※4} -RW VR -RW V ^{※4}	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 (ダウンミックス2チャンネル)	
複数の音声 (マルチ音声 →46) ^{※5}	複数の音声をすべて記録	音声は2つ記録 ^{※6※7}	音声は1つだけ記録 ^{※6}	
二重音声 (→46) ^{※8}	両方の音声を記録			
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は1つだけ記録 ^{※6}		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)		字幕の入 / 切情報は記録しない (再生時、字幕表示の入 / 切はできない) ^{※6}	

●録画モードと記録時間の目安 (→172)

●録画モードを変更するには

・録画時(→43) ・予約時(→47) ・かんたんダビング時(→93「画質変更」) ・詳細ダビング時(→94)

※1 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

※2 番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。

※3 放送された画質のまま記録されますが、録画モードは表示されません。

※4 **[R V]** **[RW V]** デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※5 外部入力から録画する場合、音声は1つだけ記録(外部機器側で記録したい音声にする)

※6 記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。

・録画時 : 「信号切換」(→42) で選ぶ

・予約録画時 : 「信号設定」(→49) で選ぶ

・ダビング時 : 「信号切換」(→82) で選んだあと、ダビングを行う (→98)

※7 15倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなる場合があります。

※8 外部入力から録画する場合、音声は設定に従って記録(「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(→140)の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする。外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力する)

[R V] **[RW V]** に記録する場合、音声は設定に従って記録(「DVD-Video 記録の設定」(→140)の「二重音声記録時の音声選択」を設定する)

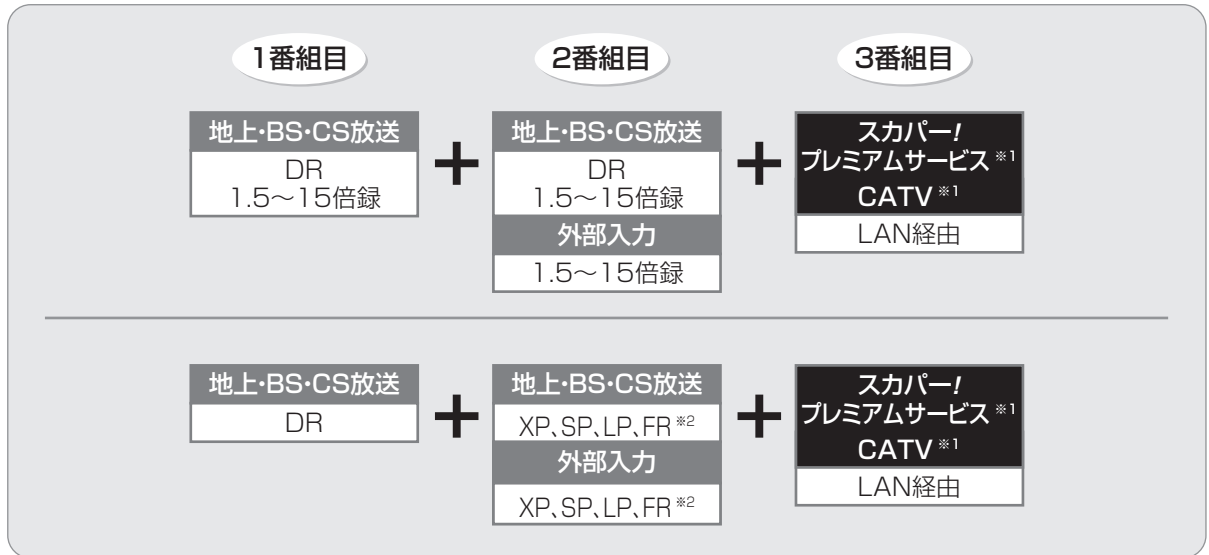
番組の同時録画について

本機でできる最大の同時録画の組み合わせは、以下のとおりです。

表の見方

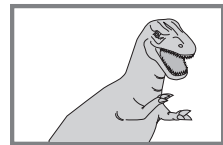
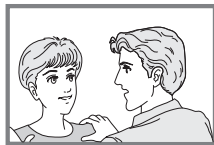
地上・BS・CS放送	録画する放送/入力
DR	録画モード/接続

● 1～3番組目の録画順は自由です。



※1 LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスやCATV）の番組は、HDD にのみ録画できます。

※2 XP、SP、LP、FR モードでの録画はDVD にのみできます。



ディスクに複数の番組を同時に録画予約することはできません。

お知らせ

- 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
 - ・ディスクからHDDへダビング中
 - ・HDDからHDDへダビング（複製）中
 - ・USB-HDDからHDDへダビング中
 - ・LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスやCATV）の2番組の場合
 - ・USB3.0 非対応のUSB-HDD に同時録画する場合



録画

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

例)

ラベル

- [◀][▶] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態

- 表示を変えるには(→75)

選択中のメディア

残量 / 録画モード

- 変更するには(→43)

表示変更ができるラベル (→75「分類ラベル設定」)

選択中の番組

ページ数

- [◀◀][▶▶] を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。押したままにすると、素早く切り換わります。

表示マークについては(→160)

(→92) (→85) (→85)

HDD **USB-HDD** 録画後すぐは「録画済」と表示 (画像は電源「切」時に作成されます)

- 表示される画像を変更するには(→87「サムネイル変更」)
- 「家じゅう」「ディスク」の場合、画像は表示されません。

まとめ 番組について

毎日・毎週予約やカテゴリまとめて予約で録画した番組は、録画一覧では **まとめ** 番組として表示されます。

録画一覧 (まとめ表示) HDD 残量 15:08 (DR)

録画一覧 (まとめ表示) HDD 残量 15:08 (DR)








まとめ 番組を選び、**決定** を押すと、**まとめ** 番組内の番組を一覧表示します。

お知らせ

- 録画一覧に表示されるDRモードの残量は、BSデジタル放送を24Mbpsで録画したものと計算されています。(→172)
- 録画一覧は、録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

 家じゅう		<p>「AV ネットワーク」(→122) で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「家じゅうラベルの表示」(→145)を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大10台まで、番組数は1台当たり最大4000番組までです。
 ディスク		<p>ディスク内の番組 (ディスクが入っている場合のみ表示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●BD-V DVD-V では表示されません。
 USB-HDD		USB-HDD 内の番組 (USB-HDD が接続されている場合に表示)
HDD	おまかせ	おまかせ録画 (→57) で録画された番組
	すべて	すべての番組
	最新録画番組*	<p>最新の録画番組から順に18番組まで表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	 未視聴*	<p>録画してまだ見ていない番組</p> <ul style="list-style-type: none"> ●番組の先頭から30秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は、「 未視聴」から除外されます。
	 新番組*	<p>新番組おまかせ録画 (→61) で録画された番組</p> <ul style="list-style-type: none"> ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「 新番組」から除外されます。
	カテゴリー まとめて番組*	カテゴリーまとめて予約 (→59) で録画された番組
	ドラマ、映画などの 「ジャンル」*	<p>録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル*	<p>「マイラベル設定」(→49、87) で設定した番組のみを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マイラベルは6個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。(→75「分類ラベル設定」)
	撮影ビデオ	ディスクやSDカード、USB機器から取り込まれた動画 [AVCHD、MP4 (4K 以外)] (→102)

*分類ラベル設定 (→75) で録画一覧に表示するラベルを変更できます。

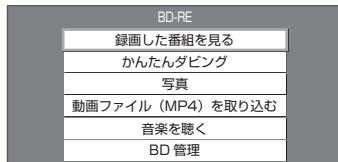
録画した番組を再生する

録画した番組を再生する

HDD | BD-RE | BD-R | RAM | -R | -RW | USB-HDD

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

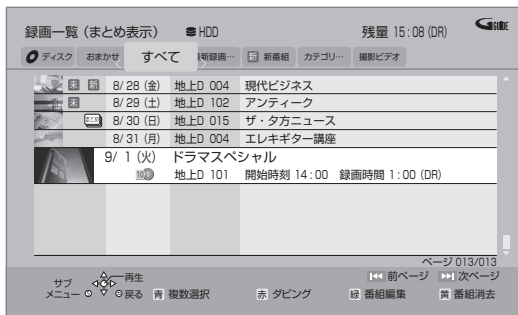
例) **BD-RE**



上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、**[決定]**を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 **[録画一覧]** を押す

2 番組を選び、**[決定]** を押す



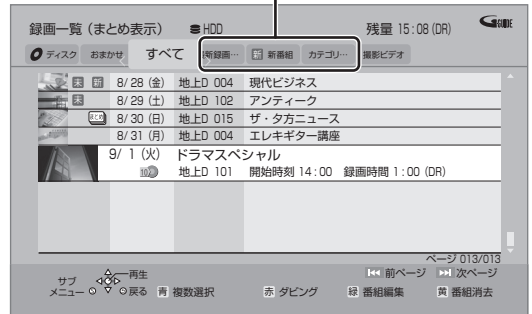
● **[まとめ]** 番組を選んで、**[決定]**を押すと、**[まとめ]** 番組内の番組を表示できます。

録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

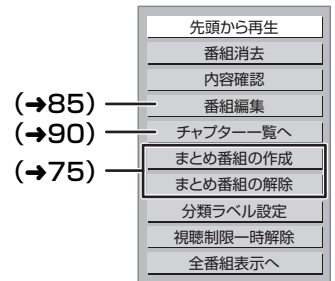
1 番組を選び、**[サブメニュー]** を押す

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベルを選んでから**[サブメニュー]**を押してください。



2 項目を選び、**[決定]** を押す (→ 下記へ)

例)



先頭から再生	番組を最初から再生します。
HDD USB-HDD	
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。 消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。 [消去] を選び、 [決定] を押す
内容確認	番組の内容が確認できます。

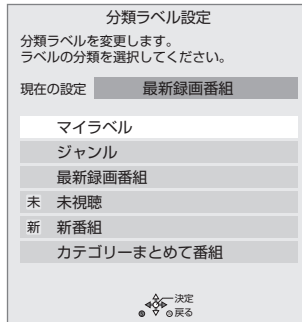
お知らせ

- 表示マークについては (→160)
- 録画中番組の再生について
 - ・HDD や USB-HDD に録画中の番組を再生できます。(追っかけ再生)
 - ・録画中に録画済みの番組を再生できます。(同時録画再生)
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。
- 有料放送を録画した番組では、再生時点での契約状況により、放送局からのメッセージが表示されます。
- 他の機器で作成したプレイリストのディスクの再生
 - ① **[機能一覧]** を押す
 - ② **[メディアを使う]** を選び、**[決定]** を押す
 - ③ **[ブルーレイ (BD)/DVD]** を選び、**[決定]** を押す
 - ④ **[プレイリストを見る]** を選び、**[決定]** を押す
- 3D 映像を楽しむには (→77)
- [録画一覧]** を押すと **[BD-V]** や **[DVD-V]** の再生が始まる場合、**[HDD]** を押してドライブを HDD に切り換えてください。

分類ラベル設定

HDD

録画一覧に表示するラベルを変更します。



表示させたいラベルを選び、
[決定]を押す

- 「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。
- 「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。
 - ① 設定するマイラベルを選び、
[決定]を押す
 - ② 「名称変更」を選び、
[決定]を押す
(ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください)
 - ③ ラベル名を入力する
(→131)

視聴制限一時解除

HDD USB-HDD

「HDD 番組の視聴制限」(→141)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

全番組表示へ まとめ表示へ

HDD USB-HDD

表示を切り換えます。

一覧を更新 更新を中止

- 「家じゅう」ラベル選択時のみ

「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

まとめ 番組について

HDD USB-HDD

毎日・毎週予約や、カテゴリーまとめて予約で録画した番組は、録画一覧画面で「まとめ」番組として表示されます。

- 「まとめ」番組は、「まとめ」番組内で最後に録画や記録された番組の日付で表示します。

まとめ 番組内の番組を連続して再生する (まとめ再生)

「まとめ」番組を選び、 を押す

まとめ 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、「まとめ」番組内の最後に録画された番組の番組名が付きます。

- 「まとめ」番組名を変更(→85)しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

① 番組を選び、 を押す

- が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

② すべて選んだあと、 を押す

③ 項目を選び、 を押す (→ 下記へ)

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。
まとめ番組から除外	選んだ番組を、「まとめ」番組から外します。 (まとめ番組一覧表示のとき)

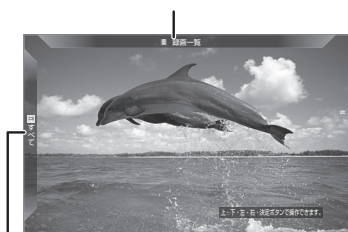
再生メニューについて

番組を視聴または再生中に、再生メニューを使用すると、選んだ項目に従って録画した番組を表示することができます。

1 **[再生メニュー]** を押す

2 **メニューを選び、[決定]** を押す

録画一覧 (→72) のメニューなどを表示



画面上部で選んだ項目に関連した番組を一覧表示



- 番組を選んで **[決定]** を押すと、再生します。
- **[サブメニュー]** を押すと、番組内容の確認ができます。

[再生メニュー] を消すには
[再生メニュー] を押す

BD ビデオや DVD ビデオを再生する

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

BD-V | DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ 再生] を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合 項目を選び、**決定** を押す



メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中 : [サブメニュー] を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中 : [録画一覧] を押す

DVD-V [録画一覧] を押す
([サブメニュー] を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中 : [録画一覧] を押す

- 停止中に [1] ~ [10] を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。

DVD-V : 2 桁入力 **BD-V** : 3 桁入力

お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。
- [録画一覧] を押すと録画一覧が表示される場合、[BD/SD] を押してドライブを BD に切り換えてください。
- Dolby Atmos[®] や dts:X[™] に対応した BD ビデオを楽しむには (→141)

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live は、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに USB 機器 (USB メモリー) を利用します。

- 1 ネットワーク接続と設定をする (→22、26)
- 2 「BD-Live インターネット接続」(→139) を「有効」または「有効 (制限付き)」に設定する
- 3 1 GB 以上の残量がある USB 機器を接続する
- 4 ディスクを入れる

- USB 機器に記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、「BDビデオデータ消去」で消去することができます。
[機能一覧] ボタン → [メディアを使う] → [USB 機器] → [BD ビデオデータ消去] で消去を行う

- アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。

- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

副映像のあるディスクを楽しむ

例)



- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」(→141) を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

- 「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。(→82)

3D 映像を楽しむ

(3D 対応テレビと接続時のみ)

- テレビ側で3Dの設定など必要な準備を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

- [3D 設定](→142)
- [3D ディスクの再生方法](→139)

再生中の番組の 3D 設定をする

- [3D 設定](→84)

撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を再生する

撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を再生する

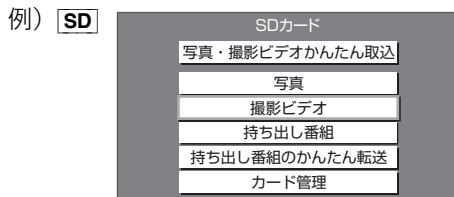
AVCHD

MP4 (SD カード)

AVCHD対応ビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

- 以下の動画の再生にも対応しています。
 - ・1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録
 - ・MP4(ビットレート：100 Mbps 以下、
解像度 / フレームレート：1920 × 1080/120p、
3840 × 2160/30p、4096 × 2160/24p まで)
記録
 - ・AVCHD 3D

ディスクやSDカードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)



SD :

下記の手順 4 に進みます。

ディスク :


右記の手順 5 に進みます。

5 「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ (AVCHD) を見る」を選び、**決定** を押す

- 複数種類の撮影ビデオがSDカードに存在している場合、メッセージが表示されます。再生したい撮影ビデオを選び、**[決定]**を押してください。

6 動画を選び、**決定** を押す

- フォルダがある場合は、フォルダを選んで動画を探してください。

 **メニューが表示されないときは**

[1] ~ [10] で3桁入力して動画を再生してください。

- MP4** 動画を選んで**[赤]**を押すと、HDDに動画を取り込むことができます。
- MP4** 動画を選んで**[黄]**を押すと、動画を消去します。

1 を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は**[◀◀]****[▶▶]**でページを切り換えてください。

3 ディスク : 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、

決定 を押す (→手順 5 へ)

SD :

「SD カード」を選び、**決定** を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、**決定** を押す

 **お知らせ**

- MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- 3D 映像を楽しむには (→77)

HDDに取り込んだ撮影ビデオを再生する

HDD

SD カードや USB 機器などから本機に取り込んだ動画を再生します。

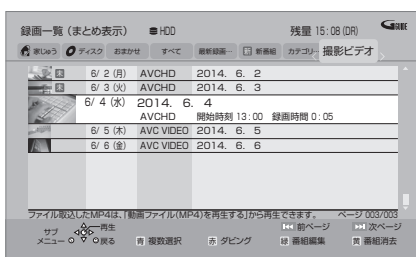
- 動画の種類や初期設定によって、取り込んだ動画の再生方法が異なります。(→102)

AVCHDまたは変換取り込みしたMP4(4K以外)を再生する

1  を押す

2 [◀][▶] で「撮影ビデオ」を選ぶ

3 動画を選び、 を押す



取り込んだ動画は、録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。


- AVCHD : 「AVCHD」
(サイドバイサイド方式で記録した3D映像も含む)
- AVCHD 3D : 「AVCHD 3D」
- 1080/60pの番組 : 「AVCHD PRO」
- MP4 (4K以外) : 「AVC VIDEO」

ファイル取り込みしたMP4を再生する

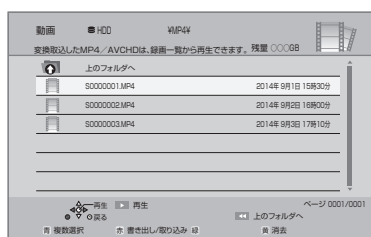
1  を押す

2 「動画 (MP4) / 撮影ビデオを再生する」を選び、 を押す


- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「動画ファイル (MP4) を再生する」を選び、 を押す

4 動画を選び、 を押す



- 動画の再生が終了したとき、同一フォルダ内に別の動画がある場合、次の動画を引き続き再生します。
- 動画を選んで[黄]を押すと、動画を消去します。
- 再生中に予約録画が始まると、再生を中断します。

 動画の書き出しや取り込みについては (→127)

再生中のいろいろな操作

停止

■ **停止** を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

(AV ネットワークで再生した場合も含む)

- **[HDD]** **[USB-HDD]**: 番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク、**[SD]**: 前回止めた位置のみを記憶
 - ・記憶した位置は、ディスクトレイを開けると解除されます。
 - ・**[BD-V]** **[DVD-V]** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

|| **一時停止** を押す

- もう一度押す、または **[▶ 再生]** を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し (サーチ)

◀ **早戻し** または ▶ **早送り** を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 早送り 1 速時のみ音声が出ます。

スキップ

再生中または一時停止中に

⏮ **スキップ** または ⏭ **スキップ** を押す

押した回数だけ番組や場면을飛び越します。

- チャプターマーク(→89)がある場合は、その場面に飛びます。
- **[MP4]** (「ファイル取込」した動画も含む) できません。

30 秒先へ飛び越す / 10 秒前へ戻す

30秒送り または 10秒戻し を押す

- **[DVD-V]** 正しく働かない場合があります。

早見再生 (1.3 倍速)

▶ **再生** 1.3倍速 を約 1 秒以上押す

- もう一度 **[▶ 再生 / 1.3 倍速]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 以下の場合はできません。
 - ・市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中
 - ・「1080/60p」の表示がある番組
 - ・**[-RW]** (ファイナライズ後も含む)
 - ・**[MP4]** (「ファイル取込」した動画も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

◀ **早戻し** または ▶ **早送り** を押す

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、送り方向のみ働きます。
- **[MP4]** (「ファイル取込」した動画も含む) できません。
- 音声は出ません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

⏪ **決定** ⏩ (左または右) を押す

押すごとに 1 コマずつ送り (戻し) ます。

- 押したままにすると、連続してコマ送り (戻し) します。
- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、コマ戻しはできません。
- **[MP4]** (「ファイル取込」した動画も含む) できません。

はっきり再生 ゆっくり / はっきり再生 (0.8 倍速)

音声をはっきりと聞き取りやすくします。また、「ゆっくり / はっきり再生」にすると、通常よりも遅い速度で再生します。

① ゆっくり / はっきり を押す

② 項目を選び、決定 を押す

- ゆっくり / はっきり再生中に **[▶ 再生]** を押すと、通常速度のはっきり再生になります。
- 以下の場合、ゆっくり / はっきり再生はできません。
 - ・市販のBDビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を3D再生中
 - ・「1080/60p」の表示がある番組
 - ・**-RW** (ファイナライズ後も含む)
 - ・**MP4** (「ファイル取込」した動画も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。
- ゆっくり / はっきり再生中は、音声はPCMになります。
- はっきり効果の強さを設定したり、はっきり再生を常時有効に設定することもできます。(→142)

音声や字幕の切り換え

音声 または 字幕 を押す

表示された再生設定画面で、音声や字幕を切り換えることができます。

(詳しくは →82)

- **[BD-V]** **[DVD-V]** ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
- **[MP4]** (「ファイル取込」した動画も含む) できません。

🔍お知らせ

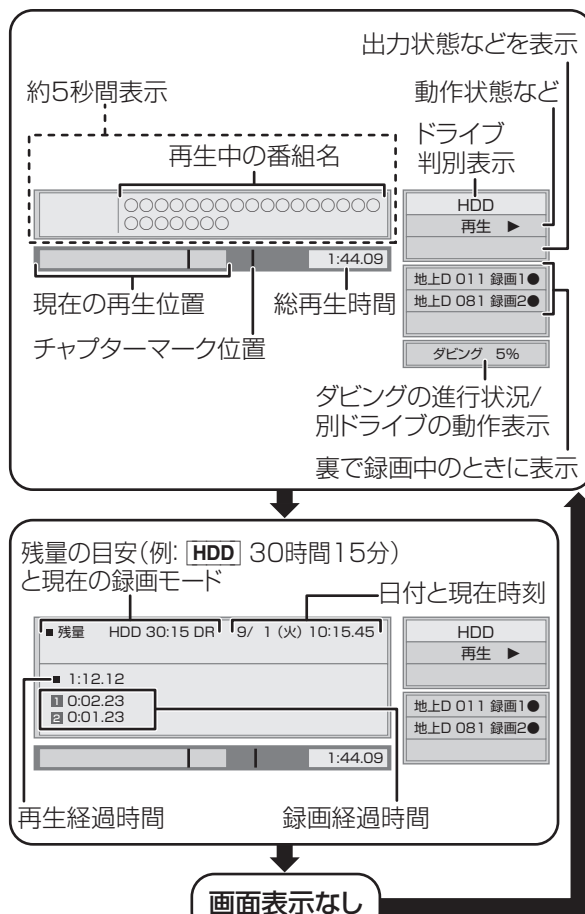
- 以下の場合、記録したスカパー！プレミアムサービスの番組は字幕表示の入 / 切ができません。
 - ・画質変更ダビングした場合
 - ・他社製機器から記録した場合

操作の状態の表示

画面表示 を押す

- 押すごとに切り換わります。

例) **[HDD]**



残量表示は記録可能なおおよその時間を表示しています。

🔍お知らせ

- ディスクや再生状態 (停止中など) によっては、一部できない操作があります。

再生設定をする

音声や字幕などの設定をする（再生設定）

1 再生中に

サブメニュー
S を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

2 「再生設定」を選び、決定を押す

3 メニューを選び、決定を押す

例) **BD-V**



4 設定項目を選び、決定を押す

- 再生する番組やディスクにより設定項目は異なります。

5 設定を変更する

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

DRモードまたは1.5～15倍録モードの番組は音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕
- ▶ 字幕言語

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

- ▶ 字幕設定：字幕表示の入/切や、言語の選択
- ▶ 字幕スタイル
- ▶ 字幕位置
- ▶ 字幕輝度

アングル

アングルを選びます。

リピート

（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）

繰り返し再生の方法を選びます。

- ▶ 番組
- ▶ タイトル
- ▶ フォルダ
- ▶ チャプター
- ▶ プレイリスト
- ▶ 全曲
- ▶ 1曲

シャッフル（音楽再生時のみ）

- 「入」にすると、順不同に再生します。

映像情報 **AVCHD**

情報の表示のみ

主映像情報 **BD-V**

副映像設定 **BD-V**

- ▶ 映像情報
- ▶ 音声情報

画質設定

設定した内容は保持されます。

ディスプレイ

- ▶ 標準
- ▶ プロジェクター

映像素材

再生時の画質を選びます。

- ▶ 標準
- ▶ シネマ
- ▶ アニメ
- ▶ ライブ
- ▶ オート

番組のジャンル情報に応じて適した画質にします。
また、製作時期が古く画質が良好ではない場合に
ノイズを抑えてすっきりとした画質にします。

解像感調整

映像の鮮明さを調整します。

数値が大きいほうが、より鮮明になります。

- ▶ 解像感
- ▶ 輪郭補正

ノイズ低減

動画に発生する不要なノイズを補正します。

数値が大きいほうが、より低減されます。

- ▶ ブロックノイズ低減
- ▶ ランダムノイズ低減
- ▶ モスキートノイズ低減
- ▶ ドット妨害・クロスカラー低減

輝度・色調整

映像の明るさ、黒レベル、白/黒階調、色の濃さ、色あい、
を調整します。

- ▶ 明るさ
- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調
- ▶ 色の濃さ
- ▶ 色あい

24p/30p 変換出力

- ▶ 切
- ▶ 24p [24p 対応のテレビと接続時のみ]
映画らしい動きで再生することができます。
 - 4K/24p 対応テレビと接続している場合
「出力解像度」(→143) を「オート」に設定時に
4K/24p で出力されます。
 - 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
「出力解像度」(→143) を「オート」または
「1080i」「1080p」に設定時に 1080/24p
で出力されます。
- ▶ 30p [4K/30p 対応テレビと接続時のみ]
「出力解像度」(→143) を「オート」に設定時に
4K/30p で出力されます。

設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。
この設定は再生中のみ有効です。

詳細設定

- ▶ 輝度垂直帯域制限
- ▶ 輝度水平帯域制限
- ▶ 色垂直帯域制限
- ▶ 色水平帯域制限
- ▶ プログレッシブ処理
プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びま
す。
 - 「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にし
てください。
- ▶ Auto
- ▶ Video

画質設定を標準に戻す



再生設定をする (続き)

音質効果設定

接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

DSD-PCM 変換周波数設定

- ▶ 176.4 kHz
- ▶ 88.2 kHz
- ▶ 44.1 kHz

DSD LPF 設定

音声詳細設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

- ▶ 切
- ▶ ナイトサラウンド*

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

自動音量調整*

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス*

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ 「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ動きます。(→141)
(音声は2チャンネルになります)

3D 設定

画面表示の飛び出し量

3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

番組を消去する / 編集する

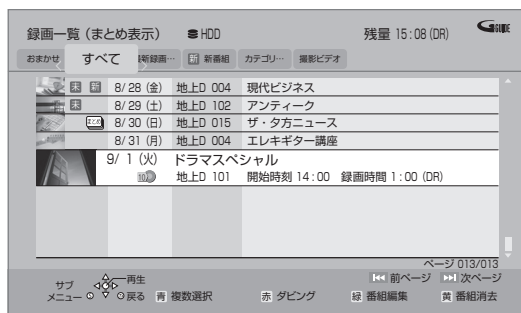
番組を消去する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

1  を押す

2 番組を選び、 を押す



- 「おまかせ」ラベルの番組を消去する場合は、「おまかせ録画の一覧から番組を消去する」(→58)をご覧ください。
- まとめ**番組内の番組を消去する場合、**[黄]**を押す前に、**[決定]**を押して、**まとめ**番組内の番組を表示してください。
- 複数の番組を消去する場合、番組を選んで**[青]**を押す操作を繰り返してください。(選んだ番組にはが表示されます。もう一度**[青]**を押すと選択を取り消します。)

3 「消去」を選び、 を押す

お知らせ

- まとめ**番組内の番組を消去して、残り1番組になった場合、**まとめ**番組は解除されます。
- HDD**の番組消去について
 - ・消去すると、持ち出し番組も消去されます。
 - ・消去が完了しても、HDDの残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- 消去後のディスク残量について
 - ・**HDD** **BD-RE** **RAM** **-RW VR** **USB-HDD**
消去すると、消去した分、残量が増えます。
 - ・**-RW V**
最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。
 - ・**BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

番組を編集する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

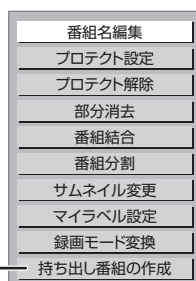
(ファイナライズしたディスクや**AVCHD**では編集できません)

1  を押す

2 番組を選び、 を押す

3 項目を選び、 を押す (→下記へ)

例) **HDD**




(→116)

お知らせ

- 編集量が多い場合、ディスクヘダビングできないことがあります。

番組名編集

 文字入力 (→131)

お知らせ

- 以下の番組は変更できません。
 - ・**新**表示の番組
- 番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定ができます。

- R V** **-RW V** できません。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**[決定]**を押す

- プロテクト設定するとが表示されます。

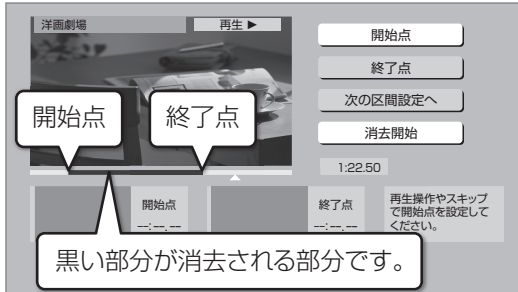
番組を消去する / 編集する (続き)

部分消去

番組中の不要な箇所を消去できます。

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

- **[R V]** **[RW V]** できません。



- ① **[▶ 再生]** を押して、再生を始める
 - ② **[開始点]** を選び、消去する部分の開始点*で **[決定]** を押す
 - ③ **[▶ 再生]** を押して、再生を始める
 - ④ **[終了点]** を選び、消去する部分の終了点*で **[決定]** を押す
 - 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**[決定]** を押す (→手順②へ)
 - ・20区間まで設定できます。
 - ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。
 - ⑤ **[消去開始]** を選び、**[決定]** を押す
 - ⑥ **[実行]** を選び、**[決定]** を押す
- 部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。
 - 部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
 - 「シームレス再生」(→141)を「入」にして再生すると、番組の消去部分の前後の映像が再生されない場合があります。

※ 編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→80) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で **[■ 一時停止]** を押し、**[◀▶]** を押して場面を調整する

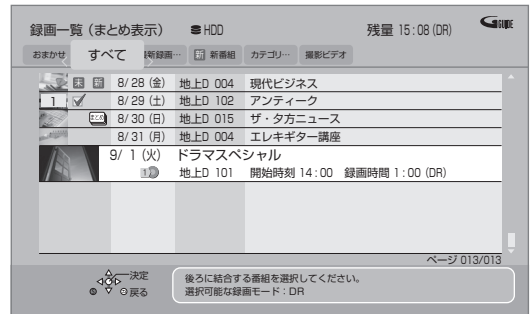
番組結合

HDD **USB-HDD**

同じ録画モードや素材の2つの番組同士を、1つの番組に結合することができます。

- 1.5 ~ 15 倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

① 結合したい番組を選び、**[決定]** を押す



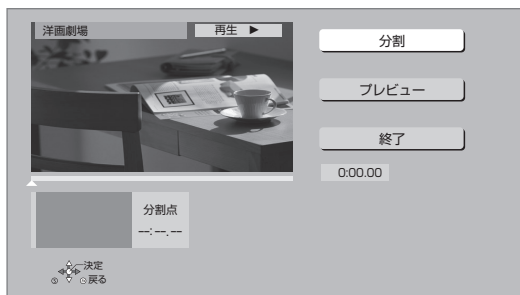
② **[結合]** を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 結合した番組は以下のようになります。
 - ・録画モード：画質の高いほうの録画モード (ただし、画質は向上しません)
 - ・ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
 - ・番組名：最初に選択した番組名
 - ・おまかせ録画をした番組の自動消去の日時：最初に選択したおまかせ録画の番組の録画日時を基準にして自動消去 (→58)
 - ・チャプターマーク：結合した位置に作成 (結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます)
 - ・番組の結合部分：映像や音声途切れることがあります。
 - ・持ち出し番組は消去されます。
- 以下の番組は結合できません。
 - ・録画時間の合計が 8 時間を超える場合
 - ・デジタル放送の番組とそれ以外の番組
 - ・LAN 経由 (スカパー! プレミアムサービスや CATV) で録画した番組
 - ・録画モード変換 (→88) を行うと、結合できるようになります。視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。
 - ・撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士

番組分割

- **-R V** **-RW V** できません。



- ① 「分割」を選び、分割する場面*で [決定] を押す
●「プレビュー」を選び、[決定] を押すと、分割する場面を確認することができます。

🔗 場面を選び直すには

- ① 「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
 - ② 分割する場面で、[決定] を押す
- ② 「終了」を選び、[決定] を押す
 - ③ 「分割」を選び、[決定] を押す

- 分割した番組は、**まとめ** 番組になります。
- 分割すると、持ち出し番組は消去されます。
- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。
- **BD-RE** **BD-R** 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

※ 編集したい場面をうまく選ぶために

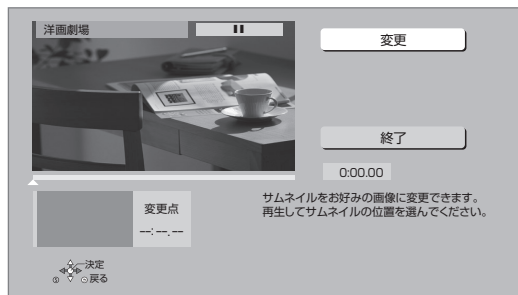
- ① 早送りやスロー再生など (→80) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で [⏏一時停止] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

サムネイル変更

HDD **-R V** **-RW V** **USB-HDD**

録画一覧やトップメニューで表示される画像 (サムネイル) を変更します。

- **-R V** **-RW V** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。

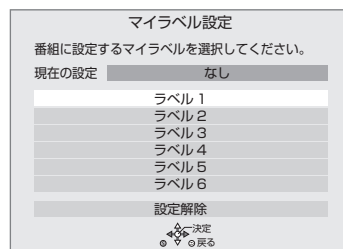


- ① [▶ 再生] を押して、再生を始める
- ② 「変更」を選び、お好みの場面*で [決定] を押す
🔗 場面を選び直すには
 - ① 「変更」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
 - ② お好みの場面で、[決定] を押す
- ③ 「終了」を選び、[決定] を押す

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができます。番組を探すのに便利です。



- ① ラベルを選び、[決定] を押す
- ② 「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す
 - 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
 - マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[決定] を押してください。
 - マイラベル名は変更することができます。(→75「分類ラベル設定」)

番組を消去する / 編集する (続き)

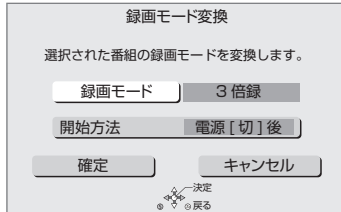
録画モード変換

HDD USB-HDD

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

●1.5 ~ 15 倍録 モードのみ選択できます。



- ① 「録画モード」を選び、[決定]を押す
- ② 倍率を選び、[決定]を押す
- ③ 「開始方法」を選び、開始方法を設定する

●すぐに：

「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。

●電源[切]後：

電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

- ④ 「確定」を選び、[決定]を押す
- ⑤ 「すぐに」開始する場合：
「開始」を選び、[決定]を押す
☞ 変換を実行中に中止するには
[戻る]を3秒以上押す

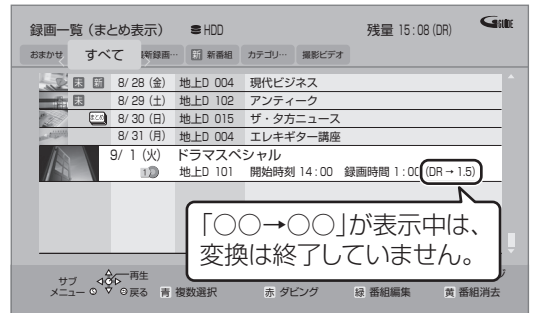
「電源[切]後」開始する場合：

[決定]を押す

☞ 変換の設定内容を変更・取り消すするには

- ① 85 ページ「番組を編集する」手順 3 で「録画モード変換」を選ぶ
- ② 「設定変更」または「設定取消」を選び、[決定]を押す

☞ 変換が終了しているか確認するには



お知らせ

- 15 倍録モードの番組や HDD に取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD) は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(→140) で記録したい音声を選んでください。

チャプターの作成・再生・編集

HDD

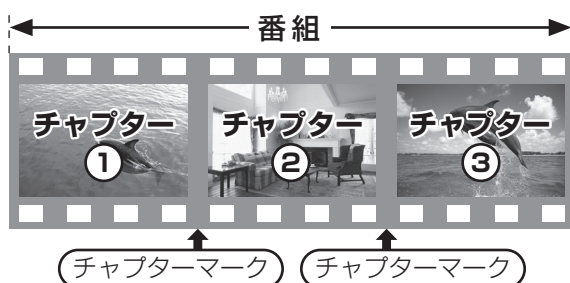
BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

(ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)

USB-HDD

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ (→80) すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。



チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」(→140)を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- HDD USB-HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能 (→80) や「サムネイル変更」(→87) ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

黄
を押す
チャプターマーク



削除

一時停止中に

- ① [スキップ] または [スキップ] を押して、削除したい場面に飛ぶ
- ② 黄
を押す
チャプターマーク
- ③ 「はい」を選び、決定 を押す



削除すると



前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

- ① [録画一覧] を押す
- ② 番組を選び、[サブメニュー] を押す
- ③ 「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す
- ④ [緑] を押す



- ⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

チャプターを再生・編集する

1 を押す

2 番組を選び、 を押す

番組を検索するには (→52)

3 「チャプター一覧へ」を選び、 を押す

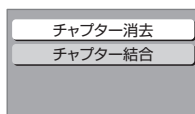
4 再生する：
チャプターを選び、 を押す

編集する：
チャプターを選び、 を押す
(→手順 5 へ)



5 編集する項目を選び、 を押す

(→ 右記へ)



チャプター消去 指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。(元に戻すことはできません)



番組が部分消去されます。

「消去」を選び、[決定]を押す

- チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
- 持ち出し番組も消去されます。
- チャプター消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

チャプター結合 選択中のチャプターと次のチャプター間のチャプターマークを削除して、1つにつなぎます。






前後のチャプターが結合されます。



「結合」を選び、[決定]を押す



番組のダビングについて



本機では、HDD、USB-HDD やディスクの間でダビングを行うことができます。

ダビング元とダビング先のメディアによって、ダビング方法やダビング速度などが異なります。

ダビング方向	ダビング方法
	<ul style="list-style-type: none"> ●かんたんダビング ●詳細ダビング ●再生中番組の保存
	<ul style="list-style-type: none"> ●詳細ダビング
高速ダビングができない条件 (1 倍速ダビングになる) <ul style="list-style-type: none"> ●VR 方式・ビデオ方式の DVD にダビングする場合 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●以下の場合、USB-HDD からダビングできません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ディスクが DVD (VR 方式・ビデオ方式) ●DR モードの番組や LAN 経由で録画した番組を DVD (AVCREC 方式) でダビングする場合、画質変更ダビングになり、以下のような制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・番組によっては、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。 ・画質変更ダビング中に視聴や再生などを行った場合、ダビング速度が遅くなります。 <p> 他機器での再生については (→29)</p>	

ダビング方向	ダビング方法
	●詳細ダビング
	
録画用フォーマットの USB-HDD の場合、移動のみ可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ●ダビング元の番組は消去されます。 ●HDD の持ち出し番組は消去されます。 ●ダビングの残り回数は減りません。 ●以下の番組はダビングできません。 <ul style="list-style-type: none"> ・AVCHD や AVC VIDEO の表示がある番組 ・XP、SP、LP、FR モードの番組 	

ダビング方向	ダビング方法
	●詳細ダビング
高速ダビングができない条件 (1 倍速ダビングになる) <ul style="list-style-type: none"> ●BD に記録した XP、SP、LP、FR モードの番組をダビングする場合 ●DVD ビデオ (ファイナライズ後のディスク) をダビングする場合 <p>お知らせ</p> <p>デジタル放送のダビングについて (ムーブバック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DVD からはダビングできません。 ●BD からは移動になります。(ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R はディスク残量は増えません) <p></p> <ul style="list-style-type: none"> ●BD-RE BD-R 以下の番組は移動できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ディスク内で番組分割した番組 ・当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組 ・BD-R ファイナライズしたディスク ・録画時間が 8 時間を超える番組 	

ダビング方向	ダビング方法
	●詳細ダビング
	
番組を複製して同じ番組を 2 つにします。	

お知らせ

- 録画モードを変更してダビングする場合は、高速になりません。
- ディスク容量を超えてダビングしたり、他機器で作成したディスクをダビングするときは、画質変更ダビングになる場合があります。
- HDD にダビングした XP、SP、LP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。

再生・編集



ダビング

番組をダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD → **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

HDDにある番組をディスクにダビングします。

●操作の前に記録可能なディスクを入れてください。

1 **機能一覧** を押す

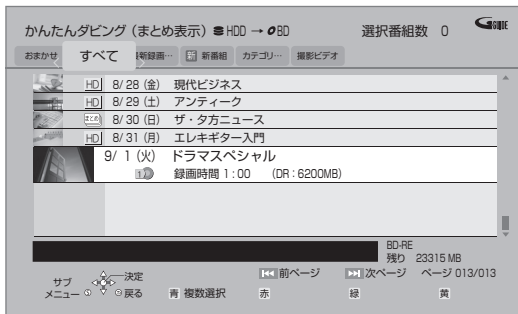
2 「残す」を選び、**決定** を押す

3 「かんたんダビング」を選び、**決定** を押す

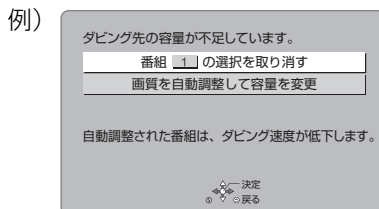
- RAM** **-R** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
画質を選び、**決定**を押してください。

4 番組を選び、**決定** を押す

- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで**青**を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には**青**が表示されます。
もう一度**青**を押すと選択を取り消します。)



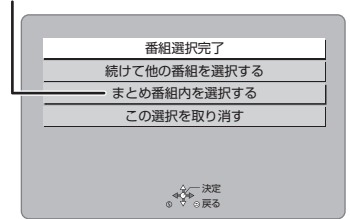
☞ 選んだ番組がディスク残量を超える場合
確認画面が表示されます。



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

5 「番組選択完了」を選び、**決定** を押す

手順 4 でまとめ番組を選んだときのみ表示

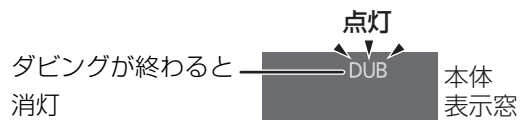


他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(→手順 4 へ)

6 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

- オプション設定について(→93)

7 「はい」を選び、**決定** を押す



新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットしたあと、ダビングを始めます。

☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (→97)

☞ ダビングの進行状況を表示するには

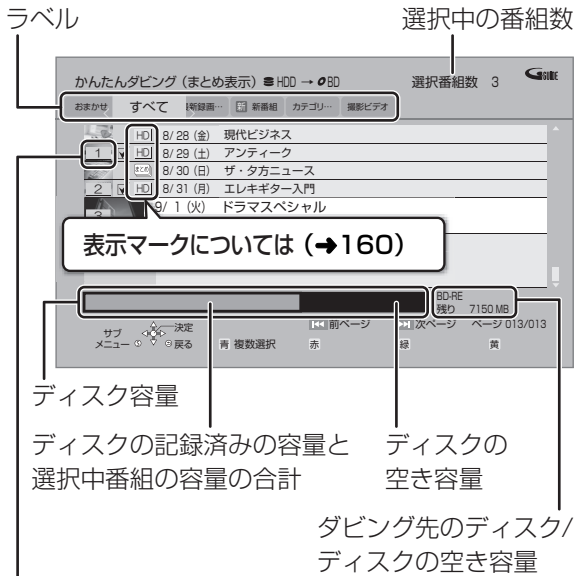
[画面表示] を押す

機能一覧画面の「残す」を選んでも進行状況を確認できます。

お知らせ

- 「DVD 画質」で未フォーマットの **-R** **-RW** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
 - ・**100** ~ **100** の番組が含まれている場合 : VR 方式
 - ・**100** ~ **100** の番組が含まれていない場合 : ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。
- プロテクト設定 (→85) されている **100** の番組はダビングできません。
- まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、**サブメニュー** を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- ダビング中に電源を切ることはできません。

かんたんダビングの画面の見方



選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面 (→92 手順 4) で

- 番組を選び、**サブメニュー** **S** を押す
- 項目を選び、**決定** を押す (→ 下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	<input checked="" type="checkbox"/> が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ● 選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ● ダビング終了後自動電源[切] ● ダビング終了後自動ファイナライズ([-R] [-RW] のみ)
視聴制限一時解除*	「HDD 番組の視聴制限」(→141) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え*	表示順を変更します。(全番組表示時のみ)
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

※ 番組に が付いているとき機能の実行はできません。

お知らせ

- [**-R**] [**-RW**] 「オプション設定」(→ 上記) の「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (→130) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

番組をダビングする (続き)

詳細ダビング

ダビング方向：

- **HDD** → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**
USB-HDD
 - **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR**
→ **HDD**
 - **USB-HDD** → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC**
-R AVCREC **USB-HDD**
- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(→128)

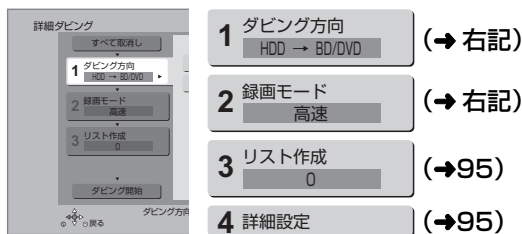
1 **機能一覧** を押す

2 「残す」を選び、**決定** を押す

3 「詳細ダビング」を選び、**決定** を押す

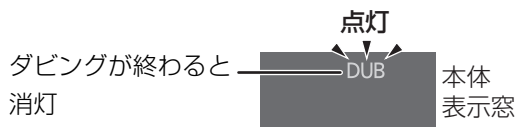
4 項目を選び、**[▶]** を押す

- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



5 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、**決定** を押す



🔌 **ダビングを実行中に中止するには**

- [戻る] を 3 秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (→97)

ダビング方向

- 1 「ダビング元」を選び、**決定** を押す
- 2 ダビング元を選び、**決定** を押す
- 3 「ダビング先」を選び、**決定** を押す
- 4 ダビング先を選び、**決定** を押す

🔔お知らせ

- **HDD** **USB-HDD** ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。(複製後は「まとめ」番組になります)
 - ・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は1回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は1回になります)
 - ・**1**表示のある番組の複製はできません。
- ディスクから **HDD** へのダビング開始時のコピー禁止信号を確認中は、予約録画は実行できません。
- ディスクから **HDD** への画質変更ダビング中は、予約録画は実行できません。

録画モード

- 1 「録画モード」を選び、**決定** を押す
- 2 録画するモードを選び、**決定** を押す

元の画質	高速
	3倍録
	5倍録
	15倍録
	オート(自動調整)
DVD画質	XP
	SP
	LP
	FR(自動調整)

記録先の空き容量に合わせて、1.5~15倍録モードの中から自動で選択してダビングします。

- ハイビジョン画質を選択時に[サブメニュー]を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(→65)

🔔お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (→172)
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- アニメなど録画番組の内容によっては、オート(自動調整)を選択しても、空き容量が大幅に残ることがあります。

リスト作成（番組を選択する）

- ① 「新規登録」を選び、**決定** を押す
- ② 番組を選び、**青** を押す
 - が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
 - ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには
番組を選び、**[青]** を押す
- ③ 選び終わったあと、**決定** を押す

お知らせ

- **[USB-HDD]** にダビングする場合や高速モードで **[BD-RE]** **[BD-R]** にダビングする場合、**[HD]** 表示のある番組のみ登録できます。（録画用フォーマットの USB-HDD には、「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません）
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

[-R] **[-RW]** へダビングするときのみ

- ① 「ファイナライズ」を選び、**決定** を押す
- ② 「入」または「切」を選び、**決定** を押す

[BD-RE] **[BD-R]** **[RAM AVCREC]** **[-R AVCREC]** へ 1.5 ～ 15 倍録 モードを選んでダビングするときのみ
複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

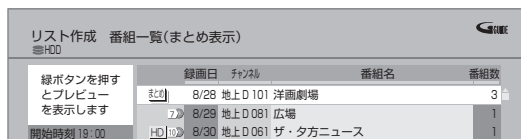
- ① 「音声・字幕の記録」を選び、**決定** を押す
- ② 「モード 1」または「モード 2」を選び、**決定** を押す
 - モード 1：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
 - モード 2：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(→82) で記録する内容を設定してください。

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(→130)を行います。記録や編集をすることはできません。また、ダビング中は録画や再生はできません。

ダビングの便利な機能

リスト作成画面(→左記「リスト作成」手順①のあと)で

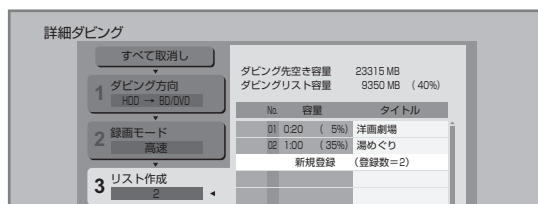


- ① 番組を選び、**サブメニュー** **S** を押す
- ② 項目を選び、**決定** を押す (→下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」(→141) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え	表示順を変更します。 (全番組表示時のみ)
まとめ表示へ 全番組表示へ	表示を切り換えます。

番組に が付いているとき機能の実行はできません。

リスト作成画面 (→左記「リスト作成」) で



- 登録されたリストや設定を取り消す：
「すべて取消し」を選び、**[決定]** を押す
- リスト項目を入れ替える：
番組を選び、**[決定]** を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの全消去や追加、消去、移動をする：
[サブメニュー] を押したあと、項目を選ぶ

ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：

DVD-V (ファイナライズ後の **-R V** **-RW V**、
+R、+R DL、+RW) → **HDD**

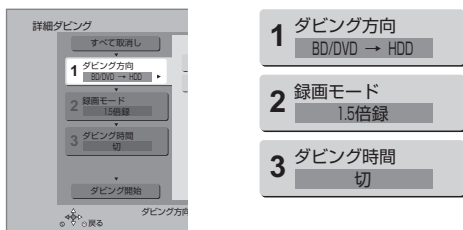
1 **機能一覧** を押す

2 「残す」を選び、**決定** を押す

3 「詳細ダビング」を選び、**決定** を押す

4 項目を選び、**[▶]** を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」(→94)をご覧ください。



以下のように設定してください。

- ・「ダビング方向」：「ダビング元」→「BD/DVD」
- ・「録画モード」：「録画モード」を選ぶ
(1.5 ~ 15 倍録のみ選べます)
- ・「ダビング時間」：ダビング時間を設定する
(→右記)

5 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」 を選び、**決定** を押す

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。



7 ダビングしたい番組の再生を始める

☞ トップメニューが表示された場合は番組を選び、**[決定]** を押す

☞ 好みの番組を再生するには

- ① **[録画一覧]** を押す
- ② 番組を選び、**[決定]** を押す

☞ ディスクの再生が始まらない場合は

- ① **[▶ 再生]** を押す
- ② (トップメニューが表示されたら) 番組を選び、**[決定]** を押す

☞ ダビングを実行中に中止 / 終了するには

[戻る] を 3 秒以上、もしくは **[■ 停止]** を押す

📌 お知らせ

- 市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ (→80) で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(→140) の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

ダビング時間

① 「時間設定」を選び、**決定** を押す

② 「入」または「切」を選び、**決定** を押す

- 「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

③ 「録画時間」を選び、**決定** を押す

④ 「時間」または「分」を選び **[▲]****[▼]** で設定し、**決定** を押す

複数の音声や字幕情報の番組を DVD 画質でディスクにダビングする

HDD に録画した番組を再生中にダビングすることができます。(1 番組のみダビング)

- 記録する音声や字幕情報を設定できます。
- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：**HDD** ⇒ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(→128)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：

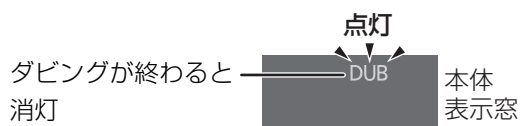
- RAM VR** **-R VR** **-RW VR** **【音声】**または**【字幕】**を押して、表示された再生設定画面(→82)で、記録したい音声や字幕を設定する

2 を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 **[サブメニュー]** を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、 を押す

4 「保存開始」を選び、 を押す



 **ダビングを実行中に中止するには**

[戻る] を 3 秒以上押す

- 中止時の動作 (→右記)

お知らせ

- RAM VR** **-R VR** **-RW VR** 複数の音声を含んだ番組を 2 番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。

①ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする

- ・**【音声】** または **【字幕】** を押して、表示された再生設定画面(→82)で、記録したい音声や字幕を設定する

②かんたんダビング(→92)、もしくは詳細ダビング(→94)を実行する

字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。
1 番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例) デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合



番組 A・B のみダビングされます。

番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。ただし、コピー制限のない番組を画質変更ダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

BD-R **-R** 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R V **-RW V** に画質変更ダビングするときの動作

HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。HDD の不要な番組を消去 (→85) してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数 (→174) を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ダビング先の **BD-RE** **BD-R** の残量が少ない
- BD-RE** **BD-R** 以外のディスクへのダビング

番組をダビングする (続き)

3D 対応の番組のダビングについて

- **[3D]** 表示のある番組を **[RAM VR]** **[-R VR]** **[-RW VR]** に XP、SP、LP、FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D 映像として記録されません。
 - ・ダビング先の **[BD-RE]** **[BD-R]** の残量が少ない
 - ・**[BD-RE]** **[BD-R]** 以外のディスクへのダビング

複数の音声 (マルチ音声) や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下ようになります。

- **[BD-RE]** **[BD-R]** **[RAM AVCREC]** **[-R AVCREC]**
(高速、1.5 ~ 15 倍録モードでダビング時)
複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
- **[RAM VR]** **[-R VR]** **[-RW VR]** (HDD からダビング時)
複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
再生中番組の保存(→97)でダビングしてください。

📌お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
[BD-RE] **[BD-R]** **[RAM AVCREC]** **[-R AVCREC]** 詳細ダビングの詳細設定(→95)で、「音声・字幕の記録」を「モード 2」にしてディスクに画質変更ダビングすると、「信号切換」(→82)で設定した内容で記録することができます。(ただし、音声の切り換えや字幕表示の入/切はできなくなります)

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下のようになります。

- **[BD-RE]** **[BD-R]** **[RAM AVCREC]** **[-R AVCREC]**
[USB-HDD] **[RAM VR]** **[-R VR]** **[-RW VR]**
両方の音声を記録
- **[-R V]** **[-RW V]** 以下の設定に従って記録:
「DVD-Video 記録の設定」の「二重音声記録時の音声選択」(→140)を記録したい音声にする

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

- 「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」(→140)に従って記録します。**[-R V]** **[-RW V]** へ記録するときには有効です。
- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録アスペクト

- 「ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」(→140)に従って記録します。480i の映像を 1.5 ~ 15 倍録モードで記録するときには有効です。
- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
 - ・外部入力から録画
 - ・ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) から HDD にダビング
 - ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

テレビ (Wooo) など他機器からダビングする

お引越しダビング

ブルーレイディスクレコーダー

お引越しダビングに対応したレコーダーなどとネットワーク接続すると、番組や写真をダビングすることができます。他のレコーダーなどから本機にまとめて移動するとき便利です。

- ネットワーク接続と設定をする(→22, 23, 26)
AV ネットワークの設定を変更する場合 (→149)

ダビング元



ダビング先



ダビング先で操作する

番組ダビングの設定をする

- 1 **機能一覧** を押す
- 2 「**全機能から選ぶ**」を選び、**決定** を押す
●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「**ネットワーク機能を使う**」を選び、**決定** を押す
- 4 「**お引越しダビング**」を選び、**決定** を押す
- 5 「**番組をダビングする**」を選び、**決定** を押す
- 6 **接続する機器**を選び、**決定** を押す
- 7 **ダビング元**を選択する画面が表示された場合：
ダビング元を選び、**決定** を押す

8 番組を選び、**決定** を押す

- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで[青]を押す操作を繰り返してください。(選んだ番組には☑が表示されます。もう一度[青]を押すと選択を取り消します。)
- 接続機器によっては、番組が表示されない場合があります。その場合は、フォルダから番組を探して、表示してください。

例)

番組お引越しダビング 番組一覧(全番組表示)		ページ 013/013	
ダビングしたい番組を選択し、決定ボタンを押してください。			
<input checked="" type="checkbox"/>	現代ビジネス	8/28 (金)	地:1D 101 開始時間 22:00 録画時間 1:00
<input type="checkbox"/>	エレキギター入門	8/28 (土)	地:1D 101 開始時間 9:07 録画時間 0:28
<input type="checkbox"/>	夕方ニュース	8/30 (日)	地:1D 101 開始時間 17:03 録画時間 1:00

- ☞ **まとめ** 番組を選んだ場合は
まとめ番組内や他の番組も選択したい場合は、表示された項目を選んで操作してください。
- ☞ **すべての番組をダビングしたい場合は**
「一括ダビング」(→下記)してください。

9 「設定する」を選び、**決定** を押す

- 接続機器によっては「ダビング元機器の番組」を「残す」または「残さない」に設定する画面が表示されます。(→100「ダビングを実行する」へ)

■番組ダビング時の便利な機能

番組お引越しダビング画面(上記手順8)で

- 1 番組を選び、**サブメニュー** を押す
- 2 項目を選び、**決定** を押す (→下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
一括ダビング*	すべての番組をダビングします。 (「はい」を選んで[決定]を押したあと→上記手順9へ)
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

※番組に☑が付いているとき機能の実行はできません。

テレビ (Wooo) など他機器からダビングする (続き)

📌お知らせ

- 1 回に複数選択できる番組は 99 個までです。
- **まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、**【サブメニュー】** を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- 以下の番組はダビングできません。
 - ・プロテクト設定 (→85) されている **1D** の表示がある番組
 - ・ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」の編集や、番組の複製をした番組
 - ・XP、SP、LP、FR モードの番組
- **1D** の表示がある番組は以下のようになります。
 - ・99 ページ手順 9 の「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
- **10D** ~ **12D** の表示がある番組は以下のようになります。
 - ・ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
- 一括ダビングの場合、ダビング元の番組のデータ容量によっては、ダビング完了までに時間がかかる場合があります。
- 接続機器によっては、「まとめ表示へ」「全番組表示へ」の切り換えはできません。また、ダビングの残り回数 (**10D** ~ **12D**) は表示されません。

写真ダビングの設定をする

HDD 内のすべての写真をダビングします。
写真を選んでダビングすることはできません。

99 ページ手順 4 のあと

5 「写真をダビングする」を選び、**決定** を押す

6 接続する機器を選び、**決定** を押す

7 「ダビングする」を選び、**決定** を押す

(→ 下記「ダビングを実行する」へ)

📌お知らせ

- 1 回にダビングできる写真は 20000 枚までです。
- ダビング元の写真は削除しません。
- ダビング完了までは、写真の取り込みはできません。

ダビングを実行する

本機と接続機器の電源を切る

- 写真をダビングする場合は、接続機器の電源を切る必要はありません。

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

- ダビング中に電源を入れると、ダビングを中断し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。



「クイックスタートモード」(→138) が「省エネ (時計表示無し)」の場合、点灯しません。

🔍ダビングの状況を確認するには

- ① **【機能一覧】** を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、**【決定】** を押す
- ③ 「ネットワーク機能を使う」を選び、**【決定】** を押す
- ④ 「お引越しダビング」を選び、**【決定】** を押す
- ⑤ 「番組をダビングする」または「写真をダビングする」を選び、**【決定】** を押す

🔍ダビングを中止するには

上記手順 ⑤ のあとに、**【黄】** を押す

ネットワークを使ってダビングする

HDD

テレビ(Wooo)

HDD内蔵CATVデジタル
セットトップボックス



スカパー!プレミアムサービス
対応チューナー

HDD 内蔵の当社製 AV ネットワークダビング対応のテレビやスカパー!HD 対応チューナーとネットワーク接続すると、テレビなどの HDD に録画した番組を本機の HDD にダビングすることができます。

- ネットワーク接続と設定をする
(→22、23、26)
AV ネットワーク機能の設定を変更する場合(→149)

ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください

外部入力を使ってダビングする

HDD

ブルーレイディスクレコーダー



ビデオデッキ



テレビ(Wooo) など



- ビデオと接続する(→25)
「接続した機器を再生して取り込む」(→106)

お知らせ

- コピー制限のある番組はダビングできません。

ビデオカメラから取り込む

撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を取り込む

USB

SDカード

ディスク

AVCHD対応
ビデオカメラ

AVCHD、MP4、
MP4(4K動画)

AVCHD対応ビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 「1080/60p」*や「AVCHD 3D」の表示がある番組は **HDD** **BD-RE** **BD-R** にのみ取り込むことができます。
※ 1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録の番組
- MP4 の番組は **HDD** にのみ取り込むことができます。(変換取込の場合、高速で取り込みはできません)
- HDD** に取り込む場合、動画の種類や初期設定によって、取り込んだ動画の再生方法が異なります。
(→79)

取り込む動画

AVCHD
AVCHD 3D
1080/60p



再生方法

AVCHD または
変換取り込みした
MP4(4K 以外)を
再生する*1
(→79)

MP4
(4K 以外)

変換取込

ファイル取込

ファイル
取り込みした
MP4 を
再生する*2*3

MP4(4K)

ファイル取込

(→79)

※ 1 取り込んだ動画は、録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD : 「AVCHD」
(サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む)
- AVCHD 3D : 「AVCHD 3D」
- 1080/60p の番組 : 「AVCHD PRO」
- MP4 (4K 以外) : 「AVC VIDEO」

※ 2 本機に「ファイル取込」した MP4 は、ネットワーク接続したファイル共有機能対応機器でも見ることができます。
(→123)

※ 3 「ファイル取込」した MP4 でも本機では再生できない場合があります。

MP4 の変換取込とファイル取込について

MP4(4K 以外)は、「MP4 の取り込み設定」(→140)によって取り込み後の再生方法が異なります。

[ただし、MP4 (4K) は設定にかかわらず、「ファイル取込」されます]

- 「変換取込」すると、本機の録画一覧で再生できます。取り込むときの画質は、「MP4取り込み画質」(→140)で選ぶことができます。
- 「ファイル取込」すると「動画ファイル(MP4)を再生する」で再生できます。(録画一覧には表示されません)
- ビデオ方式のDVDなどに書き出したい場合は「変換取込」に変更してください。

お知らせ

- DVDに取り込んだAVCHD動画を他のAVCREC非対応機器で再生したい場合
・一度HDDに取り込んだあと、DVD画質(XP、SP、LP、FRモード)でディスクにダビングしてください。
- ファイル取り込みしたMP4を他の機器で再生するには
①「保存した動画ファイル(MP4)や写真を録画一覧や写真一覧に取り込む」(→127)で録画一覧に取り込む
②ディスクにダビングする

かんたん差分取り込み

USB

SDカード

取り込んだ撮影ビデオの履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された撮影ビデオのみを取り込みます。

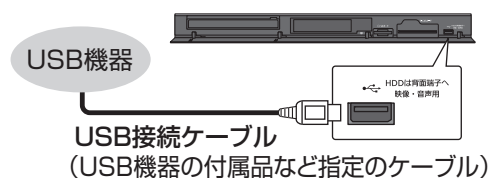
取り込み方向：

USB SD → HDD

■ USB 機器から取り込む場合

USB 機器の説明書をよくご覧になったうえで操作してください。

1 USB 機器を接続する (→32)



2 USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

●USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [機能一覧] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「USB 機器」を選び、[決定] を押す

3 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

●「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選ぶと、写真も同時に取り込みます。

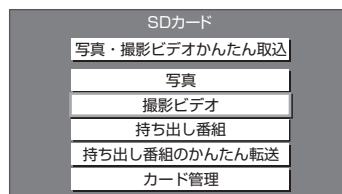
4 「かんたん差分取り込み」を選び、決定 を押す

5 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

■ SD カードから取り込む場合

1 SD カードを入れる

●以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [機能一覧] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「SD カード」を選び、[決定] を押す

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

●「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選ぶと、写真も同時に取り込みます。

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

4 「かんたん差分取り込み」を選び、決定 を押す

5 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

📄お知らせ

- 取り込んだ撮影ビデオの履歴は、SD カードは 5 枚、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除されます。
- 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDDのフォーマット」(→141) を行うと、削除されます。
- 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」(→104) を行ってください。
- [MP4] 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 以下の操作を行った場合、取り込み済みの動画を再度取り込んでしまうことがあります。
 - ・ビデオカメラなどで編集
 - ・取り込みを中断

ビデオカメラから取り込む (続き)

選んで取り込み

USB

SDカード

ディスク

取り込み方向：

● **USB** **SD** →

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC**

●MP4 を記録した **BD-RE** **BD-R** → **HDD**

●AVCHD を記録したディスク → **HDD**

●本機は、当社製 AVCHD 対応ビデオカメラ DZ-BD10H の HDD からの取り込みには対応(HS モードは取り込みできません)していますが、DZ-BD9H/DZ-BD7H/DZ-HD90 の HDD からの取り込みはできません。

■USB 機器から取り込む場合

USB 機器の説明書をよくご覧になったうえで操作してください。

1 USB 機器を接続する (→32)

2 USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

●USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。

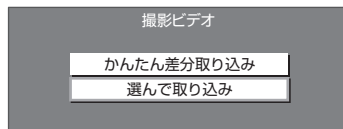


下記操作で表示することもできます。

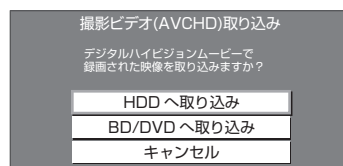
- ① **機能一覧** を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す
- ③ 「USB 機器」を選び、**決定** を押す

3 「撮影ビデオ」を選び、**決定** を押す

4 「選んで取り込み」を選び、**決定** を押す



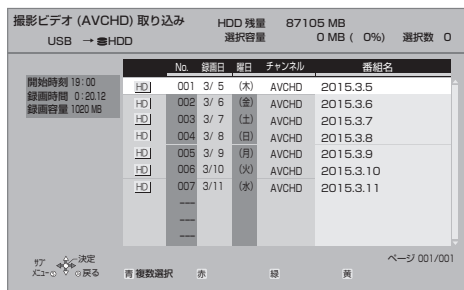
- 複数種類の撮影ビデオが USB 機器に存在している場合、メッセージが表示されます。取り込みたい撮影ビデオを選び、**決定** を押してください。
- 「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、**決定** を押してください。




5 動画 (タイトル) を選び、**青** を押す

- が表示されます。操作を繰り返します。

例)



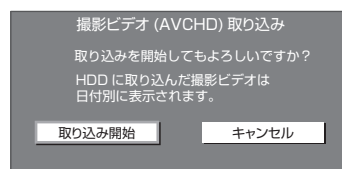
 選択を取り消すには

動画 (タイトル) を選び、**青** を押す

6 選び終わったあと、**決定** を押す

7 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

例)

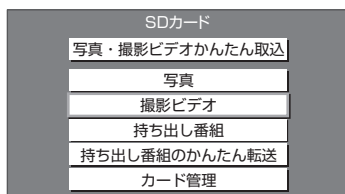


- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

■ SD カードから取り込む場合

1 SD カードを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [機能一覧] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「SD カード」を選び、[決定] を押す

2 「撮影ビデオ」を選び、**決定** を押す

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、**決定** を押す

4 「選んで取り込み」を選び、**決定** を押す

- 複数種類の撮影ビデオがSDカードに存在している場合、メッセージが表示されます。取り込みたい撮影ビデオを選び、[決定] を押しください。
- 「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、[決定] を押しください。

5 動画 (タイトル) を選び、**青** を押す

- が表示されます。操作を繰り返します。
- 選択を取り消すには**
動画 (タイトル) を選び、[青] を押す

6 選び終わったあと、**決定** を押す

7 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

■ ディスクから取り込む場合

1 ディスクを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [機能一覧] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、[決定] を押す

2 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」または「動画ファイル (MP4) を取り込む」を選び、**決定** を押す

3 動画 (タイトル) を選び、**青** を押す

- が表示されます。操作を繰り返します。
 - BD-RE、BD-R に記録された MP4 の場合、[▶再生] を押すと、プレビュー再生ができます。
- 選択を取り消すには**
動画 (タイトル) を選び、[青] を押す

4 選び終わったあと、**決定** を押す

5 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 1つの動画 (タイトル) に99シーンを超えて記録されている場合、99シーンごとに分けて取り込みます。
- AVCHD 対応ビデオカメラで撮影した場合、日付単位で動画 (タイトル) として表示されます (ただし99シーンを超えるときは分割します)。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。
- ディスクから[HDD]へのダビング開始時のコピー禁止信号を確認中は、予約録画は実行できません。

ビデオカメラから取り込む (続き)


接続した機器を再生して取り込む


外部入力

HDD

AVCHD対応 ビデオカメラ	AVCHD、MP4
SDビデオカメラ	MPEG2
DV機器	DVテープなど
その他の機器	VHSテープなど

1  を押して、外部機器を接続した端子 (L1) を選ぶ

2  を押して、録画モード (→ 70) を選ぶ
1.5 ~ 15 倍録モードのみ選べます。

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい
場面で、 を押す


4 録画の終了方法を選び、 を押す

🔗 録画を一時停止するには

[ 一時停止] を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

🔗 録画を止めるには

[ 停止] を押す

お知らせ

- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(→140) の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

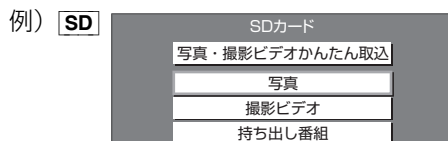
写真を再生する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**

+R、+R DL、+RW

- **CD** **USB** 写真を記録したCD-R、CD-RWやデジタルカメラなどのUSB 機器が再生できます。
- 本機では、フルHD対応の3Dテレビと接続している場合、3D写真(MPO)の3D再生ができます。
- 本機では、4K対応のテレビに接続している場合、再生する写真の画質にかかわらず4K画質で写真を再生します。
 - ・「出力解像度」(→143)を「オート」に設定してください。
 - ・3D再生では、4Kで出力されません。

ディスク、SDカードを入れる、またはUSB機器を接続(→32)すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)



ディスク、**SD**、**USB** :
下記の手順4に進みます。

1 機能一覧を押す

HDD 手順5へ

2 「メディアを使う」を選び、決定を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 ディスク： 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、

決定を押す

SD :

「SDカード」を選び、**決定**を押す

USB :

「USB機器」を選び、**決定**を押す

4 「写真」を選び、決定を押す

5 「写真を見る」を選び、決定を押す

- **HDD** 「ファイル共有サーバー機能」(→145)が「入」の場合、下記の画面が表示されます。項目を選び、[決定]を押してください。



6 フォルダを選び、決定を押す

例) **HDD**

ラベル

- **3D** ラベル:
3D写真(MPO)を3D再生します。



フォルダ

- HDDに取り込まれた写真(→109)は、フォルダで管理されます。
- [サブメニュー]を押すと、フォルダや写真を整理することができます。(→108)

7 写真を選び、決定を押す

再生を止めるには

[■ 停止]を押す

前後の写真を見るには

[◀][▶]を押す


写真の情報を表示するには

[画面表示]を押す

スライドショーを見るには

[▶ 再生]を押す

お知らせ

- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される場合があります。
-  の表示になっている写真は、本機では再生できません。

写真を再生する (続き)

写真再生のいろいろな機能

写真再生中または写真一覧表示中に操作します。

1 ^{サブメニュー} S を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

2 項目を選び、^{決定} を押す

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90°回転 左90°回転	写真を回転します。
画面表示の 飛び出し量	3D 写真再生中の画面表示などの飛び出し量を変更することができます。

写真一覧表示中

スライドショー	写真を連続して再生することができます。「表示間隔」「表示効果」「リピート再生」「BGM」などの設定ができます。
カレンダー HDD	カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からフォルダを探すことができます。

写真を整理する

HDD BD-RE BD-R RAM SD

(ファイナライズしたディスクでは編集できません)
107 ページ手順 1 ~ 5 のあと

6 フォルダ単位で管理する場合： フォルダを選び、^{サブメニュー} S を押す (→手順 8 へ)

写真単位で管理する場合：

フォルダを選び、^{決定} を押す

- 「フォルダをまとめる」ときは、[青] を押してフォルダを選択したあと、[サブメニュー] を押してください。

7 写真を選び、^{サブメニュー} S を押す

8 項目を選び、^{決定} を押す (→下記へ)

フォルダ名の編集	文字入力については (→131)
フォルダをまとめる HDD	選択したフォルダを、1 つのフォルダにまとめることができます。
フォルダの消去	フォルダを消去します。
写真の移動 HDD	選択中の写真を別のフォルダへ移動させます。 「新しいフォルダへ移動」または「別のフォルダへ移動」を選び、[決定] を押す •「別のフォルダへ移動」する場合は、移動先のフォルダを選んでください。
写真の消去	写真を消去します。
プロテクトの設定/解除 BD-RE BD-R RAM SD	•プロテクトの設定をすると「」が表示されます。

写真を取り込む / 書き出す

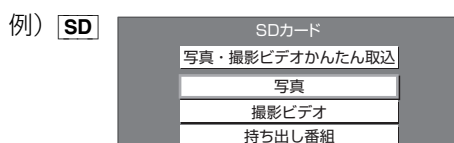
写真を取り込む

写真かんたん取込

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**
+R、+R DL、+RW → **HDD**

取り込んだ写真の履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

ディスクや SD カードを入れる、または USB 機器を接続 (→32) すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)



下記の手順 4 に進みます。

1 **機能一覧** を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合： 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、**決定** を押す

- SD** から取り込む場合：
「SD カード」を選び、**決定** を押す
- USB** から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、**決定** を押す

4 「写真」を選び、**決定** を押す

- SD** **USB** 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選ぶと、撮影ビデオも同時に取り込みます。

5 「写真を取り込む」を選び、**決定** を押す

6 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」(→141) や「写真一覧の全写真消去」(→141) を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取り込みたい場合、消去済み写真をもう一度取り込みたい場合、写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」(→下記) を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日または写真データの生成日ごとに、フォルダで管理されます。
- フォルダ名は取り込まれません。
- HDD に取り込んだ写真の累計が 20000 枚に達している場合、過去に取り込んだ写真が取り込まれることがあります。
- 録画中は写真の取り込みはできません。

写真一覧から取り込む

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**
+R、+R DL、+RW → **HDD**

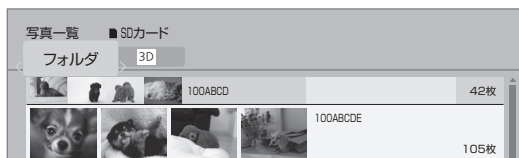
107 ページ手順 1 ~ 4 のあと

5 「写真を見る」を選び、**決定** を押す

6 フォルダまたは写真を選び、**青** を押す

- 選んだフォルダ、写真には が表示されます。操作を繰り返します。

例) **SD**



7 選び終わったあと、**赤** を押す

8 「HDDへ取り込む」を選び、**決定** を押す

9 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 取り込み元と同じ名前のフォルダを新しく作成して取り込みます。



写真・音楽

写真を取り込む / 書き出す (続き)

写真を書き出す

HDD → **BD-RE** **BD-R** **RAM** **SD**

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** +R, +R DL, +RW → **SD**

SD **USB** → **BD-RE** **BD-R** **RAM**

107 ページ手順 1 ~ 4 のあと

お知らせ

- BD-Rの写真再生のみに対応しているブルーレイディスクレコーダーで再生するためには、ディスクに写真のみを記録した状態でファイナライズしてください。(→130)

5 「写真を見る」を選び、**決定**を押す

- HDD**「ファイル共有サーバー機能」(→145)が「入」の場合：
「SDカード/USB機器から取り込んだ写真」を選び、**[決定]**を押してください。

6 フォルダまたは写真を選び、**青**を押す

- 選んだフォルダ、写真には が表示されます。
操作を繰り返します。

例) **HDD**



7 選び終わったあと、**赤**を押す

8 ディスクに書き出す場合： 「ブルーレイ (BD) /DVDへ書き出す」を選び、**決定**を押す

- SD**に書き出す場合：
「SDカードへ書き出す」を選び、**決定**を押す

9 「書き出し開始」を選び、**決定**を押す

音楽 CD を再生する

CD

音楽 CD を再生する

1 音楽 CD を入れる

2 再生したい曲を選び、**決定** を押す

表示マークについて (→113)



- 別の曲を再生するには
再生したい曲を選び、**[決定]** を押す
- 音楽を停止するには
[■ 停止] を押す
- シャッフルの設定をするには
[赤] を押す
- リピートの設定をするには
[緑] を押す

音楽再生のいろいろな操作

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



- 以下の「再生設定」を行うことができます。
音楽一覧表示中に、**[サブメニュー]** を押して、**[再生設定]** を選び、**[決定]** を押す
 - ・「基本設定」(→82) の「リピート」「シャッフル」
 - ・「音声詳細設定」(→84) の「音質効果」「自動音量調整」



写真・音楽

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す

音楽ファイルを再生する

HDD

1 **機能一覧** を押す

2 「音楽を聴く」を選び、**決定** を押す

3 曲を**音楽一覧**から選び、**決定** を押す

- **[▶]** を押すと「次の曲」の内容を表示することができます。

「次の曲」には「音楽一覧」から選んだ曲や再生した曲が登録されます。またこれから再生される曲の順番を確認することができます。

表示マークについて (→113)



別の曲を再生するには
再生したい曲を選び、**[決定]** を押す

音楽を停止するには
[■ 停止] を押す

シャッフルの設定をするには
[赤] を押す

リピートの設定をするには
[緑] を押す

曲もしくはアルバムを「次の曲」のリストに追加するには
[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

お知らせ

- ファイルによってはアルバム、アーティスト、ジャンルなどの情報が登録できない場合があります。その場合は、フォルダから該当の曲を選んで再生してください。

いろいろな操作や設定

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



- 以下の項目の設定を行うことができます。

- 曲やフォルダ、プレイリストなどを選び、



- 項目を選び、設定する

次に再生	選択した曲を「次の曲」で、現在再生している曲の次に再生するよう設定します。
あとで再生	選択した曲を「次の曲」のリストに追加します。
“次の曲” から除外	選択した曲を「次の曲」から除外します。
プレイリストに追加	選択した曲やアルバムをプレイリストに追加します。
プレイリストの名前を変更	プレイリストの名前を編集します。
曲の情報編集	曲の情報を編集します。
消去	選択したアルバム、曲、フォルダ、プレイリストを削除します。
情報を更新	アルバム、アーティスト、ジャンルなどの情報を更新します。
状態を更新	アルバム、曲、フォルダを消去した場合に、プレイリストの情報を更新します。
メディアへ書き出す	曲を HDD からディスクに書き出します。
再生設定	再生設定を表示します。(→82)

表示マークについて

	(グレー)	シャッフル [切]
	(白)	シャッフル [入]
	(グレー)	リピート [切]
	(白)	リピート [1 曲]
	(白)	リピート [全曲]

お知らせ

- 再生可能なファイル形式 (→171)
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に 1 時間以上操作を行わない場合は、自動的に本機の電源が切れます。



音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す (続き)

音楽ファイルを取り込む / 書き出す

- **BD-RE** **BD-R** → **HDD**
- **HDD** → **BD-RE** **BD-R**

音楽ファイルを本機 HDD からディスクなどに書き出したり、HDD に取り込んだりすることができます。

- ディスクなどに書き出す場合はバックアップ用としてお使いください。
- HDD に取り込んだ音楽ファイルはファイル共有領域に保存されます。

音楽ファイルを取り込む

- 1 **機能一覧** を押す
- 2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す
- 3 **BD-RE** **BD-R** :
「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、**決定** を押す
- 4 「音楽を聴く」を選び、**決定** を押す
- 5 フォルダから曲を選び、**サブメニュー** **S** を押す
- 6 「HDD に取り込む」を選び、**決定** を押す
- 7 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

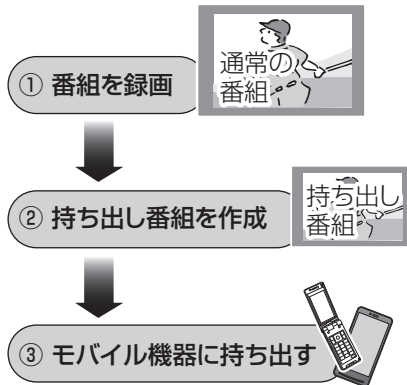
音楽ファイルを書き出す

- 1 **機能一覧** を押す
- 2 「音楽を聴く」を選び、**決定** を押す
- 3 「フォルダ」を選び、**決定** を押す
- 4 曲を選び、**サブメニュー** **S** を押す
- 5 「メディアへ書き出す」を選び、**決定** を押す
- 6 「ブルーレイ (BD) へ書き出す」を選び、**決定** を押す
- 7 「書き出し開始」を選び、**決定** を押す



録画した番組をモバイル機器に持ち出す

モバイル機器（携帯電話など）に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。



持ち出し方法と画質について

持ち出し方法や再生できる画質は持ち出す機器によって異なります。詳しくは機器の説明書をご覧ください。

	画質
持ち出し方法	高画質 (VGA)
SD/USB 経由	<input type="radio"/> ※1
ネットワーク経由	<input type="radio"/> ※2

※1 「持ち出し番組の VGA 画質」(→140) で記録する画質 (1.5 Mbps/1.0 Mbps) を変更できます。

※2 「高画質 (VGA)」(1.5 Mbps) のみ

お知らせ

●持ち出し番組について

- ・通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。
- ・本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

●多重音声の記録について

多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。

- ・マルチ音声の番組
 - 「信号切換」の「音声」(→82) で設定した音声 1 つ
- ・二重音声の番組
 - 「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(→140) の設定に従う

持ち出し番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定 HDD

番組の予約録画時に持ち出し番組を作成する場合、以下の画面で持ち出し番組の設定を行ってください。

- 番組予約(→47 手順 5)
- 詳細設定(→48 手順 1)
- 時間指定予約(→55 手順 3)

お知らせ

- 持ち出し番組は、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
- 複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」(→49) で記録したい音声や字幕を選んでください。
- 作成される持ち出し番組のアスペクトは 16:9 になります。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す (続き)


録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成

HDD

作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

①  を押す

② 作成する番組を選び、 を押す

③ 「持ち出し番組の作成」を選び、 を押す

④ 「持ち出し方法」を選び、設定する

⑤ 「かんたん転送の登録」を選び、設定する


⑥ 「開始方法」を選び、設定する

●すぐに：

下記手順 ③ の設定後すぐに、作成を開始します。
作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

●電源 [切] 後：

電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

⑦ 「作成する」を選び、 を押す


⑧ 「すぐに」作成を開始する場合：


「開始」を選び、 を押す

 作成を実行中に中止するには


[戻る] を 3 秒以上押す

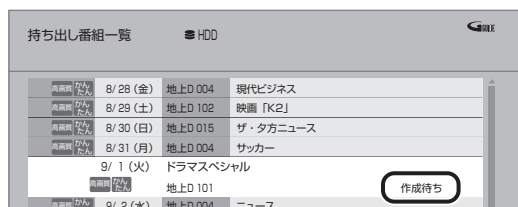
「電源 [切] 後」作成を開始する場合：

 を押す

 作成の設定内容を変更・取り消すするには

手順 ③ のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、[決定] を押す

 作成が終了しているか確認するには



持ち出し番組一覧 (→117) で「作成待ち」が表示されている場合、持ち出し番組の作成は終了していません。

お知らせ

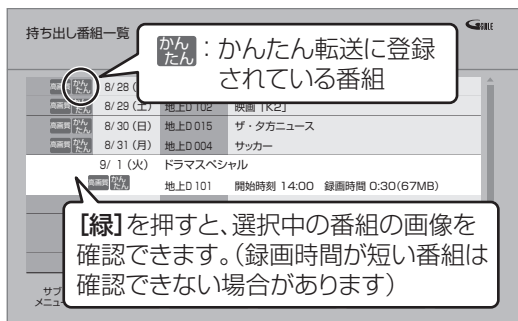
- 視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。
- ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
- HDDの残量が少ない場合や、HDDの番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- 持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
 - ・二重音声 : 「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(→140)
 - ・マルチ音声 : 「信号切換」の「音声」(→82)
 - ・チャプター : 作成元になる番組のチャプター情報
 - ・字幕 : 「信号切換」の「字幕」(→82)
(「電源 [切] 後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます)

ネットワーク経由で持ち出す (転送)

ネットワーク経由で DLNA 対応のモバイル機器に転送する場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワーク接続と設定をする (→23,26)
AV ネットワーク機能の設定を変更する場合(→149)

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。



- が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

- ☞ 選択を取り消すには
番組を選び、[青]を押す

- 5 選び終わったあと、**決定** を押す
- 6 「転送を開始する」を選び、**決定** を押す

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」(→左記)

手順 ③ のあと

- 4 番組を選び、**S** を押す
- 5 項目を選び、**決定** を押す (→下記へ)

SD/USB 経由で持ち出す (転送)

かんたん転送

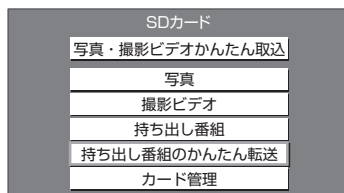
「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。(最大 99 番組まで転送可能)

登録されている番組は、持ち出し番組一覧 (→ 下記) で確認することができます。

- 登録は、番組の予約時(→115)、持ち出し番組の作成時(→116)または作成後(→右記)に行うことができます。

- 1 SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など)を接続する
☞ USB 機器を接続するには (→32)

例) **SD**



- 2 「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、**決定** を押す

持ち出し番組一覧から転送する

- 1 SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など)を接続する
☞ USB 機器を接続するには (→32)
- 2 「持ち出し番組」を選び、**決定** を押す
- 3 「持ち出し番組を転送する」を選び、**決定** を押す
- 4 番組を選び、**青** を押す

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。 (→上記手順 ⑥ へ)
持ち出し番組 消去	持ち出し番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の 設定	「かんたん転送」(→左記)の登録をします。 (かんたん が表示されます)
かんたん転送の 解除	「かんたん転送」(→左記)の登録を解除します。
視聴制限一時 解除	「HDD 番組の視聴制限」(→141)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す (続き)

転送 (ダビング) の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているので、転送 (ダビング) できる回数に限りがあります。

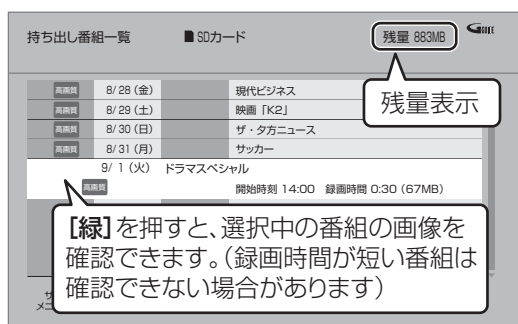
- 通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は1回減ります。
- **ID**表示のある番組をダビング(転送)すると、通常の番組・持ち出し番組はHDDから消去されます。



転送した番組を確認・消去する

- ① SDカードを入れる または USB機器(携帯電話など)を接続する
☞ USB機器を接続するには (→32)
- ② 「持ち出し番組」を選び、**決定**を押す
- ③ 「持ち出し番組を確認する」を選び、**決定**を押す
- ④ 番組を選ぶ

例) **SD**



☞ 番組の内容を確認するには

- ① **[サブメニュー]**を押す
- ② 「内容確認」を選び、**[決定]**を押す

☞ 持ち出し番組を消去するには

- ① **[黄]**を押す
- ② 「消去」を選び、**[決定]**を押す

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下ようになります。
 - ・ 通常の番組の再生はできません。
 - ・ 録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDDに代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置 (→80「**続き再生メモリー機能**」) とチャプターマーク (→89) を通常の番組から引き継ぎます。
 - ・ 作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
 - ・ 位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定 (→85) されている「1回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。
- ネットワーク経由で転送した番組の確認・消去は本機ではできません。

Wooo リンクを使う

Wooo リンク (HDAVI Control™) とは

本機とHDMIケーブル(市販)を使って接続したWoooリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

- すべての操作ができるものではありません。

対応機器

- N1/N2/H2/GP3*/H3/ZP3*/GP35*

※テレビ電源連動のみ

■設定

- ① 「Wooo リンク制御」(→142)を「入」にする
(お買い上げ時の設定は「入」)
- ② 接続した機器側(テレビなど)で、Wooo リンクが働くように設定する
- ③ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

🔍お知らせ

- Wooo リンクは、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。

Wooo リンク対応機器の確認

機器の取扱説明書をご覧ください。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

本機のリモコン : 本機のリモコンで操作できます。

テレビのリモコン : テレビのリモコンで操作できます。

入力自動切り換え / 電源オン連動

- テレビの電源が待機状態のときのみ

本機のリモコン

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。

[▶再生]	[予約確認]	[検索]**
[録画一覧]	[機能一覧]	[新番組]**
[番組表]	 **	

※本機の電源「切」時は働きません。

電源オフ連動

本機のリモコン

テレビのリモコン

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

🔍お知らせ

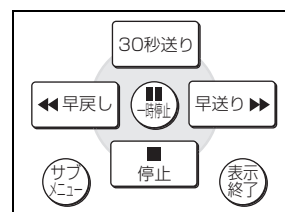
- ダビング、ファイナライズ、消去、
[ワンタッチ予約録画●]を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンで本機を操作

テレビのリモコン

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

- [サブメニュー]を押すと、再生中は右記の画面で操作することができます。



インターネットサービスを利用する

本機では、インターネットを利用してアクトビラなどのサービスを楽しむことができます。

- 以下の場合には利用できません。また、サービス利用中に以下の状態になると、サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
 - ・ ディスクに DR モード以外で録画
 - ・ 外部入力やネットワークを使って録画
 - ・ ダビング中
- ネットワーク接続と設定をする
(→23、26)

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」(→134)を「する」に設定してください。

- インターネットサービスを利用するには、設定した暗証番号の入力が必要になります。

お知らせ

- ホームページへの情報登録について
アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。
- Web ブラウザは利用できません。

acTVila (アクトビラ) を利用する


acTVila とは

- インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビの仕組みです。



アクトビラの最新情報はアクトビラ情報公式サイト (<http://actvila.jp/>) をご覧ください。

1 を押す

2 見たい項目を選び、 を押す


 アクトビラを終了するには
[地上][BS][CS] を押す

ネット操作パネルを表示する

- 1 ホームページ表示中に、 を押す
- 2 項目を選び、 を押す



- Ⓐ 1つ前のページへ
- Ⓑ 1つ先のページへ
- Ⓒ 読み込みを中止
- Ⓓ 表示中のページを再読み込み
- Ⓔ ポータルサイトに戻るとき
- Ⓕ お好みページを使う
お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

 ネット操作パネルの表示を消すには
[サブメニュー] を押す

AV ネットワーク機能を使う

AV ネットワーク機能

DLNA 対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツや再生できる操作などは異なります。
- サーバーとクライアントについては、接続した機器の説明書も確認してください。
(どちらか一方のみに対応している場合や接続できる台数に制限があることがあります。)

対応機器

- AV ネットワーク対応当社製テレビ：
XP05/HP05/UT800/H05/XP035/XP03/HP03/WP03/500CS/ZP05/HP07/H07/XP08/GP08/S08/V09/K09/GP1/K1/G2/Z2/H2/GP3/H3/ZP3/GP35
- AV ネットワーク対応当社製ブルーレイディスクレコーダー：
DVL-BR9/DVL-BR10/DVL-BRT11/DVL-BRT12

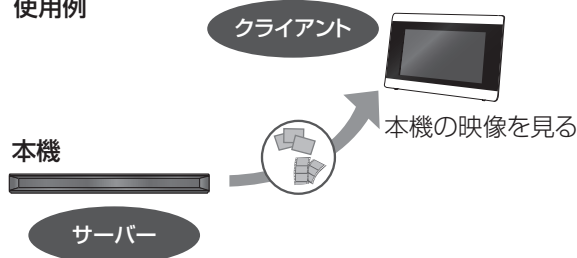
別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)

- ネットワーク接続と設定をする
(→22、23、26)
- AV ネットワーク機能の設定を変更する場合(→149)

HDD | USB-HDD

DLNA 対応機器から、本機の HDD や USB-HDD に録画した番組や写真の再生などができます。

使用例



テレビなどのクライアント機器側で操作する

- 画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- 2 台以上の機器で同時に操作することはできません。

「ビデオ」を見る、「写真」を見る時

- 編集はできません。
- ファイル取り込みした MP4 は再生できません。(→102)

映像が途切れたり、停止する場合

- 無線LAN使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本機や無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。
- 本機で BD-Live などを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。



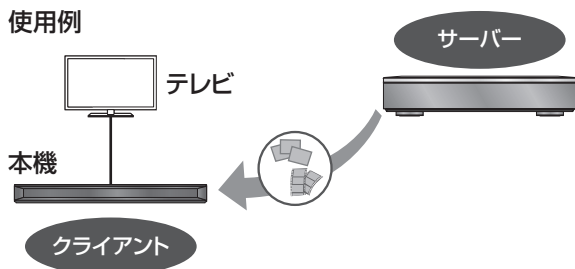
便利機能

AV ネットワーク機能を使う (続き)

別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)

本機から AV ネットワーク対応の当社製テレビやブルーレイディスクレコーダーなどの HDD にある番組などを再生することができます。

使用例



- ネットワーク接続と設定をする (→22、23、26)
- 接続した機器側で、本機を登録する(当社製機器の場合は「AV ネットワーク機能」または「Wooo リンク(LAN)」で登録する)
(本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順 1～3 の操作を行ってください)

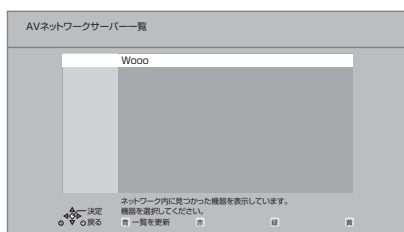
1 **機能一覧** を押す

2 「AV ネットワーク」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 接続する機器を選び、**決定** を押す

例)



- 選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、AV ネットワーク機能で接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。(→73)

よくあるご質問

AV ネットワーク機能がつながらない

- AV ネットワーク機能を使うためにはネットワーク接続が必要です。かんたんネットワーク設定を行い、画面の案内に従って操作してください。(→26)

パソコンや他社機器とAVネットワーク機能はできますか

- DLNA に対応した他社のテレビやレコーダーは番組の再生が可能です。パソコンはデジタル放送番組を再生するための専用ソフトが必要です。ただし、接続する機器やコンテンツによって再生できない場合があります。

録画中でも AV ネットワーク機能はできますか

- 同時動作の制限により AV ネットワーク機能ができない場合があります。(→155)

AV ネットワーク再生画面が途中で止まったり、動いたりする

- 無線 LAN をお使いの場合は、電波状態によっては安定した再生ができない場合があります。LAN ケーブル(有線)での接続をお勧めします。(→23)

ファイル共有機能を使う

HDD

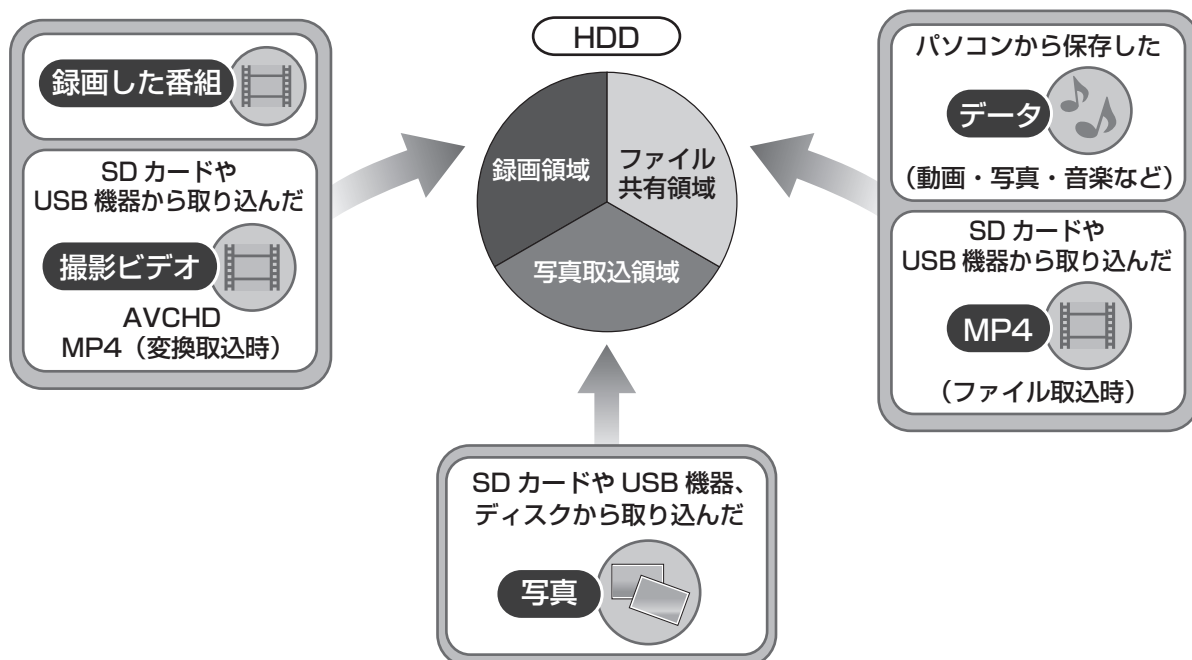
本機と宅内ネットワーク接続したパソコンの中にある写真や動画などのデータを本機のHDDに保存して、ネットワーク接続したファイル共有機能対応機器で共有することができます。

ファイル共有機能を利用するには

- ネットワーク接続と設定をする(→22、23、26)
- 「ファイル共有サーバー機能」(→145)を「入」にする

HDDの領域について

本機のHDDには3つの領域があり、保存する領域ごとに動画や写真の再生方法などが異なります。



ファイル共有機能を使う (続き)

各領域の特徴について

	録画領域	写真取込領域	ファイル共有領域
記録できるコンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ●録画番組 ●撮影ビデオ 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 	<ul style="list-style-type: none"> ●データ(動画・写真・音楽など)
記録方法	<ul style="list-style-type: none"> ●録画 ●ダビング ●動画の取り込み(→127)(MP4は変換取込時) 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真の取り込み(→127) 	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコンから保存 ●動画の取り込み(→127)(ファイル取込時) ●音楽ファイルの取り込み(→114)
本機での再生方法	<ul style="list-style-type: none"> ●「録画一覧」(→79) 	<ul style="list-style-type: none"> ●「写真を見る」(→107) 	<ul style="list-style-type: none"> ●「動画ファイル(MP4)を再生する」(→79、126) ●「写真を見る」(→126) ●「音楽を聴く」(→112)
パソコンからの表示	×	○	○
ディスクへの書き出し	○(→92、94)	○(→110)	○*1*2(→114、127)
USB-HDD への書き出し	○*3(→94)	×	×
SD カードへの書き出し	○(→117)	○(→110)	○*2*4(→127)
他のファイル共有機能対応機器での再生	×	○	○
AV ネットワーク機能	○	○	×

※ 1 動画と音楽ファイルのみ

※ 2 写真の場合はいったん他の領域に取り込んだあと(→127)、他のメディアに書き出すことが可能です。

※ 3 撮影ビデオ(AVCHD)は書き出しできません。

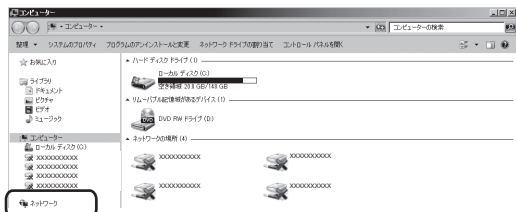
※ 4 動画のみ

パソコンから本機にデータを保存する

本機と宅内ネットワーク接続したパソコンからデータを保存します。

例) Windows7 の場合

① フォルダを開き、「ネットワーク」をクリックする



② フォルダ内の「コンピューター」の一覧に表示される「ファイル共有サーバーの名称」(→145) で設定した、本機の名前のアイコンをダブルクリックする

- 「その他のデバイス」「メディア機器」に表示されている本機の機器名からはファイル共有サーバーは開きません。
- 「コンピューター」の一覧に本機の名前のアイコンが表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されていない場合はフォルダのアドレスバーにある「ネットワーク」を最新の情報に更新をクリックしてください。(OS の種類やバージョンによって更新ボタンがない場合は、アイコンが表示されるまで数分お待ちください)
- ユーザー名とパスワードを求められる場合があります。その場合は以下のように入力してください。

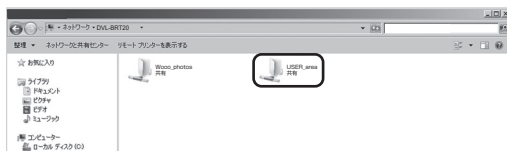
ユーザー名 : Wooo

パスワード : 「パスワード設定」(→145) で設定したパスワード

“ネットワーク” を最新の情報に更新



③ 「USER_area」フォルダにパソコンのデータを保存する



表示されるフォルダについて

USER_area :

ファイル共有領域です。「USER_area」内のデータを保存したり、データの削除、移動をすることができます。

Wooo_photos* :

写真の領域です。SD カードや USB 機器から本機に取り込んだ写真が表示されます。

※ フォルダ内にデータを保存したり、データの削除、移動をすることはできません。

お知らせ

- 「USER_area」フォルダに保存できるファイル数は、60000 までです。



便利機能

ファイル共有機能を使う (続き)

保存した動画ファイル (MP4) や写真を本機で再生する

パソコンから保存した動画ファイル (MP4) や写真を本機で再生します

- ファイルによっては再生できないものもあります。

動画ファイル (MP4) を再生する

1 **機能一覧** を押す

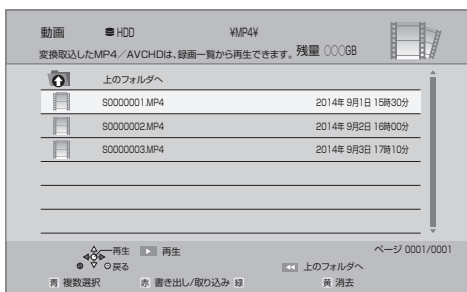
2 「動画 (MP4) / 撮影ビデオを再生する」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 「動画ファイル (MP4) を再生する」を選び、**決定** を押す

4 動画を選び、**決定** を押す

例)



- ファイルの再生が終了したとき、同一フォルダ内に別のファイルがある場合、次のファイルを引き続き再生します。
- 再生中に予約録画が始まると、再生を中断します。

写真を再生する

1 **機能一覧** を押す

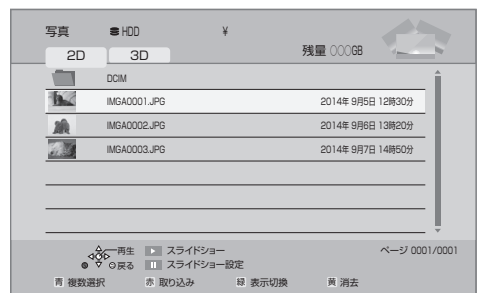
2 「写真を見る」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 「パソコンなどから保存した写真」を選び、**決定** を押す

4 写真を選び、**決定** を押す

例)



🔗 スライドショーについては (→108)

保存した音楽ファイルを本機で再生する

「音楽ファイルを再生する」(→112) をご覧ください。

保存した動画ファイル（MP4）や写真を録画一覧や写真一覧に取り込む

- 動画ファイル[MP4(4K 以外)]：
録画領域に取り込みます。(録画一覧で表示できるようになります)
- 写真：写真取込領域に取り込みます。(写真一覧で表示できるようになります)

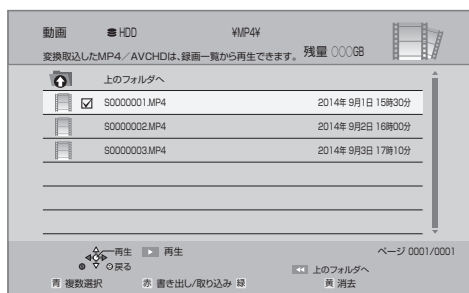
動画を取り込む場合は、126 ページ「動画ファイル（MP4）を再生する」の手順 3 のあと

写真を取り込む場合は、126 ページ「写真を再生する」の手順 3 のあと

4 動画または写真を選び、を押す

- が表示されます。操作を繰り返します。

例)



- ☞ 選択を取り消すには

動画または写真を選び、[青]を押す

5 選び終わったあと、を押す

- 6 動画の場合：
「録画一覧へ取り込む」を選び、を押す

7 「取り込み開始」を選び、を押す

お知らせ

- MP4（4K）は録画一覧には取り込めません。
- 録画一覧に取り込んだ動画は、他の機器で再生できるディスク [DVD-R（ビデオ方式）] にダビングしたり、AV ネットワークで別室のテレビなどから見るすることができます。

保存した動画ファイル（MP4）を他のメディアに書き出す

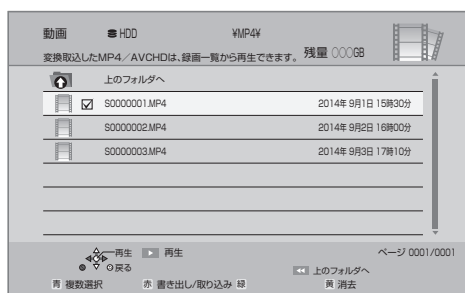
動画ファイル（MP4）を **BD-RE** **BD-R** **SD** に書き出すことができます。

126 ページ「動画ファイル（MP4）を再生する」の手順 3 のあと

4 動画を選び、を押す

- が表示されます。操作を繰り返します。

例)



- ☞ 選択を取り消すには

動画を選び、[青]を押す

5 選び終わったあと、を押す

6 書き出し先を選び、を押す

7 「書き出し開始」を選び、を押す

- ☞ 書き出した動画ファイル（MP4）を確認するには
 - ・**SD**（→78）
 - ・**BD-RE** **BD-R**（→105「ディスクから取り込む場合」手順 3）



便利機能

本機で記録できるようにする（フォーマット）

BD-RE BD-R RAM -R -RW SD

新品または他の機器で使っていたディスクやカード



そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマット
すると



本機で記録できるようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（→30）

1 を押す

2 「メディアを使う」を選び、 を押す

●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

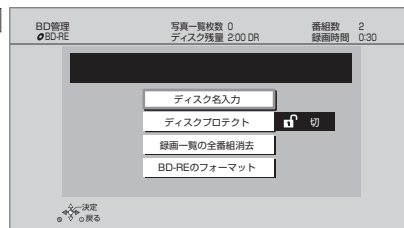
3 「ブルーレイ (BD) /DVD」または「SD カード」を選び、 を押す

4 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、 を押す

●未使用の **-R** を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（→手順 6 へ）

5 フォーマットの項目を選んで、 を押す

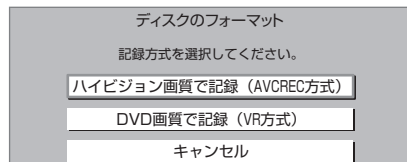
例) **BD-RE**



6 画面の指示に従って、フォーマットする

●DVDの場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) **RAM**



お知らせ

- フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。
- R** 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(→129) を行うと記録方式を変更できません。
- RAM -RW** 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD** フォーマットは「HDDのフォーマット」(→141) で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R -RW

(ファイナライズしたディスクではできません)

1 **機能一覧** を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、**決定** を押す

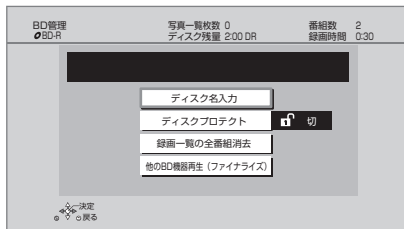
4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、

決定 を押す

5 操作したい項目を選んで、**決定** を押す

(→ 下記へ)

例) **BD-R**



ディスク名入力

BD-RE BD-R RAM -R -RW

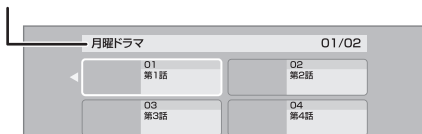
文字入力については (→131)

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R V -RW V

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



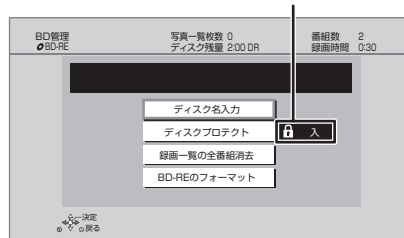
ディスクプロテクト

BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

6 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**決定** を押す

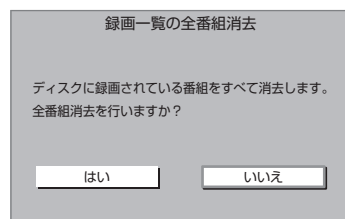
プロテクト設定すると「**入**」が表示



録画一覧の全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

例) **BD-RE**



6 「はい」を選び、**決定** を押す

7 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

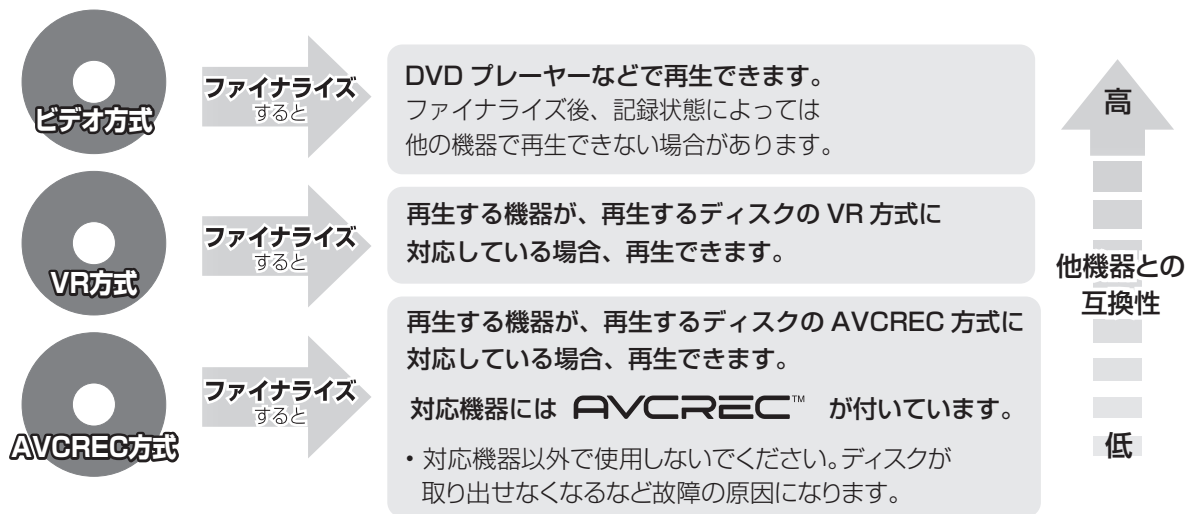
- **BD-RE** **BD-R** **RAM** 写真は消去されません。
- **BD-R** **-R AVCREC** **-R VR** 消去しても残量は増えません。

?

必
読
な
り

ファイナライズ

BD-RE **RAM** ファイナライズは不要です。



129 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R V **-RW V**

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

- ⑥ お好みの背景を選び、**決定** を押す



- トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(→87「サムネイル変更」)

ファーストプレイ選択

-R V **-RW V**

ファイナライズ後のディスク再生の始め方を設定できます。

- ⑥ 「トップメニュー」または「タイトル 1」を選び、**決定** を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生 (ファイナライズ) 他の BD 機器再生 (ファイナライズ)

-R **-RW** **BD-R**

- ⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す

- ⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- **-RW V** フォーマット (→128) すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- **-RW VR** 「ファイナライズ解除」(→下記) を行うと、記録や編集ができます。
- **BD-R** ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

-RW VR

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

- ⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す

- ⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

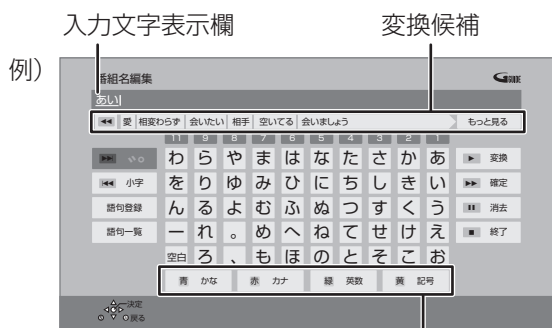
- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

文字入力

本機では、表示された画面によって文字入力方法が異なります。

文字パネルから文字入力する

(番組名、ディスク名、フォルダ名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき)



入力できる文字の種類

1 青 赤 緑 黄 で文字の種類を選ぶ

- 漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、決定 を押す

- この手順を繰り返し、文字を入力します。
- ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(→ 右記)
- 文字入力時に、変換候補に予測変換候補が表示されます。変換候補から選んで [決定] を押すと、その文字が入力されます。

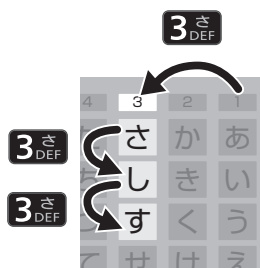
3 入力が終わったら、停止 を押す

4 「はい」を選び、決定 を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]でも文字を入力できます。

例：ひらがな「す」を選ぶ場合

- ① [3] を押す
 - 「さ」行に移動します。
- ② [3] を2回押し、[決定] を押す
 - 「す」が入力文字表示欄に表示されます。



ひらがなを漢字変換する

[▶ 再生] を押したあと、変換候補を選び、[決定] を押す

- [戻る] を押すと、入力画面に戻ります。
- JIS 第1水準、JIS 第2水準の漢字コードを入力可能

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

文字を消す

[|| 一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

- ① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、[決定] を押す
- ② 「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

- ① 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
- ② 語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

- ① 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
- ② 語句を選び、[黄] を押す
- ③ 「消去」を選び、[決定] を押す

リモコンボタン方式で文字入力する

(アクトビラなどで入力するとき)

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。

(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)



1 あ ~ 12 数字 で文字を入力する

- ボタンを押すたびに、文字が変わります。(例:「い」を入力するときは [1] を2回押す)
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

お知らせ

- 入力可能な最大文字数について (番組名を入力 / 表示するとき)
 - ・全角で 126 文字 (半角で 252 文字) まで表示されます。
 - ※入力する文字の種類や並びによって最大表示可能数が異なり、後半部分が表示されないことがありますので、お気をつけください。
- 画面表示で表示可能な最大文字数について
 - ・番組名: 全角で 33 文字 (半角で 65 文字) まで表示されます。



必要とき

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

1 **機能一覧** を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す

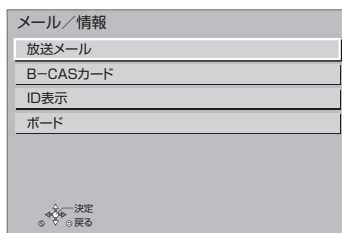
- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「設定する・その他の機能」を選び、**決定** を押す

4 「メール / 情報・診断コード」を選び、**決定** を押す
(診断コードを見る場合 → 162 手順⑤へ)

5 「メール / 情報」を選び、**決定** を押す

6 項目を選び、**決定** を押す



放送メール

放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、**決定** を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

1 「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、**決定** を押す



2 確認したい情報を選び、**決定** を押す

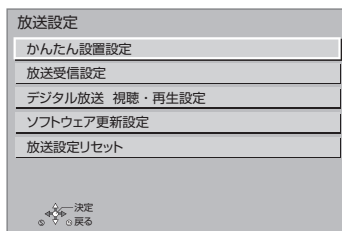
放送設定を変える（放送設定）

1 機能一覧を押す

2 「放送設定」を選び、決定を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、決定を押す



4 設定項目を選び、決定を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

かんたん設置設定

かんたん設置設定 (→26)

放送受信設定

[] はお買い上げ時の設定です

受信対象設定

放送視聴時や番組表で使わない放送を操作できないようにします。

- 地上デジタルは設定できません。

BS/CS

【使う】

チャンネル設定 (→137)

地上デジタル / BS/CS1 / CS2

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」(→26)を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信

【切】

「入」に設定すると、インターネットを利用して1カ月の番組表や注目番組を取得することができます。

- ネットワークの接続と設定 (→23、26) が必要です。
- 「入」にすると、常時接続状態になります。
- 2017年8月現在、番組情報を取得できる放送局はNHK、スター・チャンネル、WOWOWのみです。

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

- お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定 (→135)

地上デジタル

アッテネーター

【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル (→136) を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源

【入】

アンテナ出力

【入】

本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

(放送局からの案内がないかぎり、変更しないでください)

B-CAS カードテスト

NG の場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

放送設定を変える（放送設定）（続き）

デジタル放送 視聴・再生設定

【 】はお買い上げ時の設定です

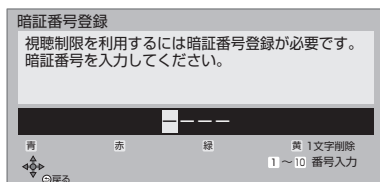
字幕設定

ディスクに録画した場合、デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。

XP、SP、LP、FR モードで録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕	【切】
字幕言語	【日本語】
文字スーパー	【切】
文字スーパー言語	【日本語】

制限項目設定



画面の指示に従って【1】～【10】を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢

【無制限】

- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。

ブラウザ制限

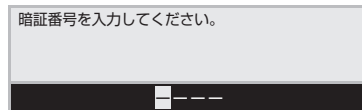
【しない】

ブラウザを利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。



- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象

【すべて】

デジタル放送で【チャンネルへ、▼】を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネルを選局します。

ソフトウェア更新設定

【 】はお買い上げ時の設定です

ダウンロード予約

【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。
(→150)

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(→132「放送メール」)

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」(→133)をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

日時設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDやUSB-HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(→141)や「録画用USB-HDDのフォーマット」(→141)を行ってください。

アンテナレベルを確認する

アンテナレベルについて

アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

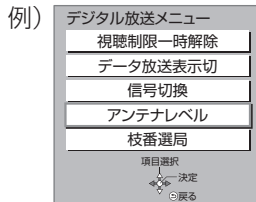
1 視聴中に

サブメニュー
S を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

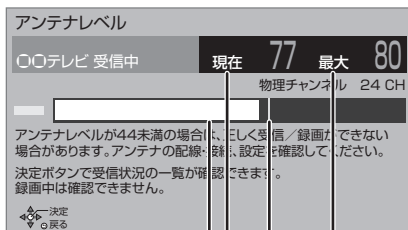
2 「デジタル放送メニュー」を選び、決定 を押す

3 「アンテナレベル」を選び、決定 を押す



4 アンテナレベルを確認する

例) 地上デジタル



最大感知レベル

現在の入力レベル

受信アンテナ設定をする

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- アンテナの説明書もご覧ください。

1 機能一覧 を押す

2 「放送設定」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 「放送受信設定」を選び、決定 を押す

4 「受信アンテナ設定」を選び、決定 を押す

5 修正したい放送を選び、決定 を押す (→136 ページへ)

放送設定を変える（放送設定）（続き）

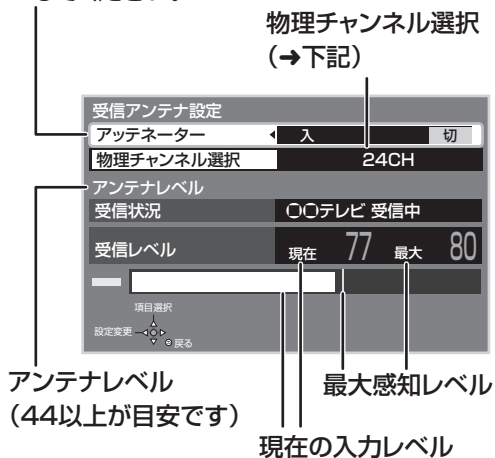
地上デジタル

「受信アンテナ設定をする」(→135)手順1～5のあと

6 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アッテネーター

- アンテナレベルが大きくなるほうを選択してください。



物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH～62 CH）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定]を押し、[1]～[10]で物理チャンネルを入力し、[決定]を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、「チャンネル設定」の「再スキャン」を行ってください。(→137)

・アッテネーターを切り換える

・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す

状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

衛星

「受信アンテナ設定をする」(→135)手順1～5のあと

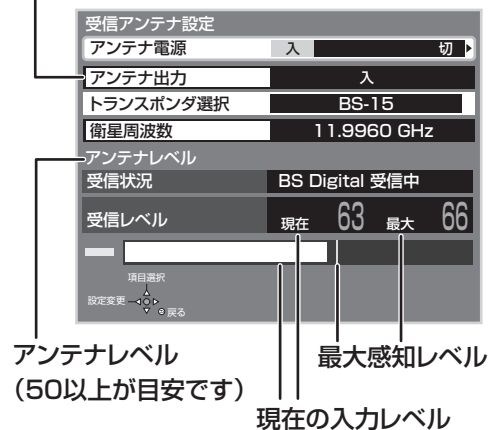
6 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入(オン)」にしてください。

7 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力

- 通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。









「他の衛星受信中」の表示が出たとき

BS・110度CSデジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。




受信チャンネルを修正する

- 1  を押す
- 2 「放送設定」を選び、 を押す
 - 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「放送受信設定」を選び、 を押す
- 4 「チャンネル設定」を選び、 を押す
- 5 修正したい放送を選び、 を押す
(BS、CS1、CS2の場合 → 右記へ)
- 6 (地上デジタルのみ)
修正する方法を選び、 を押す
(→ 下記または右記へ)

地上デジタル 初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。


上記手順 1～6 のあと

- 7 お住まいの地域を選び、 を押す
- 8 受信帯域を選び、 を押す
- 9 正しく設定されていることを確認したあと、
 を押す

地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

上記手順 1～6 のあと

- 7 正しく設定されていることを確認したあと、
 を押す

地上デジタル マニュアル BS、CS1、CS2

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。




Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	---	---	---
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ


Po : 「1」～「12」の表示はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼]を押してください。

CH : テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。
「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

地上デジタルの場合、左記手順 1～6 のあと
BS、CS1、CS2 の場合、左記手順 1～5 のあと

- 7 修正したい行 (Po) を選び、 を押す
- 8 表示チャンネル (CH) を修正し、 を押す
- 9 修正が終わったら、 を押す

 チャンネルの順番を入れ換えるには

- ① [緑]を押す
- ② 入れ換えをしたい行 (Po) を選び、
[決定]を押す
- ③ 入れ換え先の行 (Po) を選び、[決定]を押す
- ④ 入れ換えが終わったら [戻る]を押す

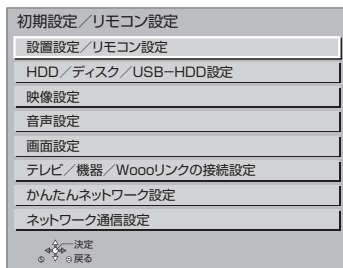
本機の設定を変える（初期設定）

1 を押す

2 「初期設定／リモコン設定」を選び、 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、 を押す



4 設定項目を選び、 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

設置設定／リモコン設定

[] はお買い上げ時の設定です

自動電源 [切] [6 時間]

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコン設定 (→146)

リモコンモード [リモコン 1]

リモコンのテレビ操作設定

日時設定

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に日時を修正しますので、通常は日時設定の必要はありません。

本体表示窓に右記の表示が出ている場合は、アンテナケーブルの接続を確認してください。



音声ガイドの設定

番組表や録画一覧の内容、選局時の番組名、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
- 「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」(→141)は自動的に「PCM」になります。「切」に戻しても「PCM」のままです)
- 外部入力の場合は、出力されません。

音声ガイド機能 [切]

読み上げ音量

読み上げ速度

クイックスタート設定／本体時計表示

クイックスタート [切 (時計表示無し)]

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。(テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります)

- 待機時消費電力は増えます。
- 本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に1回程度）に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません)

●以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」に固定になります。

- ・「AV ネットワーク機能」(→145) : 「入」
 - ・「ファイル共有サーバー機能」(→145) : 「入」
- 「切 (時計表示無し)」にすると、電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

クイックスタートモード

クイックスタート(→上記)が「入」時の設定をします。

- 「標準」の場合
 - ・無信号自動オフ機能が働かない場合があります。
 - ・電源「切」時に本体表示窓が点灯します。
- 「省エネ (時計表示無し)」の場合
 - ・「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
 - ・電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

節電待機モード

【モード 1】

「節電待機」(→36) で電源を「切」にしたときの待機モードを設定します。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は戻りません。

- ・日時
- ・DVD-Video の視聴制限
- ・BD-Video の視聴可能年齢
- ・HDD 番組の視聴制限
- ・USB-HDD の登録
- ・LAN 接続形態
- ・無線/無線親機設定
- ・IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定
- ・ファイル共有サーバーの名称
- ・ファイル共有サーバー設定のパスワード設定
- ・AV ネットワーク/スカパー! Link(録画) 設定の本機の名称
- ・家じゅう録画一覧設定の接続する機器一覧
- 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合(本体表示窓に“U30”と表示)、リモコンモードを変更してください。(→157)

HDD/ディスク/USB-HDD 設定

【 】はお買い上げ時の設定です

再生設定 (再生専用ディスク)

DVD-Video の視聴制限*¹ 【8 すべて視聴可】

DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ (成人向けや暴力シーンを含むもの) が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢*¹ 【無制限】

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されている BD ビデオ (成人向けや暴力シーンを含むもの) が視聴不可になります。

- 「年齢入力」を選んで【決定】を押すと、【1】～【10】で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続*¹ 【有効 (制限付き)】

BD-Live 機能を利用するとき、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

音声言語*² 【日本語】

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語*² 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」は、「音声言語」の言語で音声再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語*² 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC**

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画 (AVCHD) が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- 「入」はハイビジョン動画 (AVCHD) を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

※ 1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って【1】～【10】で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。

暗証番号は忘れないでください。

※ 2 「その他****」の場合、*には【1】～【10】で言語番号 (→150) を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面のみ切り換えるものもあります。



本機の設定を変える（初期設定）（続き）

記録設定

ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定

外部入力音声設定 【ステレオ】

外部入力から録画時の音声の種類を選びます。

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】

二重音声（二カ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 -R V -RW V

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】

二重音声（二カ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

高速ダビング速度 【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。
(高速記録対応ディスクの場合など)

ムーブバックエラー制御 【中断】

ムーブバック中にディスクの汚れや劣化によるエラーを検出したときの制御を設定します。

自動チャプター 【入】

デジタル放送録画時に CM など自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

持ち出し番組の VGA 画質 【モード 1 (1.5Mbps)】

「持ち出し方法」を「SD/USB 経由」に設定して作成する場合に、記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更します。

MP4 の取り込み設定 【ファイル取込】

MP4（4K 以外）の取り込み形式を選びます。

- 「変換取込」は、本機のデータ形式に変換して取り込みます。
- 「ファイル取込」すると、ネットワーク接続したファイル共有機能対応機器でも見ることができます。
(→123)

MP4 取り込み画質 【高画質モード】

本機に MP4（4K 以外）を取り込むときの画質を設定します。

- MP4 の取り込みは「MP4 の取り込み設定」(→上記)が「変換取込」時のみ有効です。

再放送の録画 【録画しない】

「おまかせ録画」(→57) や「カテゴリーまとめて予約」(→59) で一度録画した番組の再放送を録画するかどうかを設定します。

HDD 番組の視聴制限*

【無制限】

年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できません。(年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります)

HDD 設定

HDD 管理

録画一覧の全番組消去

番組をすべて消去します。

写真一覧の全写真消去

HDD 内の「写真一覧」(→107)に表示されている写真をすべて消去します。

[ファイル共有領域(→123)に保存した写真は消去されません]

ユーザ共有フォルダの全消去

ファイル共有機能(→123)でパソコンから本機に保存したファイル、MP4 取り込みの動画ファイルをすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録(→34)

市販の USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し(→35)

市販の USB-HDD を本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

録画用 USB-HDD のフォーマット

市販の USB-HDD の初期化を行います。

USB-HDD 登録の取り消し(→35)

USB-HDD の登録を取り消します。

すべての USB-HDD 登録の取り消し(→35)

登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。

※ 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。暗証番号は忘れないでください。

映像設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード

【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

【入】

部分消去した箇所などを滑らかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮

【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

音声は Dolby® Digital、Dolby® Digital Plus、Dolby® TrueHD のときのみ有効です。

- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD 【Bitstream】

DTS/DTS-HD 【Bitstream】

AAC 【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。

- 出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続・設定の関係」(→175)をご覧ください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む **BD-V**)

【自動切換】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入/切を設定します。

- Dolby Atmos® や dts:X™ に対応した BD ビデオを楽しむには上記音声出力に対応した AV アンプなどに HDMI ケーブルで接続し、以下のように設定してください。
 - ・Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD : 「Bitstream」
 - ・DTS/DTS-HD : 「Bitstream」
 - ・BD ビデオ副音声・操作音 : 「切」

Dolby Atmos はドルビーラボラトリーの商標です。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

ダウンミックス

【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」(→141)が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合、「ノーマル」で出力されます。
 - ・AVCHD 再生時
 - ・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

音声ディレイ

【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

はっきり再生設定

はっきり再生 (→42、81) の設定をします。

はっきり効果の強さ

【弱】

はっきり効果の強さを設定します。

はっきり効果の常時設定

【切】

「入」にすると、【ゆっくり / はっきり】を押さなくても、常時ははっきり効果が有効になります。「デジタル出力」(→141)が「PCM」になります。

画面設定

【 】はお買い上げ時の設定です

画面表示動作【オート】

【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。

「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
[「出力解像度」(→143)が「480p」以外のとき]

本体表示窓の明るさ

【常時明】

本体表示窓の明るさを調節します。

- 電源「切」時の時刻表示は、「クイックスタート」、「クイックスタートモード」の設定に従って点灯・消灯します。(→138)

テレビ / 機器 / Wooo リンクの接続設定

【 】はお買い上げ時の設定です

3D 設定

3D 方式設定

【フル HD】

接続しているテレビの方式に設定します。

- 「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも3Dの設定を切り換えてください。

3D 番組の出力方法

【3D】

3D 番組を2D再生します。

3D 再生時の注意表示

【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

Wooo リンク設定

Wooo リンク制御

【入】

Wooo リンクに対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

HDMI 接続設定

出力解像度 【オート】
接続した機器が対応している項目に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。

- 4K 対応テレビと接続する場合は、「オート」を選択してください。

24p 出力 **BD-V** **AVCHD** 【切】

映画など 24p で記録された素材を再生時に、自動で 24p 出力します。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合
「出力解像度」(→上記)を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。
- 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
「出力解像度」(→上記)を「オート」または「1080i」、「1080p」に設定時に 1080/24p で出力されます。
24p 以外で記録された素材は 60i または 60p で出力されます。

カラースペース 【YCbCr (4:4:4)】

HDMI 端子で接続時、映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

Deep Color 出力 【オート】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング **BD-V** 【オート】

接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に 7.1チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1チャンネルの場合は 5.1チャンネルで再生します)

コンテンツタイプフラグ 【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定 (→26)

ネットワーク通信設定

【 】はお買い上げ時の設定です

通常は「LAN 接続形態」「無線 / 無線親機設定」「IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定」の設定は不要です。

「かんたんネットワーク設定」(→上記)を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態

【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

「無線親機」にすると、本機をアクセスポイントに設定することができます。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

無線 / 無線親機設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

- 「LAN 接続形態」(→143)が「無線」または「無線親機」時のみ有効

プッシュボタン方式

PIN コード方式

無線ネットワーク検索

手動設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

- 「LAN 接続形態」(→143)が「無線」時のみ有効

プッシュボタン / PIN コード方式での子機接続

無線子機を追加で登録することができます。(最大8台まで)

- 「LAN 接続形態」(→143)が「無線親機」時のみ有効

設定変更

- 「LAN 接続形態」(→143)が「無線親機」時のみ有効

ネットワーク名 (SSID)

暗号化キー

無線方式

接続する子機が 802.11n/a に対応している場合は、無線方式は「802.11n/a (5 GHz)」を選択することをお勧めします。ただし、無線子機が対応していない場合は接続できない場合があります。詳しくは無線子機の取扱説明書をご覧ください。

倍速モード 【通常モード (20 MHz)】

無線方式が 5 GHz の場合、通信速度を設定します。

- 「無線方式」(→上記)が「802.11n/a (5 GHz)」時のみ有効。
- 「倍速モード (40 MHz)」で通信を行うと、2チャンネル分の周波数帯域で高速に通信します。ただし、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

無線チャンネル

他機器との電波干渉があるときに、無線チャンネルを変更してください。

設定リセット

本機が無線親機のときの設定をリセットします。

IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP *サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていなくてのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(→上記)を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みの事です。

DNS-IP 自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(→上記)を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、アクトビラのサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号 [0]

接続テスト

AV ネットワーク / スカパー! Link (録画) 設定 (→149)

AV ネットワーク機能 [切]

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→138)と「ファイル共有サーバー機能」(→右記)が自動的に「入」になります。

本機の名称

アクセス許可方法 [自動]

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示 [切]

- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。(HDD が容量不足の場合、「入」にはできません)

自動更新 [入]

- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。
(更新は 1 日に 1 回程度、電源「切」時に行います)

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

ファイル共有サーバー設定

ファイル共有サーバー機能 [切]

- 「入」にすると、ネットワーク接続したパソコンを操作して、MP4 や音楽、写真などのファイルを本機の HDD に保存することができます。
- 「入」にすると、「クイックスタート」(→138)は自動的に「入」になります。

パスワード設定

- ネットワーク接続したパソコンなどから本機にアクセスするときのパスワードを設定します。

ファイル共有サーバーの名称

- 接続したパソコンなどの機器に表示する本機の名前を設定します。

ファイル共有サーバー使用量確認

- ファイル共有領域で使用している HDD の容量を確認します。

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、「LAN 接続形態」(→143)の設定によって、以下のようになります。

- 「有線」:背面の LAN 端子に割り当てられた番号
- 「無線」:内蔵の無線 LAN に割り当てられた番号



本機の設定を変える（初期設定）（続き）


リモコン設定をする

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード


本機の近くに他のブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。


1  を押す

2 「初期設定／リモコン設定」を選び、 を押す
●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「設置設定／リモコン設定」を選び、 を押す

4 「リモコン設定」を選び、 を押す

5 「リモコンモード」を選び、 を押す

6 「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、 を押す




リモコンモードの設定

本体とリモコンを同じリモコンモードに合わせます。
まず、本体側のリモコンモードを選択して決定ボタンを押してください。

リモコン1
リモコン2
リモコン3
リモコン4
リモコン5
リモコン6

Irシステムを使った予約録画を行う場合は、リモコン1～3を選択してください。


リモコン側のモードを設定する

7  ~  のいずれかを押しながら、 を3秒以上押したままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

リモコンモードの設定

本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。

1. リモコンの決定ボタンと数字ボタン  を同時に3秒以上押してください。
リモコン側の設定が完了します。

2. 続いて、リモコンを本体に向け、画面表示が切り換わるまで決定ボタンを3秒以上押してください。

8 リモコンを本体に向けて、 を3秒以上押す

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

9  を押す

- リモコンモードの設定を終了します。

お知らせ

- セットトップボックスなどのIrシステム（→68）を利用する場合は、Irシステムのリモコン種別を本機のリモコンモードに合わせてください。また、本機のリモコンモードは「リモコン 1」～「リモコン 3」のいずれかをお使いください。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。

本機のリモコンでテレビを操作する

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの [テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +,-] でテレビを操作できます。

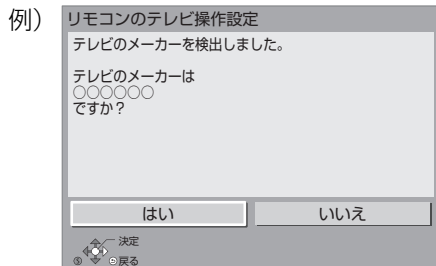
また、[テレビ操作] を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。(→148)



146 ページ手順 4 のあと

5 「リモコンのテレビ操作設定」を選び、決定を押す

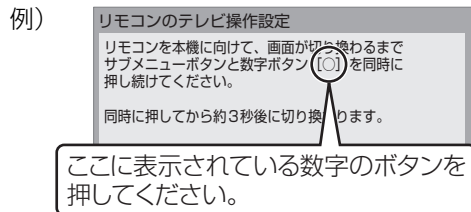
6 テレビのメーカー確認画面が表示された場合：「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す



- お使いのテレビメーカーと異なるメーカー名が表示される場合、「いいえ」を選び、メーカー選択画面で正しいメーカー名を選んでください。

テレビのメーカー選択画面が表示された場合：
メーカー名を選び、決定を押す

7 リモコンを本機に向け、サブメニューを押しながら、1あ～12改行のいずれかを3秒以上押したままにする



- 画面が切り換わったら、リモコンをテレビに向け、音量ボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。正しく動作しない場合「メーカー番号を入力して設定する場合」(→下記)をお試しください。

8 決定を押す

■メーカー番号を入力して設定する場合

「リモコンのテレビ操作設定」(→左記)を行っても正しく動作しない場合、以下の操作で設定してみてください。

[戻る] を押しながら、[1] ~ [10] を使って、2桁のメーカー番号 (→下記) を入力してください。

例) 01 の場合…[10] → [1] 10 の場合…[1] → [10]
11 の場合…[1] → [1] 12 の場合…[1] → [2]

メーカー名	メーカー番号
日立	05、20
アイワ	18
NEC	06、15
三洋	07、16
JVC/ビクター	14
シャープ	02、11、21、33
ソニー	03
東芝	04、27、32
パイオニア	13、28
パナソニック	01、10、22、24、30、31
富士通ゼネラル	09
フナイ	19、29
三菱	08、12、25
LG	26

番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

設定が完了すると、[テレビ操作] が2回点滅します。

- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- テレビ側でリモコンモードを変更している場合、本機のリモコンでは操作できないことがあります。

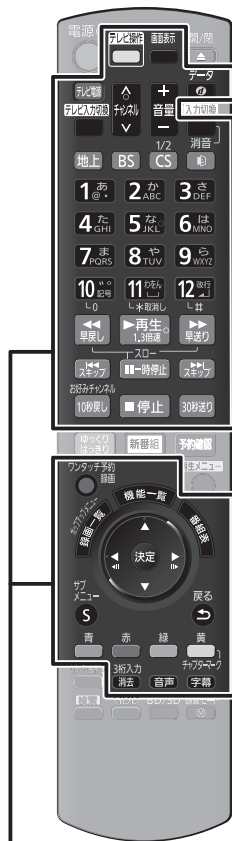
本機の設定を変える（初期設定）（続き）

テレビ操作モードにする

1 リモコンの **テレビ操作** を押す

- ボタンが点灯し、テレビ操作モードになります。

2 下記のボタンでテレビを操作する



テレビの操作に使用できるボタン

[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +,-] は、
[テレビ操作] を押さなくてもテレビを操作できます。

スマートフォンのテザリング機能でインターネットに接続する

ご自宅にインターネット回線がない場合に、スマートフォンのテザリング機能を使うと、本機のネットワーク機能をお楽しみいただけます。

1 スマートフォンのテザリング機能を有効にする

- 有効にする方法は、スマートフォンの説明書をご覧ください。

2 **機能一覧** を押す

3 「スマートフォンでテザリング」を選び、

決定 を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

4 「次へ」を選び、**決定** を押す

5 画面の指示に従って設定する

- 接続するスマートフォンのネットワーク名 (SSID) を選んでください。
- 「LAN接続形態」(→143) は「無線」になります。

☞ テザリング機能を終了するには

- スマートフォンのテザリング機能を無効にしてください。

🗨️ お知らせ

- テザリングでネットワークに接続している場合、「通信による G ガイド受信」(→133) は「切」になります。
- テザリング利用時はスマートフォンの契約によっては通信料が高額になる場合があります。契約内容とパケット通信量にお気をつけください。
- 本機の電源「切」時でもデータの送受信を行っています。テザリング機能をご利用にならない場合は、スマートフォンのテザリング機能を無効にしてください。

🗨️ お知らせ

- 再度 [テレビ操作] を押すか、約30秒間何も操作しなかった場合、[テレビ操作] は消灯し、テレビ操作モードは終了します。
- 機種によっては、操作できないボタンもあります。
- 登録したテレビのリモコンにないボタンは動作しません。また、機種によってはボタンの名称が異なる場合があります。
- 三洋、JVC/ビクター、NEC、富士通ゼネラル、アイワ製のテレビは [テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[チャンネル へ、へ]、[音量 +,-] 以外是对応していません。

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器 / CATV セットトップボックス / スカパー! プレミアムサービス対応チューナー / AV ネットワークダビング対応当社製テレビなどと接続する


AV ネットワーク /
スカパー! Link (録画) 設定


1  を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク通信設定」を選び、 を押す

4 「AV ネットワーク / スカパー! Link (録画) 設定」を選び、
 を押す

5 「AV ネットワーク機能」を選び、
 を押す

6 「入」を選び、 を押す

- 「クイックスタート」(→138)が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 無線接続で無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。


7 「アクセス許可方法」を選び、 を押す

8 「手動」または「自動」を選び、 を押す

- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
- 「手動」の場合(→右記手順 9 へ)


左記手順 8 で「手動」を選んだ場合

9 「機器一覧」を選び、 を押す


10 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、 を押す

11 「アクセス許可」を選び、 を押す


- 最大 16 台まで登録できます。

 登録している機器のアクセス許可を取り消すには (「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ)

- ① 手順 10 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す
- ② 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す

 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

- ① 手順4のあと「本機の名称」を選び、[決定] を押す
- ② 項目を選び、[決定] を押す
 - 一覧から選んで変更
 - 文字入力して変更 (→131)

 AV ネットワーク機能を使用しないときは 手順 6 で「切」を選ぶ

お知らせ

- スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスから録画または予約録画をする場合や、他のレコーダーからお引越しダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。
機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

?

必読なとせ

ソフトウェアの更新について

本機は以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアダウンロード

電源「切」の状態では、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものへ書き換えます。

●お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。(→134「ソフトウェア更新設定」)

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示します。

例) オンエアダウンロードによる更新の実行中



- “1/5”などは進行状況です。
- “5/5”まで表示したあと表示が消えるまで、本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
- オンエアダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

言語番号一覧

「再生設定 (再生専用ディスク)」の言語選択時に使用します。(→139)

アイスランド.....7383	オランダ.....7876	ジャワ.....7487	ドイツ.....6869	ベنگガル
アイマラ.....6589	カザフ.....7575	スウェーデン.....8386	ナウル.....7865	(バングラ).....6678
アイルランド.....7165	カシミール.....7583	スペイン.....6983	日本語.....7465	ベルシャ.....7065
アゼルバイジャン...6590	カタロニア.....6765	スロバキア.....8375	ネパール.....7869	ポーランド.....8076
アッサム.....6583	ガリチア.....7176	スロベニア.....8376	ノルウェー.....7879	ポルトガル.....8084
アフアル.....6565	韓国(朝鮮)語...7579	スワヒリ.....8387	ハウサ.....7265	マオリ.....7773
アフリカーンス...6570	カナダ.....7578	スندا.....8385	ハンガリー.....7285	マケドニア.....7775
アブハジア.....6566	カンボジア.....7577	ズールー.....9085	バシキール.....6665	マダガスカル.....7771
アムハラ.....6577	キルギス.....7589	セルビア.....8382	バスク.....6985	マライ
アラビア.....6582	ギリシャ.....6976	セルボクロアチア...8372	バシュト.....8083	(マレー).....7783
アルバニア.....8381	クルド.....7585	ソマリ.....8379	バンジャブ.....8065	マラッタ.....7782
アルメニア.....7289	クロアチア.....7282	タイ.....8472	ヒンディー.....7273	マラヤーラム.....7776
イタリア.....7384	グアラニー.....7178	タガログ.....8476	ビハール.....6672	マルタ.....7784
イディッシュ.....7473	グジャラト.....7185	タジク.....8471	ビルマ.....7789	モルダビア.....7779
インターリングア...7365	グリーンランド...7576	タタール.....8484	フィジー.....7074	モンゴル.....7778
インドネシア.....7378	ブルリア.....7565	タミル.....8465	フィンランド.....7073	ヨルバ.....8979
ウェールズ.....6789	ケチュア.....8185	チェコ.....6783	フェロー.....7079	ラオ.....7679
ウオーフ.....8779	ゲール	チベット.....6679	フランス.....7082	ラテン.....7665
ウクライナ.....8575	(スコットランド)...7168	中国語.....9072	フリジア.....7089	ラトビア
ウズベク.....8590	コーサ.....8872	ティグリニア.....8473	ブータン.....6890	(レット).....7686
ウルドゥー.....8582	コルシカ.....6779	テルグ.....8469	ブルガリア.....6671	リトアニア.....7684
ヴォラビュック...8679	サモア.....8377	デンマーク.....6865	ブルターニュ.....6682	リンガラ.....7678
英語.....6978	サンスクリット...8365	トウイ.....8487	ヘブライ.....7387	ルーマニア.....8279
エストニア.....6984	ショナ.....8378	トルクメン.....8475	ベトナム.....8673	レトロマンズ.....8277
エスペラント.....6979	シンド.....8368	トルコ.....8482	ベロルシア	ロシア.....8285
オーリヤ.....7982	シンハラ.....8373	トンガ.....8479	(白ロシア).....6669	

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDDの回転が完全に止まってから（3分程度待つてから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「個人情報リセット」(→134)を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行います。修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼される時にご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDDを録画用フォーマットでお使いになっていた場合、本機の修理過程においてUSB-HDDの登録が取り消される場合があります。

登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

取り扱いについて (続き)

HDD (ハードディスク)・USB-HDD

振動・衝撃・磁気やほこりに弱い精密機器です
設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング (バックアップ) を…
不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

●HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容 (データ) の修復はできません。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ず守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク
 - ・シールやラベルを貼らない。(ディスクに反りが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
 - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
 - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
 - ・以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - 反っていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



- カード
 - ・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ (大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

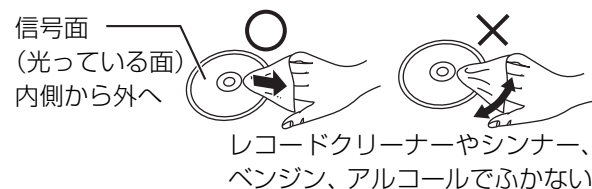
ディスク、カード

持ち方



汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



- ディスクが汚れている場合や傷が付いている場合、記録や再生ができなくなることがあります。

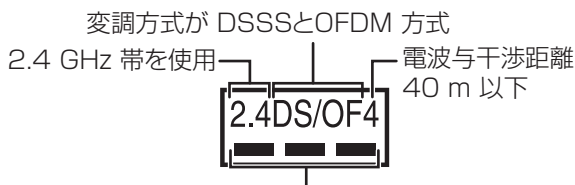
内蔵無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、本機背面に記載しています。



2.400 GHz~2.483 GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口 (→186)

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板および証明ラベルを消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線 LAN の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

一次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。

- 電子レンジ
- 他の無線 LAN 機器
- その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器 (Bluetooth® 対応機器、デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)

-802.11ac または 11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーター・アクセスポイントをお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。

- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

* 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

同時操作について

録画 / 予約録画中の同時操作

(○:できる ×:できない)

録画状態			再生				HDDの編集※1	かんたんダビング	
放送 / 入力	録画先	録画モード	HDD・USB-HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		ファイナライズ切	ファイナライズ入
地上 D BS CS	HDD (1番組録画)	DR 1.5~15倍録	○	○	○※2	○	○	○※2	×
	HDD (2番組録画)		○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	×
	BD	DR	○	×	×※3	×	○	×	×
		1.5~15倍録	○※4	×	×	×	○	×	×
	DVD	1.5~15倍録	○※4	×	×	×	○	×	×
		XP、SP、LP、FR	○※4	×	×	×	○	×	×
USB-HDD	DR 1.5~15倍録	○	○	○	○	○	×	×	
外部入力	HDD	1.5~15倍録	○※4	○	×	○	○	○※5	×
	BD DVD (AVCREC)	1.5~15倍録	○※4	×	×	×	○	×	×
	DVD (VR)	XP、SP、LP、FR	○※4	×	×	×	○	×	×
スカパー! プレミアム サービス CATV (LAN録画)	HDD	—	○	○	×	○	○	○※5	×

●HDDの残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※1 実行できる編集 (→85~87) (録画モード変換はできません)

※2 1.5~15倍録で録画時は、DRモードに切り換えて録画を続けます。(→65「DRモード切り換えについて」)

※3 SDカードのAVCHDは再生できません。

※4 「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D再生できません。

※5 画質変更ダビングはできません。

ダビング中の同時操作

(○：できる ×：できない)

ダビングの種類	視聴	予約録画の 実行	再生					HDD の 編集 ^{※1}
	放送中 の番組		HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
ディスクへ高速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○	○	× ^{※2}	× ^{※2}	× ^{※2}	× ^{※2}	○
ディスクへ画質変更 ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○ ^{※3}	○ ^{※4}	×	×	×	×	○ ^{※4}
ディスクへファイナライズ 入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使って ダビング中	○	○ ^{※5}	○	○	×	○	○	○

※1 実行できる編集 (→85～87) (録画モード変換はできません)

※2 HDD 番組を複製中は、再生できません。(SD カードは除く)

※3 スカパー！プレミアムサービスや CATV の番組の予約録画、外部入力の予約録画は実行できません。

※4 「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

※5 複数の番組の予約録画が始まると、ダビングは中断します。

AV ネットワーク機能の同時操作

(○：できる ×：できない)

本機の操作	クライアント側の操作	
	ビデオを見る	写真を見る
HDD・録画ディスク再生中	○ ^{※6}	○ ^{※6}
DVD ビデオ再生中	○	○
BD ビデオ・AVCHD 再生中	○	×
HDD へ放送番組を 1 番組録画中	○	○
HDD へ放送番組を複数録画中	○ ^{※7}	×
LAN 経由で録画中	×	×
ディスクに高速ダビング中	○ ^{※7}	×
ディスクに画質変更ダビング中	○ ^{※7}	×
アクティブラなどのネットワーク使用中	×	×

●本機の状態によっては AV ネットワーク機能ができない場合があります。

※6 MP4 再生中は AV ネットワーク機能はできません。

※7 本機側で番組の再生が始まると、AV ネットワーク機能はできない場合があります。

こんな表示が出たら

表示文字	調べるところ・原因・対策
	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電や電源コードをコンセントから抜き差ししたあと、点滅します。時刻を合わせてください。 ● デジタル放送が受信できる場合、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。(例: 61 パーセント)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在選んでいるBSデジタル放送のチャンネルです。(例: 101チャンネル)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画モード変換の開始時と終了時に表示します。(電源「入」時のみ) ● USB-HDDの番組の録画モード変換を実行中です。(電源「切」時のみ)
	<ul style="list-style-type: none"> ● オンエアダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などはダウンロードの進行状況です)
	<ul style="list-style-type: none"> ● かんたんダビングや詳細ダビング画面などを表示中です。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● HDMI 認証中です。 表示が切り換わらない場合、本機やテレビ、アンプ(スピーカー)などHDMIで接続している機器の電源を切/入してください。 それでも切り換わらない場合は、HDMIケーブルを抜き差ししてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能一覧画面などを表示中です。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽一覧画面を表示中です。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 宅内ネットワークに接続中です。
	<ul style="list-style-type: none"> ● HDDの録画中などに、本体の[▲ 開/閉]を押したとき、未ファイナライズの[R AVCREC] [R V] [RW V]が入っている場合に表示されます。 ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の場合、[ワンタッチ予約録画 ●]を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中
	<ul style="list-style-type: none"> ● 終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 ● 停電または動作中に電源コードが抜けたことによる復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「新番組おまかせ録画」「おまかせ録画」「ニュース録画」「カテゴリーまとめて予約」以外の予約が128件登録されています。不要な予約を消してください。

本体表示窓

表示文字	調べるところ・原因・対策
	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。本機に対応したディスクをお使いください。
	●録画一覧表示中です。
 1~6のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、 【決定】 を3秒以上押したままにしてください。 ●4～6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。
	●アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。
	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置してください。 ●背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔の周りを空けてください。
	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
	●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB機器接続時に異常が発生しました。接続したUSB機器をいったん本機から外して、接続し直してください。
	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
	●本機が正常に動作しません。本体の 【電源 0/I】 を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
 (数字の00は例です)	●異常が発生しました。(“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります) 本体の 【電源 0/I】 を3秒以上押して電源を切ったあと、再び電源を入れてください。

本体表示窓

- 上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
- 上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」(→186)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

表示マーク一覧

- 本機は表示マーク(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組表



録画予約している番組



「新番組おまかせ録画」で予約された番組



「おまかせ録画」や、「カテゴリまとめて予約」などの自動で予約された番組

予約の実行が「切」になっている場合、上記マークの色はグレーに変わります。

番組内容画面



テレビ放送(映像+音声)の番組



二重音声信号で、「主+副」の音声の番組



データ放送の番組



字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組



番組とは別のデータ放送を行っている番組



有料放送の番組
(放送会社との契約が必要です)



番組内容に関連したデータ放送を行っている番組



視聴年齢制限がある番組
(表示される年齢は4~20才まであります)



「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組



3D 映像の番組
(番組によっては、表示されない場合もあります)



複数の映像または音声(マルチ音声)を含んだ番組



著作権が保護されているため「録画禁止」の番組



モノラル音声の番組



番組の映像信号情報
上:画面の横縦比(16:9、4:3)
下:信号方式
(デジタルハイビジョン放送- 1080i、720p)
(デジタル標準テレビ放送- 480p、480i)



ステレオ放送の番組



5.1ch などのサラウンド放送の番組

予約一覧画面

録画可能

全編の録画が可能な番組

変更可

予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組

番組予約

番組表を使って予約した番組

検索中

時間変更追従を実行中(時間確認中)

時間指定

時間指定予約で予約した番組

曜日指定

曜日指定した毎日・毎週予約のときに表示

毎日

毎週

毎日・毎週予約の番組

月～金

月～土

毎日更新

毎週更新

毎日・毎週予約で自動更新をする番組(前回録画した内容に上書きして録画します)

月～金更新

月～土更新

ニュース予約

ニュース録画で自動的に予約された番組

録画済

1.5～15倍録モードで録画中にDRモードに切り換えて録画した番組(電源「切」時に予約時の録画モードに自動変換します)

番組表を使って毎日・毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけれず、予約を実行した場合にも表示されます。

!

HDDの残量不足や予約の重複などで録画できない場合があるときなどに表示。**【決定】**を押して、予約内容を確認してください。

重複

予約時間が重なっている番組

シリーズ終了

毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。

警告

引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組

新番組

「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組

カテゴリ

「カテゴリまとめて予約」で自動的に予約された番組

注目番組

注目番組一覧から予約した番組

まとめ予約

「注目まとめ予約」で予約した番組

LAN予約

LAN 接続したスカパー! プレミアムサービス対応チューナーやCATVから録画予約した番組

DR切換

1.5～15倍録モードで録画中にDRモードに切り換えて録画している番組

おまかせ予約

「おまかせ録画」で自動的に予約された番組

?

必要なとき

表示マーク一覧 (続き)

予約一覧画面 (続き)



HDD の残量不足で録画できない番組



HDD の番組数がいっぱいで録画できない番組



録画禁止信号により録画が中断された番組



予約の実行が「切」になっている番組



ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組



予約録画が実行されなかった番組



1 か月より先の番組予約です。
1 か月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。



予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組



録画中の番組



HDD がいっぱい録画が中断された番組

録画一覧・ダビング画面



3D 映像の番組(番組によっては、表示されない場合もあります)



1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組



2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組



「おまかせ録画」で録画された番組がまとめられた、まとめ番組



ニュース録画で録画された番組がまとめられた、まとめ番組



書き込み禁止(プロテクト)の設定をした番組



録画したコピー制限のある番組
数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。



ダビングできない番組



録画したコピー制限のある番組
ダビングするとダビング元の番組は消去されます。

以下は録画一覧画面でのみ表示されます。



録画してまだ見ていない番組
●番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は「未視聴」から除外されます。



「新番組おまかせ録画」で録画された番組







「おまかせ録画」で録画された番組




以下は録画一覧画面でのみ表示されます。

 ニュース録画で録画された番組	 HDD に録画中の番組
 録画禁止信号により録画できなかった番組	 HDD にダビング中の番組
 HDDにダビング中の番組や、データが壊れているなど再生できない番組	 HDD に録画・ダビングが終了した番組 (番組の画像は電源「切」時に作成されます)
 録画中の番組	 HDD に代替録画された番組





以下はダビング画面でのみ表示されます。

 DR、1.5～15倍録モードで録画した番組 LAN 経由(スカパー! プレミアムサービス やCATV)で録画した番組 ハイビジョン動画	 ダビングすると移動する番組 (詳細ダビング時)
 静止画を含むもの (HDD に静止画部分はダビングされません)	 1 (数字は 1～99) ダビング登録した番組(かんたんダビ ング時)。数字の小さい番組から順にダビ ングします。

写真一覧画面

 新しく取り込んだ写真	 3D の写真
 書き込み禁止(プロテクト)の設定をした 写真	

持ち出し番組一覧画面

 かんたん転送するように登録されている 番組	 ネット 高画質 ネットワーク経由で持ち出せる高画質 (VGA) の番組
 高画質 SD/USB経由で持ち出せる高画質(VGA) の番組	 1 (赤) 録画したコピー制限のある番組 転送するとHDDの番組は消去されます。



必要に応じて


故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」(→186)にお問い合わせください。

以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音 (ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
 - ・ 電源切 / 入時
 - ・ 番組表データを受信中
 - ・ ソフトウェア更新中
 - ・ 録画中
 - ・ 録画モード変換時、持ち出し番組作成時
 - ・ 「家じゅう録画一覧設定」(→145) の「自動更新」の「入」時
 - ・ 「AV ネットワーク機能」(→145) の「入」時
 - ・ インターネット接続時
 - ・ 予約録画終了時または午前 4 時ごろ (1 週間に 1 回程度) の、本機全体の自動再起動時 (本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています)

本機の操作ができなくなったときは…

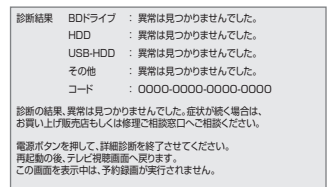
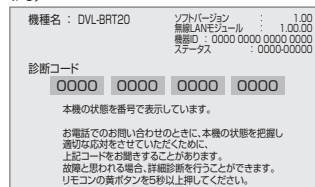
- 各種安全装置が働いていることがあります。
 - ① 本体の [電源 〇/I] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約 3 秒間押ししたままにすると強制的に切れます。
- 
- (それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込む)
- ② 本体の [電源 〇/I] を押し、電源を入れる (起動に時間がかかる場合があります)
- 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく働いていないことがあります。(→164)

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

- ① **【機能一覧】** を押す
- ② 「**全機能から選ぶ**」を選び、**【決定】** を押す
- ③ 「**設定する・その他の機能**」を選び、**【決定】** を押す
- ④ 「**メール / 情報・診断コード**」を選び、**【決定】** を押す
- ⑤ 「**診断コード**」を選び、**【決定】** を押す (例)
- ⑥ **【黄】** を 5 秒以上押す
- ⑦ 「**はい**」を選び、**【決定】** を押す
 - 診断を開始します。

- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。



電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないことがあります。
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の【電源 〇/入】を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源[切]」(→138)やWoooリンクの電源オフ連動(→119)が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に1時間以上操作を行わない場合は、自動的に電源が切れます。

時刻表示が出ない

- 電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下①～③の設定にしてください。
 - ① 「クイックスタート」(→138)を「入」に設定
 - ② 「クイックスタートモード」(→138)を「標準」に設定ただし、「節電待機」(→36)で電源を切ると、時刻は表示されません。

USB-HDDの電源が切れない

- 番組表データを受信中や録画モード変換時など本機が内部で動作しているときは、電源を「切」にしてもUSB-HDDの電源が切れない場合があります。

Woooリンクが働かなくなった

- 本体の【電源 〇/入】を約3秒間押し続けて電源を切り、テレビの主電源を切ったあと、HDMIケーブルを抜き差ししてください。

本体

本機が熱い

- 本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
 - ① 本体の【電源 〇/入】を3秒以上押す
・本体の電源が切れます。
 - ② 【決定】と【青】と【黄】を同時に5秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
 - ③ 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで【▶】を数回押す
 - ④ 【決定】を押す
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

画面表示

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
- 【R】記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。

残量表示が画面によって異なる

- DRモード選択時の残量は、予約確認画面などでは、放送に合わせて17 Mbpsまたは24 Mbpsの転送レートで残量計算しますが、録画一覧などでは、24 Mbpsの転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。
- 選択している録画モードによって、残量表示が異なります。



ボタン操作

リモコンが働かない

- 本体とリモコンのリモコンモード(→146)が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。



表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]**を3秒以上押し続けたままにしてください。

- リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色付きガラスも含む)などはありませんか。
- リモコンでテレビ操作をできない場合は、以下のことを確認してください。
 - ・**[テレビ操作]** が点灯していますか。
 - ・テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(→147)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(→146)

テレビ画面や映像

本機からの映像が映らない

テレビに「信号がありません。」が表示される

- 本体の**[電源 0/I]** を押し、電源を入れてください。
- HDMIケーブルが認識されていない場合があります。本機の電源が「切」の状態、HDMIケーブルを抜き差ししたあと、もう一度本機の電源を入れてください。

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

- アンテナケーブルの接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- [アンテナ電源](→133)**を「入」にしているときはテレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
- [アンテナ出力](→133)**を「入」にしてください。「切」の場合、本機の電源「切」時にBS・110度CSアンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送を視聴できません。
- 一度**[アッテネーター](→136)**の設定を切り換えてみてください。
- [節電待機](→36)**で電源「切」時は、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなる場合があります。本機を経由させずにアンテナケーブルをテレビに接続すると、改善することができます。(→20)

アンテナレベルが改善して、テレビの映りが良くなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

- [かんたん設置設定](→133)**をやり直してください。

表示していた画面が消える

- [テレビ画面の焼き付き低減機能](→142)**が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

再生時の映像に残像が多い

- 「ノイズ低減」(→83)の各項目を「0」にしてください。

映像が映らない 映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(→14～25)
- 以下の場合、故障ではありません。
 - ・気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
 - ・BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
 - ・3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
 - ・HDCP (不正コピー防止技術) 非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP 対応機器でも接続した機器 (パソコンのディスプレイなど) によって正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
 - ・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
 - 「24p 出力」(→143) が「オート」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
 - 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
 - ・「24p/30p 変換出力」(→83) の設定を変更したとき
 - ・「Deep Color 出力」(→143) もしくは「コンテンツタイプフラグ」(→143) を「切」にしてください。
- テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
接続するテレビの HDMI 端子を他の HDMI 端子に変更すると改善される場合があります。
- 4K 出力時、HDMI ケーブルによっては映像が乱れる場合があります。4K 出力対応の HDMI ケーブルをお使いください。

音声

音声が切り換えられない

- 接続機器の設定を確認してください。
- 以下の場合、音声の切り換えはできません。
 - ・マルチ音声の番組を **RAM VR** **-R VR** **-RW VR** に XP、SP、LP、FR モードで予約録画する
- マルチ音声は、テレビやアンプ側で切り換えることができません。本機で切り換えてください。
- [MP4]** 音声の切り換えはできません。
- ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

デジタル放送

地上デジタル放送が受信できない

- 「受信アンテナ設定」(→136)でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
映像が不安定になったり、アンテナレベルが不足している場合は、以下をお試しください。
 - ・「アッテネーター」(→136) の設定を切り換える。
 - ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す。
- 集合住宅の共聴システムや CATV の場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約の CATV 会社にお問い合わせください。
- 受信環境に問題がある可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- チャンネル設定を行っていますか。「かんたん設置設定」(→133)もしくは「チャンネル設定」(→137)を行ってください。

BS・110度CS デジタル放送が受信できない 映像や音が出ない、または映りが悪くなった

- BS・110度CS デジタル放送に対応したアンテナやアンテナケーブル、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来の BS アンテナでは受信できない場合があります。
- 「受信アンテナ設定」(→136)でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
- BS・110度CS デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、画質、音質が少し悪くなる場合があります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
- 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。
- アンテナへの電源供給が必要です。
 - ・「アンテナ電源」(→136) を「入」にしてください。
 - ・分配器は全端子電流通過型をご使用ください。

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止(プロテクト)の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください。
- [R]** 記録後、ディスクの出し入れや電源の切/入を30回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外のDVDレコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。

記録したディスクが他機器で再生できない

- 再生機器がディスクの再生に対応している必要があります。(→29)
- ディスクによってはファイナライズが必要です。(→30、130)

録画

録画できない

- 以下の場合、録画できません。本体前面の“録画”ランプが点滅します。
 - ・アンテナが抜けている、または電波が弱い
 - ・B-CASカードが抜けている
 - ・HDDの残量がない
- ディスクやUSB-HDDには**[ワンタッチ予約録画●]**を押しても、録画できません。予約録画のみ可能です。
- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に載せている場合、録画できないことがあります。

予約録画ができなかった

- HDDの残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。予約内容を確認してください。(→56)

ディスクに予約録画ができない

- ディスクに予約録画する場合、予約時の詳細設定で録画先を「BD」にしてください。
- 以下の場合、ディスクに予約録画できません。
 - ・**[BD-RE]** **[BD-R]** にXP、SP、LP、FRモードで予約
 - ・**[RAM AVCREC]** **[R AVCREC]** にDR、XP、SP、LP、FRモードで予約
 - ・**[RAM VR]** **[R VR]** **[RW VR]** にDR、1.5～15倍録モードで予約
 - ・**[R V]** **[RW V]** のディスク
 - ・未フォーマットのディスク
 - ・CPRM非対応のDVD
 - ・誤消去防止(プロテクト)の設定がされたディスク

番組追従機能が働かない

- 時間指定予約では働きません。
- 放送開始時刻または終了時刻に3時間以上の変更があった番組には働きません。
- 毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。
- LAN経由(スカパー!プレミアムサービスやCATV)で録画した場合、チューナーによっては、正しく働かない場合があります。また、「節電待機」(→36)で電源を「切」にしているときも、正しく働かない場合があります。

「契約期限が切れています。予約できません。(8902)」の表示が出て予約録画ができない

- 有料放送で契約が有効な B-CAS カードが挿入されているか確認してください。
- 契約にかかわらず期間限定でお試し視聴できる有料放送局があります。そういった放送局の場合、一度その放送局を視聴するとメッセージが消えて予約録画ができることがあります。

スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV から LAN 接続で予約録画ができない

- ネットワークの接続や設定を確認し、接続されていない場合はかんたんネットワーク設定を行ってください。(→26)
- 「AV ネットワーク機能」(→145)が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

再生

再生できない

- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に載せている場合、再生できないことがあります。

ディスクが再生できない

- ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。
- BD-V** 画面に「バージョンアップしてください。」が表示されている場合、ディスクが認識されていない可能性があります。

BD ビデオや DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい

- 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
 - ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に 5 秒以上押す (本体表示窓に“00 RET”が表示されます)
 - ② 本体表示窓に“03 VL”が表示されるまで **▶** を数回押す
 - ③ **【決定】** を押す

撮影動画の映像が乱れたり、正しく再生されない

- MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- 2 倍速対応以下の DVD に記録された高画質(転送レート約 18 Mbps 以上)の動画は正しく再生されません。

HDD に取り込んだ撮影動画が見つからない

- 以下の場合は、録画一覧(→79)で再生してください。
 - ・**AVCHD** を取り込んだ場合
 - ・**MP4** (4K 以外) : 「MP4 の取り込み設定」(→140) を「変換取込」にして取り込んだ場合
- 以下の場合は、機能一覧画面の「動画(MP4) / 撮影ビデオを再生する」から「動画ファイル(MP4)を再生する」を選んで再生してください。(→79)
 - ・**MP4** (4K) を取り込んだ場合
 - ・**MP4** (4K 以外) : 「MP4 の取り込み設定」(→140) を「ファイル取込」にして取り込んだ場合

ダビング

ディスクにダビングできない

- チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
- [R V]** **[RW V]** へのダビング時、HDD の残量が少ないときはダビングできません。HDD の不要な番組を消去してください。
(使用するディスクによっては、HDD の残量が 5 倍録モードで最大 4 時間必要な場合があります)
- 高画質(転送レート約 18 Mbps以上)の動画を、2 倍速対応以下の DVD に取り込むことはできません。
- 4時間以上の番組をDVDにダビングする場合、4時間未満に番組分割(→87)してダビングしてください。

HDD にダビングできない

- [BD-RE]** **[BD-R]** ディスクの汚れや劣化によって、ダビングを中断する場合があります。「ムーブバックエラー制御」(→140)を「継続」にすると、ダビングを実行することができます。ただし、ダビング後の番組が再生できない、または映像や音声がかかる場合があります。
- 以下の番組は、**[BD-RE]** **[BD-R]** からHDDにダビングできません。
 - ・ディスク内で番組分割した番組
 - ・ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集した番組
 - ・ファイナライズしたディスクの番組
 - ・録画時間が 8 時間を超える番組
- 市販やレンタルの DVD などコピー禁止処理された映像はダビングできません。

スカパー! プレミアムサービス対応チューナーやCATV、テレビ(Wooo)からLAN接続でダビングができない

- ネットワークの接続や設定を確認してください。
- 「AVネットワーク機能」(→145)が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

お引越しダビングができない

- お引越しダビングを使うためには、お引越し元の機器と、お引越し先の機器を同じネットワークに接続する必要があります。接続機器をネットワークに接続する方法および設定方法は、お使いの機器の説明書をご覧ください。

ビデオカメラ

撮影した動画がSDカードからダビングできない

- 本機の電源を切ってから SD カードを入れ直してください。
- パソコンで編集した SD カードは使用できない場合があります。
- [MP4]** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 本機では SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画はダビングできません。
- 本機に対応していないSDカードは使用できません。本機で使える SD カード(→32)を確認してください。

撮影した動画が USB 接続でダビングできない

- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB接続が正しく認識しない(USB機器画面が表示されない)場合は、USB接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- [MP4]** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 本機では SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画はダビングできません。

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
- ブロードバンドルーターのリセットを行ってみてください。

AV ネットワーク・インターネット接続が不安定になる

- 無線 LAN をご使用の場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。
USB-HDD の設置については「市販の USB ハードディスク(USB-HDD)について」(→33)のお知らせをご覧ください。

AV ネットワーク機能

再生できない

- 別室のテレビなどで見る(本機をサーバーとして使用する)場合：
 - ・接続や設定を確認してください。
 - ・「機器一覧」(→149)で、再生する機器が「許可」になっていますか。
 - ・再生する機器によっては、録画中の番組や 1.5 ～ 15 倍録モードの番組、スカパー！プレミアムサービスの番組、ハイビジョン動画は再生できません。
 - ・「節電待機」(→36)で電源を「切」にしているときは、再生できません。
- 別室の機器の映像を見る(本機をクライアントとして使用する)場合：
 - ・接続した機器側で本機が登録されていますか。
 - ・すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。
- 他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

再生できない、映像が途切れる(無線接続時)

- 802.11ac または 802.11n(2.4 GHz/5 GHz 同時使用可)の無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。
また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 無線設定(→144)の画面で「電波状態」のインジケータが 4 つ以上(受信レベル 30 以上)点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定を再度行ってください。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 19 W

待機時（クイックスタート「切」／節電待機「モード2」）：

時刻表示消灯時・約 0.01 W^{*1*2}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

時刻表示消灯時・約 3.3 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

時刻表示点灯時・約 4.9 W^{*1*3}

- ※ 1・地上デジタルアッテネーター：「入」
- ・BS・110度CS デジタルアンテナ電源：「切」
 - ・BS・110度CS デジタルアンテナ出力：「切」
 - ・外部接続端子（LAN、USB）：未接続
 - ・無線LAN：未接続
- ※ 2・節電待機「モード1」の数値は、お客様の設定により変わります。
- ※ 3・HDMI出力解像度：1080i
- 待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力量	
区分名 ^{*4}	—
年間消費電力量 (表示値はJEITA基準による算出式を基に算出した参考値です)	18.0 kWh/年
省エネ基準達成率 ^{*4}	—

※ 4 ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分／省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。

■本体

寸法：

幅 430 mm×高さ 41.5 mm×奥行き 179 mm (突起部含まず)

幅 430 mm×高さ 41.5 mm×奥行き 189 mm (突起部含む)

質量：約 2.1 kg

許容周囲温度：5℃～40℃

許容相対湿度：10%～80%RH（結露なきこと）

■テレビジョン方式

映像：

デジタルハイビジョン：

地上デジタル放送方式（日本）

衛星デジタル放送方式（日本）

アンテナ受信入力：

地上デジタル入力：

90 MHz～770 MHz 75 Ω (VHF：1～12 CH、

UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH)

BS・110度CSデジタル-IF入力：

1032 MHz～2071 MHz (IF入力周波数) 75 Ω

電源供給：DC 15 V、最大4 W

■入出力端子（映像・音声を除く）

SDメモリーカードスロット：1系統

LAN端子：1系統（10BASE-T/100BASE-TX）

USB端子【ハイスピードUSB（USB2.0）対応】：

前面1系統（DC 5 V 最大 500 mA）

USB端子（USBハードディスク録画用）

【スーパースピードUSB（USB3.0）対応】：

背面1系統、HDD対応（DC 5 V 最大 900 mA）

■映像

記録圧縮方式：

MPEG-2（Hybrid VBR）、MPEG-4 AVC/H.264

映像入力：

入力端子：1系統（ピンジャック）

入力レベル：1.0 Vp-p 75 Ω

HDMI映像・音声出力：

出力端子：1系統（19ピン typeA 端子）

480/60p、1080/60i・60p・24p

4K/30p・24p（4Kの解像度は3840×2160）

■音声

記録方式：

MPEG-2 AAC：最大5.1ch記録

Dolby Digital：2ch記録

アナログ入力：

入力端子：2ch入力、1系統（ピンジャック）

入力レベル：

基準入力：309 mVrms

FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB）

入力インピーダンス：22 kΩ

デジタル出力：

HDMI映像・音声出力端子：1系統

■SD部

対応カード：

SDカード：FAT12/FAT16

SDHCカード：FAT32

SDXCカード：exFAT

■USB部

USB機器：

対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

USB-HDD：

USB3.0/USB2.0（160 GB以上3 TB以下）

●登録可能台数：最大8台まで（同時接続台数は1台のみ）

■ 写真

画素数：

34 × 34 ~ 8192 × 8192
サブサンプリング：4 : 2 : 2、4 : 2 : 0

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、BD-R、DVD-RAM、SD カード

再生のみ可能メディア：

DVD-R*、DVD-R DL*、DVD-RW*、+R*、+R DL*、
+RW*、CD-R、CD-RW、USB

※ JPEG のみ記録されたディスク
記録された機器でファイナライズ必要

ファイル方式：

- JPEG：ベースライン方式（DCF 準拠）
 - ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ）
 - ・MOTION JPEG 非対応
- MPO：マルチピクチャーフォーマット（MPF 準拠）
 - ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

フォルダ数：

BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、
DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R、CD-RW、SD カード、
USB：最大 500
・最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数（ルートもフォルダとして数える）

ファイル数：

- HDD：最大 20000（ファイル共有領域は最大 60000 ファイルまで記録可能）
- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R、CD-RW、SD カード、
USB：最大 10000
・最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数（JPEG と MPO のファイル合計）

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

対応フォーマット：ISO9660 level1 と 2（拡張フォーマットは除く）、Joliet 対応
マルチセッション：対応
パケットライト方式：非対応

■ AVCHD 動画

ファイル形式：AVCHD 規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

■ MP4 動画

ファイル形式：MP4 ファイルフォーマット

・ファイル名の拡張子に「MP4」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

ビデオ圧縮方式：

- MPEG-4 AVC/H.264：High profile 5.1 以下
- ビットレート：100 Mbps 以下
- 解像度 / フレームレート：1920 × 1080/120p、
3840 × 2160/30p、4096 × 2160/24p まで

音声圧縮方式：

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数：8 kHz ~ 48 kHz

チャンネル数：1 または 2

- ファイルの内容によっては、再生、ダビングができない場合があります。
- 音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出力できない場合があります。

対応メディア：

取り込み・バックアップ対応メディア：BD-RE、BD-R、
SD カード
取り込みのみ対応メディア：USB

■ 持ち出し動画

ファイル形式 / 画質：

SD VIDEO 規格 (H.264 Mobile Video Profile) 準拠 /
640 × 360 30 fps (1.5 Mbps、1.0 Mbps)

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

・最大記録時間：8 時間（1 番組当たり）

■ 音楽 CD

再生対応メディア：CD-Audio、CD-R、CD-RW

再生可能なファイル形式：CD-DA

■ 音楽ファイル

対応メディア：

取り込み・バックアップ対応メディア：BD-RE、BD-R
取り込みのみ対応メディア：CD-Audio、CD-R、CD-RW

再生可能なファイル形式：

- ・WAV (.wav) 最大 192 kHz、32 bit、2ch
 - ・FLAC (.flac) 最大 192 kHz、24 bit、2ch/5.1ch
 - ・AAC (.m4a) 最大 48 kHz、320 kbps、2ch
 - ・MP3 (.mp3) 最大 48 kHz、320 kbps、2ch
 - ・DSD (.dsf/.dff) 2.8 MHz(2ch/5.1ch)、5.6 MHz(2chのみ)
 - ・ALAC (.m4a) 最大 192 kHz、32 bit、2ch/5.1ch
- 対応しているデータ形式や周波数であっても、データによっては再生できないことがあります。音楽のクライアント再生は、上記ファイル形式を再生できます。

■ 内蔵無線 LAN モジュール

規格：

IEEE802.11n / IEEE802.11a /
IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠
・従来の 11a（J52）のみの対応機器とは接続できません。
ARIB STD-T71（5 GHz 帯）、ARIB STD-T66（2.4 GHz 帯）
（5 GHz 帯は屋内使用限定）

セキュリティー：

WPA™ / WPA2™
（暗号化方式：TKIP / AES、認証方式：PSK）
WEP（64 bit / 128 bit）

DCF 準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したフォーマットが使用できます。

DCF：Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格]



仕様 (続き)

■録画モードと記録時間の目安

録画モード			ディスク	BD-RE、BD-R				
			内蔵HDD (1 TB)	128 GB (片面4層)	100 GB (片面3層)	50 GB (片面2層)	25 GB (片面1層)	
放送 画質	DR	BS デジタル	HD放送 (≤ 24 Mbps)	約 90 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分
			SD放送 (≤ 12 Mbps)	約 180 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
		地上 デジタル	HD放送 (≤ 17 Mbps)	約 127 時間	約 15 時間 30 分	約 12 時間	約 6 時間	約 3 時間
ハイ ビジョン 画質	1.5 倍録			約 135 時間	約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分
	1.6 倍録			約 144 時間	約 17 時間 55 分	約 14 時間	約 7 時間	約 3 時間 30 分
	1.8 倍録			約 162 時間	約 20 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間
	2 倍録 (HG)			約 180 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
	2.3 倍録			約 207 時間	約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間
	2.5 倍録			約 225 時間	約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分
	2.7 倍録			約 243 時間	約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間
	3 倍録 (HX)			約 270 時間	約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分
	3.5 倍録			約 315 時間	約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分
	4 倍録 (HE)			約 360 時間	約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
	4.5 倍録			約 405 時間	約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分
	5 倍録 (HL)			約 450 時間	約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分
	5.5 倍録			約 495 時間	約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間
	6 倍録			約 540 時間	約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間
	7 倍録			約 630 時間	約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分
8 倍録 (HM)			約 720 時間	約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	
9 倍録			約 810 時間	約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分	
10 倍録			約 900 時間	約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	
11 倍録			約 990 時間	約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分	
12 倍録			約 1080 時間	約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間	
15 倍録 (HZ)			約 1350 時間	約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分	
DVD 画質	XP		本機では録画できません					
	SP							
	LP							

128 GB(片面4層)はBD-Rのみ。2017年8月現在、BD-R(128 GB:片面4層)は発売されていません。

ディスク		DVD-RAM DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)	DVD-RW (4.7 GB)
ハイビジョン画質	録画モード			
	1.5倍録	約36分	約1時間7分	本機では録画できません
	1.6倍録	約39分	約1時間12分	
	1.8倍録	約44分	約1時間21分	
	2倍録 (HG)	約48分	約1時間30分	
	2.3倍録	約56分	約1時間43分	
	2.5倍録	約1時間	約1時間52分	
	2.7倍録	約1時間5分	約2時間1分	
	3倍録 (HX)	約1時間12分	約2時間15分	
	3.5倍録	約1時間24分	約2時間37分	
	4倍録 (HE)	約1時間36分	約3時間	
	4.5倍録	約1時間48分	約3時間22分	
	5倍録 (HL)	約2時間	約3時間45分	
	5.5倍録	約2時間12分	約4時間7分	
	6倍録	約2時間24分	約4時間30分	
	7倍録	約2時間48分	約5時間15分	
	8倍録 (HM)	約3時間12分	約6時間	
	9倍録	約3時間36分	約6時間45分	
10倍録	約4時間	約7時間30分		
11倍録	約4時間24分	約8時間15分		
12倍録	約4時間48分	約9時間		
15倍録 (HZ)	約6時間	約11時間15分		
DVD画質	XP	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約7時間10分	約4時間

お知らせ

- **HDD** 持ち出し番組や写真を記録している場合は、記録できる時間は少なくなります。
- 15倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の1.3倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（**HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC** では、特にその差が著しくなります）
- DRモードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を17Mbps、BSデジタル放送を24Mbpsで録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱい記録することができない場合があります。
- 録画モードに記載されているHG、HX、HE、HL、HM、HZの表記は、従来録画機の録画モードとの目安です。



仕様 (続き)

■記録できる最大番組数 (使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります)

- **HDD** : 3000 (持ち出し番組を含む。長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)
- **BD-RE**^{*1} **BD-R**^{*1} **RAM AVCREC** **-R AVCREC** : 200
- **RAM VR** **-R VR** **-R V** **-RW VR** **-RW V** : 99
- **USB-HDD** : 3000 (撮影ビデオは記録できません)
※ 1 25 GB、50 GB、100 GB、128 GB 共通

■予約可能番組数

128 (予約可能期間 : 1 年間)

■スカパー！プレミアムサービスの番組記録時間の目安

録画番組	HDD
スカパー！プレミアムサービスのハイビジョン画質の番組	約 234 時間 (約 127 ~ 293 時間)
スカパー！プレミアムサービスの標準画質の番組	約 400 時間 (約 254 ~ 770 時間)

●録画する番組によって記録できる時間は変動します。() は変動する記録時間の目安です。

■最大チャプターマーク数 (記録状態により少なくなる場合があります。自動的に作成されるチャプターマークを含む)

- **HDD** **USB-HDD** : 1 番組当たり約 999 個
- **BD-RE**^{*2} **BD-R**^{*2} **RAM AVCREC** **-R AVCREC** : 1 ディスク当たり約 1000 個
- **RAM VR** **-R VR** **-RW VR** : 1 ディスク当たり約 999 個
- **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC** : 1 番組当たり約 100 個
※ 2 BDXL 以外のディスクのみ

■持ち出し番組の記録可能時間の目安

容量	画質	VGA (1.0 Mbps)	VGA (1.5 Mbps)
	4 GB	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
16 GB	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分	
64 GB	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分	
128 GB	約 252 時間 1 分	約 174 時間 39 分	

主な記憶容量のみ記載しています。

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

- 最大番組数 : 99

■ デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch (チャンネル数) は最大チャンネル数を表示]

接続端子	HDMI 端子			
	Bitstream ^{*1}		PCM	
「デジタル出力」の設定				
「BD ビデオ副音声・操作音」の設定 ^{*2}	入 ^{*3}	切	入	切
Dolby Digital Dolby Digital EX	Dolby Digital	オリジナルの 音声で出力	ダウンミックス 2ch	
Dolby Digital Plus Dolby TrueHD				
DTS Digital Surround™ DTS Digital Surround ES™	DTS Digital Surround™			
DTS-HD High Resolution Audio™				
DTS-HD Master Audio™				
7.1ch LPCM	7.1ch PCM			

- ※1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround™ の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM (例：テレビなど) で出力します。
- ※2 「BD ビデオ副音声・操作音」(→141) を「自動切換」に設定すると、Dolby D+、Dolby TrueHD、DTS-HD に対応した HDMI 機器を接続している場合には、オリジナルの音声を優先して出力します。
- ※3 **BD-V** 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(→141) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

■ 4K 出力のためのお勧めの設定と出力映像信号

本機を 4K 対応テレビに接続して、本機の再生設定を下記表の設定にすると、本機から 4K 映像を出力することが可能になります。
(4K アップコンバート出力)
(テレビ放送視聴映像は 4K 出力できません)

接続する テレビの種類	再生素材		本機のお勧め設定		本機から出力される映像信号	
			初期設定/ リモコン設定 ^{*4} 「24p 出力」 (→143)	再生設定 「24p/30p 変換出力」 (→83)	解像度	フレームレート
4K 対応テレビ	BD-V	24p	オート	—	4K	24p 30p
	BD-V / 録画番組	60i	—	24p ^{*5}		
			—	30p ^{*6}		

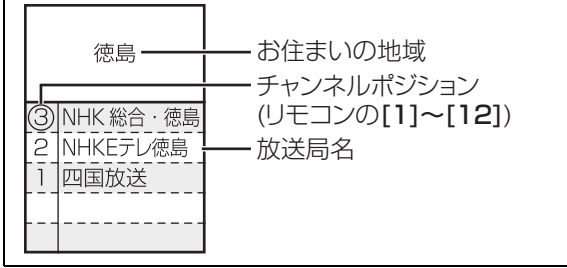
- ※4 その他の初期設定値 (お買い上げ時の設定)
・「出力解像度」(→143) : 「オート」
・「カラースペース」(→143) : 「YCbCr (4:4:4)」
- ※5 1 秒当たり 24 コマの映画素材以外の場合、映像の動きが滑らかではなくなることがあります。
- ※6 1 秒当たり 30 コマの素材以外の場合、映像の動きが滑らかではなくなることがあります。

地上デジタル放送チャンネル一覧表 (地域名入力)

●「かんたん設置設定」で選択された地域の放送局とチャンネルポジション(リモコンの[1]～[12])の組み合わせは下表のようになります。他地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)	北海道(室蘭)
放送局名	3 NHK総合・札幌 2 NHKEテレ札幌 1 HBC札幌 5 STV札幌 6 HTB札幌 8 UHB札幌 7 TVH札幌	3 NHK総合・函館 2 NHKEテレ函館 1 HBC函館 5 STV函館 6 HTB函館 8 UHB函館 7 TVH函館	3 NHK総合・旭川 2 NHKEテレ旭川 1 HBC旭川 5 STV旭川 6 HTB旭川 8 UHB旭川 7 TVH旭川	3 NHK総合・帯広 2 NHKEテレ帯広 1 HBC帯広 5 STV帯広 6 HTB帯広 8 UHB帯広 7 TVH帯広	3 NHK総合・釧路 2 NHKEテレ釧路 1 HBC釧路 5 STV釧路 6 HTB釧路 8 UHB釧路 7 TVH釧路	3 NHK総合・北見 2 NHKEテレ北見 1 HBC北見 5 STV北見 6 HTB北見 8 UHB北見 7 TVH北見	3 NHK総合・室蘭 2 NHKEテレ室蘭 1 HBC室蘭 5 STV室蘭 6 HTB室蘭 8 UHB室蘭 7 TVH室蘭
お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
放送局名	3 NHK総合・仙台 2 NHKEテレ仙台 1 TBCテレビ 8 仙台放送 4 ミヤギテレビ 5 KHB 東日本放送	1 NHK総合・秋田 2 NHKEテレ秋田 4 ABS 秋田放送 8 AKT 秋田テレビ 5 AAB 秋田朝日放送	1 NHK総合・山形 2 NHKEテレ山形 4 YBC 山形放送 5 YTS 山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合・盛岡 2 NHKEテレ盛岡 6 IBCテレビ 4 テレビ岩手 8 めんこいテレビ 5 岩手朝日テレビ	1 NHK総合・福島 2 NHKEテレ福島 8 福島テレビ 4 福島中央テレビ 5 KFB 福島放送 6 テレビユー福島	3 NHK総合・青森 2 NHKEテレ青森 1 RAB 青森放送 6 ATV 青森テレビ 5 青森朝日放送	1 NHK総合・東京 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 t v k 12 放送大学
お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
放送局名	1 NHK総合・東京 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 t v k 12 放送大学	1 NHK総合・前橋 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 群馬テレビ 12 放送大学	1 NHK総合・水戸 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 日本テレビ 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 千葉テレビ 12 放送大学	1 NHK総合・宇都宮 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 とちぎテレビ 12 放送大学	1 NHK総合・東京 2 NHKEテレ東京 4 日本テレビ 6 TBS 8 フジテレビジョン 5 テレビ朝日 7 テレビ東京 3 テレビ玉 12 放送大学	1 NHK総合・長野 2 NHKEテレ長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC 信越放送 8 NBS 長野放送
お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
放送局名	1 NHK総合・新潟 2 NHKEテレ新潟 6 BSN 8 NST 4 TeNY 5 新潟テレビ21	1 NHK総合・甲府 2 NHKEテレ甲府 4 YBS 山梨放送 6 UTY	1 NHK総合・大阪 2 NHKEテレ大阪 4 MBS 毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 7 テレビ大阪	1 NHK総合・京都 2 NHKEテレ大阪 4 MBS 毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 5 KBS 京都	1 NHK総合・神戸 2 NHKEテレ大阪 4 MBS 毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 3 サンテレビ	1 NHK総合・和歌山 2 NHKEテレ大阪 4 MBS 毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 5 テレビ和歌山	1 NHK総合・奈良 2 NHKEテレ大阪 4 MBS 毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 9 奈良テレビ
お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
放送局名	1 NHK総合・大津 2 NHKEテレ大阪 4 MBS 毎日放送 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 3 BBCびわ湖放送	1 NHK総合・広島 2 NHKEテレ広島 3 RCC テレビ 4 広島テレビ 5 広島ホームテレビ 8 TSS	1 NHK総合・岡山 2 NHKEテレ岡山 4 RNC 西日本テレビ 5 KSB 瀬戸内海放送 6 RSK テレビ 7 TSC テレビせとうち 8 OHK テレビ	1 NHK総合・高松 2 NHKEテレ高松 4 RNC 西日本テレビ 5 KSB 瀬戸内海放送 6 RSK テレビ 7 TSC テレビせとうち 8 OHK テレビ	3 NHK総合・松江 2 NHKEテレ松江 8 山陰中央テレビ 6 BSS テレビ 1 日本海テレビ	3 NHK総合・鳥取 2 NHKEテレ鳥取 8 山陰中央テレビ 6 BSS テレビ 1 日本海テレビ	1 NHK総合・山口 2 NHKEテレ山口 4 KRY 山口放送 3 tys テレビ山口 5 yab 山口朝日

表の見方



(2017年8月現在)

お住まいの地域	愛知	三重	岐阜	石川	静岡	福井	富山
放送局名	3 NHK総合・名古屋 2 NHKEテレ名古屋 1 東海テレビ 5 CBCテレビ 6 メ〜テレ 4 中京テレビ 10 テレビ愛知	3 NHK総合・津 2 NHKEテレ名古屋 1 東海テレビ 5 CBCテレビ 6 メ〜テレ 4 中京テレビ 7 三重テレビ	3 NHK総合・岐阜 2 NHKEテレ名古屋 1 東海テレビ 5 CBCテレビ 6 メ〜テレ 4 中京テレビ 8 ぎふチャン	1 NHK総合・金沢 2 NHKEテレ金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ	1 NHK総合・静岡 2 NHKEテレ静岡 6 SBS 8 テレビ静岡 4 だいいちテレビ 5 静岡朝日テレビ	1 NHK総合・福井 2 NHKEテレ福井 7 FBC 8 福井テレビ	3 NHK総合・富山 2 NHKEテレ富山 1 KNB北日本放送 8 BBT富山テレビ 6 チューリップテレビ
お住まいの地域	愛媛	徳島	高知	福岡	熊本	長崎	鹿児島
放送局名	1 NHK総合・松山 2 NHKEテレ松山 4 南海放送 5 愛媛朝日 6 あいテレビ 8 テレビ愛媛	3 NHK総合・徳島 2 NHKEテレ徳島 1 四国放送	1 NHK総合・高知 2 NHKEテレ高知 4 高知放送 6 テレビ高知 8 さんさんテレビ	3 NHK総合・福岡 2 NHKEテレ福岡 1 NHKEテレ北九州 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合・熊本 2 NHKEテレ熊本 3 RKK熊本放送 8 TKUテレビ熊本 4 KKTくまもと県民 5 KAB熊本朝日放送	1 NHK総合・長崎 2 NHKEテレ長崎 3 NBC長崎放送 8 KTNテレビ長崎 5 NCC長崎文化放送 4 NIB長崎国際テレビ	3 NHK総合・鹿児島 2 NHKEテレ鹿児島 1 MBC南日本放送 8 KTS鹿児島テレビ 5 KKB鹿児島放送 4 KYT鹿児島読売TV
お住まいの地域	宮崎	大分	佐賀	沖縄			
放送局名	1 NHK総合・宮崎 2 NHKEテレ宮崎 6 MRT宮崎放送 3 UMKテレビ宮崎	1 NHK総合・大分 2 NHKEテレ大分 3 OBS大分放送 4 TOSテレビ大分 5 OAB大分朝日放送	1 NHK総合・佐賀 2 NHKEテレ佐賀 3 STSサガテレビ	1 NHK総合・沖縄 2 NHKEテレ沖縄 3 RBCテレビ 5 QAB琉球朝日放送 8 沖縄テレビ(OTV)			

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 TiVo Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 TiVo Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSの特許については、<http://patents.dts.com> をご参照ください。DTS Licensing Limited からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマークおよび DTS とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS 2.0+Digital Out は DTS, Inc. の商標です。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
-  マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラの商標または登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2017
- “AVCHD”、“AVCHD 3D”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD 3D/Progressive”はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンス株式会社の商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。
- FLAC のソフトウェアライセンス文は、[機能一覧] ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する・その他の機能” → “メール／情報・診断コード” → “メール／情報” → “ID表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して（以下、VC-1 ビデオ）記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号 および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[機能一覧] ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する・その他の機能” → “メール／情報・診断コード” → “メール／情報” → “ID表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能（かな漢字変換や番組の検索等を含む）の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することがあります。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2017年8月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。



放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- アクトビラなどのインターネットサービス
- 番組表表示や、1か月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (2) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (3) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
- (4) その他第三者により開発され、利用許諾されるソフトウェア
上記 (1) ~ (3) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
<https://panasonic.net/cns/oss/diga/JPRCP16D.html>

This product incorporates the following software:

- (1) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2.0 (GPL V2.0),
- (2) the software licensed under the GNU LESSER General Public License, Version 2.1 (LGPL V2.1), and/or
- (3) open source software other than the software licensed under the GPL V2.0 and/or LGPL V2.1.
- (4) software developed by the third parties and available.

The software categorized as (1)-(3) are distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Please refer to the detailed terms and conditions thereof shown in the Player Settings menu.

The source code and the copyright notice are also available for free in our website below.

<https://panasonic.net/cns/oss/diga/JPRCP16D.html>

(1)MS/PlayReady/Final Product Labeling

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

(2)MS/PlayReady/End User Notices

Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。

英数字	ページ
■ AVCHD	
再生する	78
取り込む	102
■ AV ネットワーク機能	
設定する	149
操作する	121
■ B-CASカード	
挿入する	14
番号を見る	132
■ BD-Live	77
BD-Live インターネット接続	139
■ CATV	
接続する	18
録画する	67
■ DNS-IP 自動取得	144
■ DR モード切り換えについて	65
■ HDD	
取り扱い	152
フォーマット	141
■ HDMI	
アンプと接続	21
設定する (「HDMI接続設定」)	143
テレビと接続	16
■ IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定	144
■ Irシステム	
Irシステムを使ってタイマー予約する	68
■ MP4	
書き出す	127
再生する	78、79
取り込む	102
■ SDカード	32
入れ方/出し方	10
フォーマット	128
プロテクト (書き込み禁止)	32
■ U30	157
■ USB-HDD	
接続する	33
フォーマットする	34
■ USB 機器	32
■ Wooo リンク	119
■ 10 秒戻し	80
■ 24p 出力	83、143
■ 30p 出力	83
■ 30秒送り	80

■ 3D	
3D 再生時の注意表示	142
3D ディスクの再生方法	139
3D 方式設定	142
再生する (映像)	77
再生する (写真)	107
■ 4K アップコンバート出力	175
■ 4K 出力	83、143、175
■ 4K 動画	
再生	78
保存	102

あ 行	ページ
■ アクトビラ	120
■ 暗証番号	
BD-Video の視聴可能年齢	139
DVD-Video の視聴制限	139
HDD 番組の視聴制限	141
視聴制限 (番組)	134
■ アンテナ	
アンテナ電源	136
アンテナの調整 (アンテナレベル)	135
接続する	15
■ 一括ダビング	99
■ 枝番号	42
■ お好みチャンネル	41
■ 追っかけ再生	74
■ お手入れ	151
■ おまかせ録画	57
■ 音楽	
再生する (CD)	111
■ 音質効果	84
■ 音声	
音質効果を設定する	84
音声言語を切り換える (音声情報)	82
音声を切り換える (再生時)	81
音声を切り換える (受信時)	41
外部入力から録画する (「外部入力音声設定」)	140
記録する音声 (主/副) を選ぶ (「二重音声記録時の音声選択」)	140
■ 音声ガイドの設定	138

か 行	ページ
■ 画質変更ダビング.....	91
■ カテゴリまとめて予約.....	59
■ かんたん設置設定.....	26
■ かんたんダビング.....	92
■ かんたん転送.....	117
■ かんたんネットワーク設定.....	26
■ 機能一覧画面.....	37
■ 記録方式.....	29
■ クイックスタート.....	138
■ ケーブルテレビ (CATV)	
接続する.....	18
録画する.....	67
■ 検索する.....	51、52
■ 高速ダビング	
高速ダビング速度.....	140
■ 個人情報リセット.....	134
■ コマ送り/コマ戻し.....	80

さ 行	ページ
■ サーチ.....	80
■ 最新ニュース.....	62
■ 再生する	
BDビデオ、DVDビデオ (市販またはレンタル).....	77
音楽 (CD).....	111
撮影ビデオ (AVCHD、MP4).....	78
写真.....	107
スライドショー.....	108
番組.....	74
プレイリスト.....	74
■ 再生設定.....	82
■ 再生中番組の保存.....	97
■ 再生メニュー.....	76
■ 撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	
再生する.....	78
取り込む.....	102

■ サブメニュー	
かんたんダビング.....	93
写真一覧.....	108
番組表.....	45
持ち出し番組一覧.....	117
録画一覧 (再生).....	74
録画一覧 (編集).....	85
■ 時間指定予約.....	55
■ 視聴制限	
BD-Video の視聴可能年齢を設定する.....	139
DVD-Video の視聴制限を設定する.....	139
番組の視聴制限を設定する.....	134
■ 自動更新録画.....	47
■ 字幕	
切り換える (再生時).....	82
切り換える (受信時).....	42
字幕設定 (再生設定).....	82
字幕設定 (放送設定).....	134
録画モードによる記録の違い.....	70
■ 写真	
書き出す.....	110
再生する.....	107
スライドショー.....	108
整理する.....	108
取り込む.....	109
プロテクト.....	108
■ 受信アンテナ設定.....	135
■ 仕様.....	170
■ 消去する	
写真.....	108
写真一覧の全写真消去 (HDD).....	141
番組.....	85
持ち出し番組.....	117
録画一覧の全番組消去 (HDD).....	141
録画一覧の全番組消去 (ブルーレイディスク、DVD).....	129
■ 詳細ダビング	
番組をダビングする.....	94
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) をダビングする.....	96
■ 初期設定.....	138
■ 信号切換	
再生時.....	82
放送受信時.....	42

■ 信号設定	49
■ 診断コード	162
■ 新番組おまかせ録画	61
■ 新番組 / 特番おしらせ	54
■ スカパー！プレミアムサービス	
接続する	22、23
設定する	149
録画予約する	66
■ スキップ	80
■ スマートフォンでテザリング	148
■ スロー再生	80
■ 節電待機	36
■ 選局対象	134
■ 操作状態の表示 (情報表示)	
再生時	81
受信時	41

た 行

ページ

■ 代替録画	63
■ ダウンミックス	142
■ ダウンロード	
ソフトウェア更新	150
■ 他機器での再生について	29
■ ダビング	
かんたんダビング	92
再生中番組の保存	97
詳細ダビング	94
セットトップボックスから	101
テレビ (Woo) から	99、101
ビデオカメラから	102
レコーダーから	99、101
■ チャプター	89
自動チャプター	140
■ チャプターマーク	89
■ チャンネル設定	137
■ 重複について	64
■ 通信による G ガイド受信	133
■ 続き再生メモリー機能	80

■ ディスク	
記録できるディスク	29
再生のみできるディスク	31
ディスクの再生方法 (再生設定)	82
名前を付ける	129
フォーマット	128
プロテクト	129
■ データ放送	40
■ テザリング	148
■ 同時録画再生	74
■ 同時録画について	71

な 行

ページ

■ 名前を付ける	
ディスク	129
番組	85
フォルダ	108
予約録画	55
■ 日時設定	138
■ ネットワーク	
かんたんネットワーク設定	26
接続する	22
設定する	143

は 行

ページ

■ ハイビジョン画質	70
■ ハイビジョン動画 (AVCHD)	
再生する	78
取り込む	102
■ はっきり再生	
再生時	81
視聴時	42
■ 早送り / 早戻し (サーチ)	80
■ 早見再生 (1.3倍速)	80
■ 番組	
再生する	74
消去する	85
名前を付ける	85
プロテクト	85
編集する	85

■ 番組結合	86
■ 番組追従機能	63
■ 番組表	
枝番号表示を非表示にする (選局対象)	134
画面の見方	44
検索 (フリーワード、ジャンル)	51
設定を確認する	133
表示チャンネル数を変更する	45
予約録画する	46
■ 番組分割	87
■ 番組持ち出し	115
■ ファイナライズ	
ファイナライズ解除	130
他のBD/DVD 機器再生 (ファイナライズ)	130
■ フォーマット (初期化)	128
■ 副映像	77
■ 部分消去	86
■ プレイリスト	74
■ プロキシサーバー設定	145
■ プロテクト (書き込み禁止)	
SD カード	32
写真	108
ディスク	129
番組	85
■ 編集する	
番組	85
■ 放送設定	133
■ 放送メール	132
■ ポップアップメニュー	77
■ 本体表示窓の明るさ	142
ま 行 ページ	
■ 毎日・毎週予約	47
設定する	48
毎日・毎週予約で録画した番組の再生 (まとめ番組の再生)	75
■ マイラベル	
設定する (予約時)	49
設定する (録画一覧で)	87
■ まとめ番組	75
■ ムーブバック (詳細ダビング)	91、94
■ 無線 LAN	
接続する	23
設定する	26
■ メール/情報	132
■ 文字入力	131

■ 持ち出し番組	
SD カードを確認・消去	118
画質を変更する (「持ち出し番組のVGA 画質」)	140
記録時間の目安	174
作成する	115
転送する	117

や 行 ページ

■ 野球延長対応 (番組追従)	63
■ ゆっくり / はっきり再生	
再生時	81
視聴時	42
■ 予約確認	56
■ 予約録画	
重複について	64
番組表を使って	46
予約内容の確認・取り消し・修正	56
録画日時を指定して (時間指定予約)	55

ら 行 ページ

■ リージョンコード / リージョン番号	31
■ リpeat再生	82
■ リモコン	
各部の働き	12
他機器が同時に動作するのを防ぐ (リモコンモード)	146
本機のリモコンでテレビを操作する (リモコンのテレビ操作設定)	147
■ リモコンモード	146
■ 録画中に再生する (追っかけ再生 / 同時録画再生)	74
■ 録画中の同時操作	154
■ 録画モード	70
変換する	88
録画モードを選ぶ (かんたんダビング時)	93
録画モードを選ぶ (詳細ダビング時)	94
録画モードを選ぶ (予約時)	47
録画モードを選ぶ (録画時)	43
■ 録画モードと記録時間の目安	172

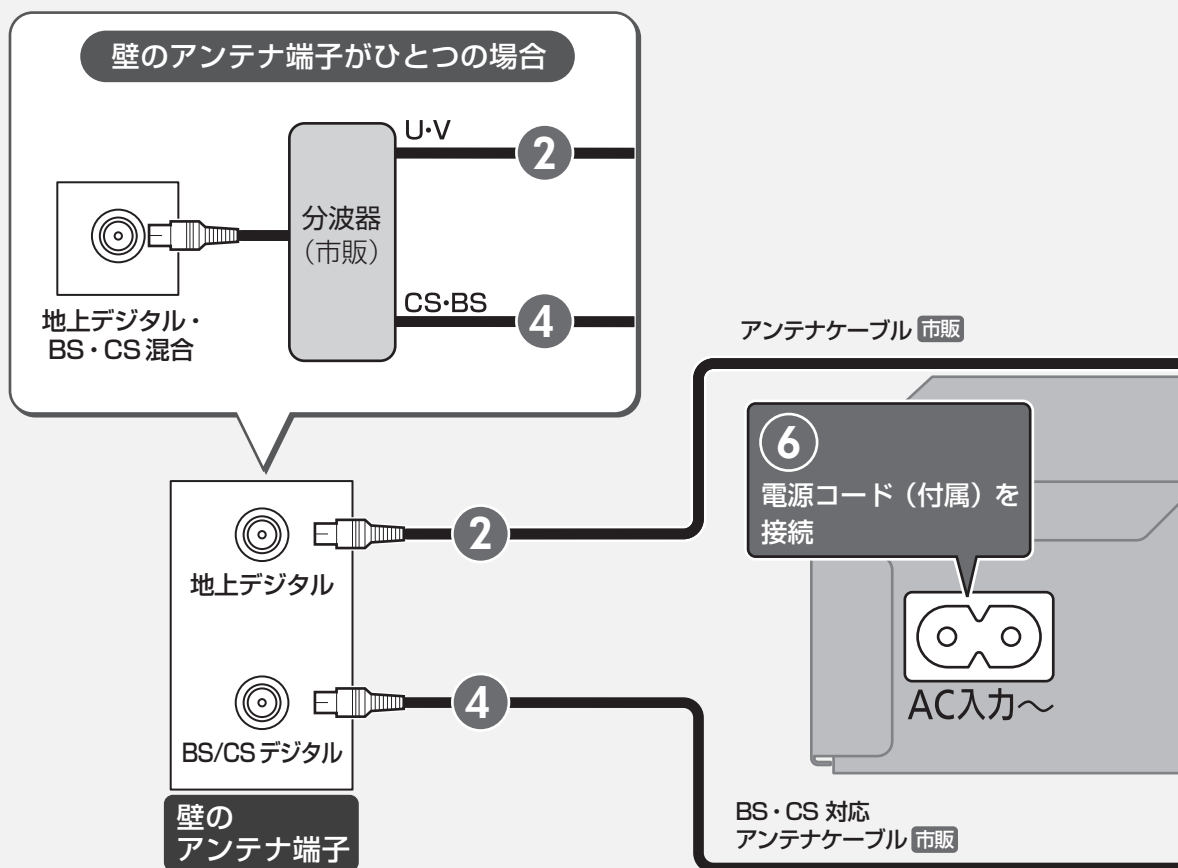
はじめに B-CAS カードを挿入する(→14)

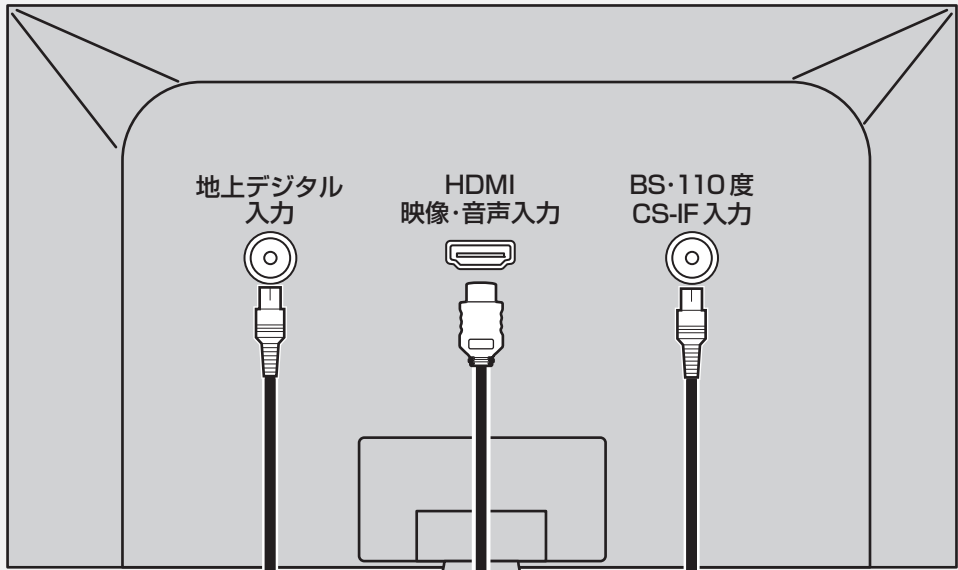
- ① HDMI ケーブルで本機とテレビをつなぐ
- ② アンテナケーブルで壁の端子と本機をつなぐ
- ③ アンテナケーブルで本機とテレビをつなぐ
- ④ アンテナケーブルで壁の端子と本機をつなぐ
- ⑤ アンテナケーブルで本機とテレビをつなぐ
- ⑥ 電源コードを本機につなぎ、電源コンセントに差し込む

BS・CS デジタル
放送を視聴する
場合のみ接続

接続後はかんたん設置設定を行ってください。(→26)

●詳しい接続については「接続と設定を行う」(→13～25)をご覧ください。





テレビ

3

1

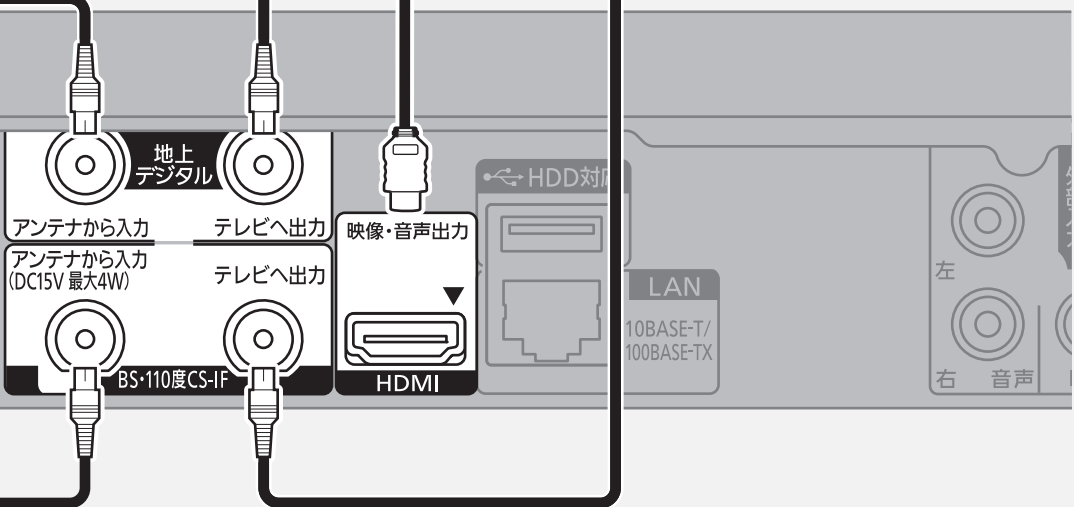
5

地上デジタル
対応アンテナ
ケーブル 付属

HDMI ケーブル
市販

BS・CS 対応
アンテナケーブル
市販

本機背面



接続ガイド

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

- 持込修理および部品購入については、下記エコーセンターまたはお客様相談センターにて、各地区のサービスセンターをご紹介します。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-3121-11

携帯電話
PHSから TEL 050-3155-1111（有料）

FAX 0120-3121-34

（受付時間）9：00～17：30（月～土）、9：00～17：00（日、祝日）
年末年始は休ませていただきます。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68

携帯電話
PHSから TEL 0570-0031-68（有料）

FAX 0120-3121-87

（受付時間）9：00～19：00（月～土）、9：00～17：30（日、祝日）



保証とアフターサービス(必ずご覧ください)

修理を依頼されるときは (持込修理)

「故障かな!？」(→162)に従って調べていただき、異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書(別添)	補修用性能部品の保有期間	ご不明な点や修理に関するご相談は
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。 保証期間…お買い上げ日から1年です。	この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。ただし、部品保有期間内においても故障の状況その他の事情により部品の交換修理以外の対応とさせていただきます。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。	修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載されたお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

部品について
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容


品名	ブルーレイディスクレコーダー
型式	DVL-BRT20
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	※付近の目印などもあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。ブルーレイディスクレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(録画内容などの補償)の責について、当社は一切責任を負いません。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を!

	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none">● 煙が出たり、異常なおいや音がる● 映像や音が出ないことがある● 内部に水や異物が入った● 本体に変形や破損した部分がある● その他の異常や故障がある	▶	ご使用中	事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。
---	--------------	--	---	------	--

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年 月 日	販売店名	電話 () -
	型式	DVL-BRT20		
	B-CASカード番号	B-CASカード番号を記入してください。お問い合わせのときに必要な場合があります。		

◎ 日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋2-15-12

Printed in China